

現 場 説 明 書

- 1 工 事 名山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事
- 2 工事場所山梨県中央市下河東1110 山梨大学下河東団地構内
- 3 完成期限 令和4年 3月31日（木）

4 一般事項

現場説明書の適用方法

- (1) ・印で始まる事項については、○印を付した事項のみ適用する。
- (2) 文中及び表中の各欄に数字、文字、記号等を記入する事項については記入してある事項のみ適用する。
- (3) =印又は×印で抹消した事項は全て適用しない。

5 施工に関する事項

(1) 工事用地

範囲は別図のとおりとし、使用にあたっては「工事用地使用許可願」を監督職員に提出して、発注者等の承諾を得ること。ただし、工事用地の借料は無償とする。

(2) 仮設物の設置等

① 仮設建物等

仮設建物等を設置するときは、「仮設物設置許可願」を監督職員に提出して発注者等の承諾を得ること。

② 障害物の撤去又は移設

障害物の撤去又は移設をするときは、別図及び監督職員の指示により行うこと。

③ 仮囲い等

仮囲い等を設けるときは、別図の位置に、図示の種類によること。

④ 監督職員事務所

・設ける（ 号） ○設けない

号	1	2	3	4	5	6
規 模 (㎡)	10 内外	20 内外	35 内外	65 内外	100 内外	

⑤ 仮設物の維持管理等

仮設物は、施工、監督及び検査に便利かつ安全な材料構造でかつ関係法規に準拠して設置するものとし、常に維持保全に注意すること。

⑥ その他

(3) 工事用電力等

① 工事用電力、電話、給水、排水等は受注者において手続きの上設置し、その費用及び使用料は受注者の負担とする。特記の項目は除く）メーター設置のこと。

② 工事用電力

○電力会社と協議の上引き込む ・構内より分岐できる

③ 工事用電話

- ◎構外より引込む。
- ④ 工事用給水
- ・構外より引込む。
 - ・さく井する。
- ◎構内より分岐できる。
- ⑤ 工事用電力、電話、給水の引き込み位置は別図により、排水は別図又は監督職員の支持による。
- ⑥ 工事に際して、構内の電力を使用するときは「電気使用願」を、上水道、下水道施設を使用するときは「上(下)水道使用願」を監督職員に提出して、発注者等の承諾を得ること。
- ⑦ その他
- 構内より分岐する電力・給水等はメーターを取付け使用する。電力、上下水道等料金は山梨大学財務管理部会計課に支払うものとする。

(4) 工事写真等

① 工事写真等

工事写真等は、文部科学省が定めた「工事記録写真撮影要領」により撮影し、次表のものを提出すること。

区 分	大 き さ	種 類	組
敷地状況写真	サービス判	カラー	1
着 工 前 写 真	サービス判	カラー	1
工 事 写 真	サービス判	カラー	1
完 成 写 真	キャビネ判	カラー	1

※ 完成写真はファイルし、表紙に工事名称、工期を記入し、撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付すること。

② 完成建物等概要図書

完成建物等概要図書は、文部科学省が定めた「完成建物等概要図書作成要領」により作成し、原図を提出すること。

③ その他

(5) その他

鍵は、各組（一組は同一鍵3本）毎に鍵札（アクリル製）を付け、キープラン及び鍵リストを添えて鍵箱（鍵掛け付き）に納めて提出すること。

製本は、A 1 判二つ折り製本 1 部、設計図を A 3 判に縮小した原図 1 部と A 3 判二つ折り製本 2 部を提出する。

6 契約に関する事項

(1) 工事請負契約基準の運用

- ① 工事請負契約基準第 3 の規定による、

工事費内訳明細書

{

 ○提出する。

 ・提出しない。
 }

※内訳書には、健康保険、厚生年金保険及び雇用保険に係る法定福利費を明示すること。

工 程 表

{

 ○提出する。

 ・提出しない。
 }

- ② 工事請負契約基準第25第1項の規定により請負代金額の変更を請求する場合は、発注者又は受注者から請求のあった日から起算して、残工事の工期が2月以上ある場合とする。
- ③ 工事請負契約基準第25第2項の残工事代金額を算出する根拠となる残工事量を確認する場合において、工事の工程が受注者の責により遅延していると認められる場合は遅延していると認められる工事量を残工事量に含めないものとする。
- ④ 工事請負契約基準第29第4項にいう「請負代金額」とは、損害を負担する時点における請負代金額をいう。
- ⑤ 天災、その他不可抗力による1回の損害合計額が前項にいう請負代金額の1000分の5の額（この額が20万円を越えるときは20万円）に満たないものは損害合計額とみなさないものとする。

(2) 入札の保証について

競争入札に参加しようとする者（以下「競争加入者」という。）は、以下の①から⑤までのいずれかを提出しなければならない。

① 入札保証金及び入札保証金納付者

ア 入札保証金は、競争加入者の見積る入札金額（税込み）（以下「見積金額」という。）の100分の5の金額以上に相当する金額の金銭を入札保証金納付書を添付して国立大学法人 山梨大学長 島田 眞路に納付すること。

イ 落札者が契約を結ばないときは、入札保証金は、国立大学法人山梨大学契約規程（以下、「契約規程」という。）第28条第3項の規定により本学に帰属する。

ウ 競争加入者は、入札執行後、保管金の払渡を求める旨の保管金払渡請求書を本学へ提出すること。なお、落札者は、工事請負契約書案の提出と同時に提出すること。

② 入札保証金の納付に代わる担保が利付国債の場合は、政府保管有価証券払込済通知書及び入札保証金納付書

ア 政府保管有価証券払込済通知書は、（保管有価証券取扱店名）に見積金額の100分の5の金額以上に相当する金額の利付国債を払い込んで、交付を受けること。

イ 政府保管有価証券払込済通知書の宛名の欄には、国立大学法人 山梨大学長 島田 眞路と記載するように申し込むこと。

ウ 落札者が契約を結ばないときは、保管有価証券は契約規程第28条第3項の規定により本学の帰属する。

エ 競争加入者は、入札執行後、本学へ政府保管有価証券払渡請求書を提出すること。なお、落札者は工事請負契約書案の提出と同時に提出すること。

③ 入札保証金の納付に代わる担保が落札者が契約を結ばないことによる損害金の支払

いを保証する銀行等の保証の場合は、当該保証書及び入札保証金納付書

ア 債務不履行により生ずる損害金の支払の保証ができる者は、出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律（昭和29年法律第195号）第3条に規定する金融機関（以下「銀行等」という。）とする。

イ 保証書の宛名の欄には、国立大学法人 山梨大学長 島田 眞路と記載するよう申し込むこと。

ウ 保証債務の内容は落札者が契約を結ばないことによる損害金の支払いであること。

エ 保証書上の保証に係る工事の工事名の欄には、入札公告に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。

オ 保証金額は、見積金額の100分の5の金額以上とすること。

カ 保証期間は、書類の提出日から入札執行の日から7日を経過した日以降の日であって、本学が指定する日までを含むものとする。

キ 保証債務履行の請求の有効期間は、保証期間経過後6ヶ月以上確保されるものとする。

ク 落札者が契約を結ばないときは、銀行等から支払われた、保証金は、契約規程第28条第3項の規定により本学に帰属する。

ケ 競争加入者は、入札執行後、本学から保証書の返還を受け、銀行等に返還するものとする。ただし、落札者については、工事請負契約書案提出後、本学から保証書の返還を受け、銀行等に返還するものとする。

コ 保証期間の不足により保証期間を変更する場合の取扱いについては本学の指示に従うこと。

④ 落札者が契約を結ばないことにより生ずる損害をてん補する入札保証保険契約に係る証券

ア 入札保証保険とは、落札者が契約を結ばない場合に、保険会社が保険金を支払うことを約する保険である。

イ 入札保証保険は、定額てん補方式を申し込むこと。

ウ 保険証券の宛名の欄には、国立大学法人 山梨大学長 島田 眞路と記載するよう申し込むこと。

エ 証券上の契約の内容としての工事名の欄には、入札公告に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。

オ 保険金額は、見積金額の100分の5以上の金額以上とすること。

カ 保険期間は、書類の提出日から入札執行の日から7日以上を経過した日以降の日であって、本学が指定する日までを含むものとする。

キ 落札者が契約を結ばないときは、保険会社から支払われた保険金は、契約規程第28条第3項の規定により本学に帰属する。

⑤ 契約保証を予約する金融機関等の契約保証予約証書

ア 契約保証を予約する金融機関等は、銀行等又は公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社とする。

イ 契約保証予約証書の宛名の欄には国立大学法人 山梨大学長 島田 眞路と記載するよう申し込むこと。

ウ 契約保証の予約の内容は、金融機関等と競争加入者である予約契約者との間で予約に係る工事について契約保証の予約を行ったことであること。

エ 契約保証予約証書上の契約保証の予約に係る工事の工事名の欄には、入札公告に

記載される工事名が記載されるように申し込むこと。

オ 金融機関等の契約保証の予約に係る契約希望金額は見積金額以上、又は保証金額は見積金額の100分の30の金額以上とすること。

カ 予約する契約保証が停止条件付契約保証でないこと。

キ 予約契約者が予約完結権を行使するに当たっていかなる留保も付されていないこと。

ク ~~「低入札価格調査対象工事に係る特別重点調査の試行について」(平成21年3月31日付け大臣官房文教施設企画部通知)に基づく特別重点調査を受け、本学の指示があった場合には、予約に係る保証金額が見積金額の100分の30以上となるよう、増額変更を行うこととし、別途定める日までに、予約に係る保証金額を増額変更する旨の金融機関等が交付する変更契約保証予約証書を提出すること。~~
~~ただし、契約保証予約証書において予約に係る保証金額が明記されている場合に限る。~~

⑥ 入札保証金の還付について

競争参加資格がないと認められた者に対しては、当該者が競争参加資格の確保の結果の通知を受けた以降、入札書を提出しなかった者に対しては、入札執行日以降、入札保証金又は入札保証金の納付に代えて提供された担保の還付を行う。

(3) 契約の保証について

落札者は、工事請負契約書案の提出とともに、次の①から⑦のいずれかの書類を提出しなければならない。

① 契約保証金として納付するものが、現金の場合は、本学の発行する領収書

ア 領収書は、本学の指定する金融機関に契約保証金の金額に相当する金額の現金を払い込んで交付を受けること。

イ 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、本学の指示に従うこと。

ウ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、契約保証金は、国立大学法人山梨大学契約細則（以下「契約細則」という。）第41条第1項の規定により本学に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。

エ 受注者は、工事完成後、請負代金額の支払請求書の提出とともに払渡請求書を提出すること。

② 契約保証金の納付に代わる担保が、国債、政府の保証のある債券、銀行、株式会社商工中央金庫、農林中央金庫、又は全国を地区とする信用金庫連合会の発行する債券、日本国有鉄道改革法（昭和61年法律第87号）附則第2項の規定による廃止前の日本国有鉄道法（昭和23年法律第256号）第1条の規定により設立された日本国有鉄道及び日本電信電話株式会社等に関する法律（昭和59年法律第85号）附則第4条第1項の規定による解散前の日本電信電話公社が発行した債券で政府の保証のある債券以外のもの、地方債及び本学が確実と認める社債の場合は、本学の発行する領収書

ア 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、本学の指示に従うこと。

イ 政府保管有価証券払込済通知書の宛名の欄には、国立大学法人 山梨大学長 島田 眞路と記載するように申し込むこと。

ウ 請負金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、本学の指示に従うこと。

- エ 受注者の責めに帰すべき事由により契約が解除されたとき、保管有価証券は、本学に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- オ 受注者は、工事完成後、請負代金額の支払請求書の提出とともに払渡請求書を提出すること。
- ③ 契約保証金の納入に代わる担保が、銀行又は本学が確実と認める金融機関が振り出し又は支払を保証した小切手、銀行又は本学が確実と認める金融機関が引き受け又は保証若しくは裏書をした手形である場合は、当該有価証券及び本学の発行する領収書
- ア 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、本学の指示に従うこと。
- イ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、当該有価証券は、契約細則第41条第1項の規定により本学に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- ウ 受注者は、工事完成後、請負代金額の支払請求書の提出とともに払渡請求書を提出すること。
- ④ 契約保証金の納入に代わる担保が、銀行又は本学が確実と認める金融機関に対する定期預金債権の場合は、当該債権に係る証書及び当該債権に係る債権者である銀行又は本学が確実と認める金融機関の承諾を証する確定日付のある書面及び本学の発行する領収書
- ア 当該債権に質権を設定し提出すること。
- イ 請負代金額の変更により契約保証金の金額を変更する場合の取扱いについては、本学の指示に従うこと。
- ウ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、当該債権は、契約細則第41条第1項の規定により本学に帰属する。なお、違約金の金額が契約保証金の金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- エ 受注者は、工事完成後、本学から当該債権に係る証書及び当該債権に係る債権者である銀行又は本学が確実と認める金融機関の承諾を証する確定日付のある書面の返還を受けるものとする。
- ⑤ 債務不履行による損害金の支払を保証する金融機関等の保証に係る保証書及び本学の発行する領収書
- ア 債務不履行による損害金の支払の保証ができる者は、出資の受入れ預り金及び金利等の取締りに関する法律（昭和29年法律第195号）第3条に規定する金融機関である銀行、信託会社、保険会社、信用金庫、信用金庫連合会、労働金庫、労働金庫連合会、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、株式会社日本政策投資銀行並びに信用協同組合及び農業協同組合、水産業協同組合その他の貯金の受入れを行う組合（以下「銀行等」という。）又は公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第2条第4項に規定する保証事業会社（以下「金融機関等」と総称する。）とする。
- イ 保証書の宛名の欄には、国立大学法人 山梨大学長 島田 眞路と記載するように申し込むこと。
- ウ 保証債務の内容は、工事請負契約書に基づく債務の不履行による損害金の支払いであること。
- エ 保証書上の保証に係る工事の工事名の欄には、工事請負契約書に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。

- オ 保証金額は、契約保証金の金額以上とすること。
- カ 保証期間は、工期を含むものとすること。
- キ 保証債務履行請求の有効期間は、保証期間経過後 6 カ月以上確保されるものとすること。
- ク 請負代金額の変更又は工期の変更等により保証金額又は保証期間を変更する場合等の取扱いについては、本学の指示に従うこと。
- ケ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、金融機関等から支払われた保証金は、契約細則第 4 1 条第 1 項の規定により本学に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- コ 受注者は、銀行等が保証した場合にあっては、工事完成後、本学から保証書（変更契約書を含む。）の返還を受け、銀行等に返還すること。
- ⑥ 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約に係る証券
 - ア 履行保証保険とは、保険会社が債務不履行時に保険金を支払うことを約する保険である。
 - イ 履行保証保険は、定額てん補方式を申し込むこと。
 - ウ 保険証券の宛名の欄には、国立大学法人 山梨大学長 島田 眞路と記載するように申し込むこと。
 - エ 証券上の契約の内容としての工事名の欄には、工事請負契約書に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。
 - オ 保険金額は、請負代金額の 10 分の 3 の金額以上とする。
 - カ 保険期間は、工期を含むものとすること。
 - キ 請負代金額の変更により保険金額を変更する場合の取扱いについては、本学の指示に従うこと。
 - ク 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、保険会社から支払われた保険金は、契約細則第 4 1 条第 1 項の規定により本学に帰属する。なお、違約金の金額が保険金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- ⑦ 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証に係る証券
 - ア 公共工事履行保証証券とは、保険会社が保証金額を限度として債務の履行を保証する証券である。
 - イ 公共工事履行保証証券の宛名の欄には、国立大学法人 山梨大学長 島田 眞路と記載するように申し込むこと。
 - ウ 証券上の主契約の内容としての工事名の欄には、工事請負契約書に記載される工事名が記載されるように申し込むこと。
 - エ 保証金額は、請負代金額の 10 分の 3 の金額以上とする。
 - オ 保証期間は、工期を含むものとすること。
 - カ 請負代金額の変更又は工期の変更等により保証金額又は保証期間を変更する場合等の取扱いについては、本学の指示に従うこと。
 - キ 受注者の責に帰すべき事由により契約が解除されたとき、保険会社から支払われた保証金は、契約細則第 4 1 条第 1 項の規定により本学に帰属する。なお、違約金の金額が保証金額を超過している場合は、別途、超過分を徴収する。
- (4) 請負代金債権の債権譲渡

この工事の受注者は、下請セーフティーネット債務保証又は地域建設業経営強化融資制度のいずれかに係る融資を受けることを目的として、請負代金債権の債権譲渡を申し出ることができるものとする。

(5) 下請契約の締結

受注者は、下請負人を使用する場合は、「建設工事標準下請契約約款」（昭和52年4月26日中央建設業審議会決定）に準拠した適切な下請契約を締結すること。また、「建設業法令遵守ガイドライン（改訂）一元請負人と下請負人の関係にかかる留意点」（平成20年9月国土交通省総合政策局建設業課）により適切な取引をすること。

(6) 下請負人の健康保険等加入義務等について

工事請負契約基準第7の2第1項の規定により、社会保険等未加入建設業者を下請負人としてはならない。ただし、第2項による場合は、社会保険等未加入建設業者を下請負人とすることができる。なお、受注者は、第3項に該当する場合は、違約罰として当該各号に定める額を発注者に支払わなければならない。

(7) 建設産業における生産システム合理化指針の遵守等について

工事の適正かつ円滑な施工を確保するため、「建設産業における生産システム合理化指針について」（平成3年2月5日付け建設省経構発第2号の3建設省建設経済局長通知）において明確にされている総合・専門工事業者の役割に応じた責任を的確に果たすとともに、適正な契約の締結、適正な施工体制の確立、建設労働者の雇用条件等の改善等に努めること。また、下請代金の支払については発注者から受取った前払金の下請建設業者に対する均てん、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等その適正化について特段の配慮をすること。

(8) 監督職員の権限

工事請負契約基準第9第2項第1号から第3号に示す範囲とする。

(9) -1 工事出来高予定額及び支払限度額

- ① 工事は、各年度毎に表に示す日までに全工事に対する出来高割合以上完成するものとする。
- ② 請負代金額(A)に当該年度の出来高割合を乗じた額をその年度の工事出来高予定額とする。
- ③ 各年度の支払限度額は表による。なお、残額は令和3年度に支払う。

年度	令和2年度	令和3年度
年度毎年月日	令和3年3月31日	令和4年3月31日
工事出来高割合 (%)	(B)=35	
年度工事出来高 割合 (%)	(C) = (B)	(E) = 100 - (C)
年度工事出来高 予定額 (円)	(F) = (A) × (C) %	(G) = (A) - (F) %
年度支払限度額 (円)	(I) = (F) × 9/10	残額

(9) -2 請負代金の支払

請負代金は、山梨大学財務管理部会計課から4回に支払うものとする。

ただし、その支払いは令和2年度は2回以内（年度前金払い、部分払い）、令和3年度は2回以内（年度前金払い、完成払い）とする。

(10) 請負代金の前払い

公共工事の前払金保証事業会社と保険契約を締結し、当該保証証書を添えて工事請負代金額の「10分の4」以内の額の前払金を請求することが出来る。

ただし、その支払いは各年度の工事出来高予定額の10分の4以内の額をそれぞれの年度に行う。なお令和3年度における前払金は、前年度の工事出来高予定額が完成した後でなければ支払わない。

(11) 瑕疵担保

- ① 工事請負契約基準第39第2項ただし書に規定する構造耐力上主要な部分とは、建物の基礎、基礎ぐい、壁、柱、小屋組、土台、斜材（筋かい、方づえ、火打材、その他これらに類するものをいう。）、床版、屋根版又は横架材（はり、けたその他これらに類するものをいう。）、で、当該建物の自重若しくは積載荷重、積雪、風圧、土圧若しくは水圧又は地震その他の震動若しくは衝撃を支えるものとする。
- ② 工事請負契約基準第39第2項ただし書に規定する雨水の浸入を防止する部分とは、以下のものとする。
 - ア 建物の屋根若しくは外壁又はこれらの開口部に設ける戸、わくその他の建具
 - イ 雨水を排除するため建物に設ける排水管のうち、当該建物の屋根若しくは外壁の内部又は屋内にある部分

(12) 工事関係保険の締結

この工事の受注者は、速やかに、次の付保条件により、建設工事保険契約（共済その他これに準じる機能を有するものを含む。）締結すること。

- ① 保険対象
工事請負契約の対象となっている工事全体とすること。
- ② 保険契約者
受注者とすること。
- ③ 被保険者
発注者並びに受注者及びそのすべての下請負人（リース仮設材を使用する場合には、リース業者を含む。）とすること。
- ④ 保険金額
請負代金額と同額とすること。ただし、支給材料又は貸与品の価額が算入されていないときはその新調達価額を加算し、保険の目的に含まれない工事の費用（解体撤去工事費、用地費、補償費等をいう。）が算入されているときはその金額を控除すること。
- ⑤ 保険金支払額の控除額（免責額）
請負代金額の1000分の5の額（この額が20万円を超えるときは20万円）未満とすること。
- ⑥ 保険金請求者
受注者とすること。
- ⑦ 保険期間
工事着手の日から工事目的物の完成引渡しの日までの期間とすること。
- ⑧ 特約条項
 - ア 同一発注者による同一工事場内における分離発注工事の隣接工区受注者相互間の求償権不行使特約を付帯すること。
 - イ 水災危険担保特約を付帯すること。
 - ウ 次の付保条件により、損害賠償責任担保特約を付帯（請負業者賠償責任保険その他これに準じる機能を有するものを付保することを含む。）すること。

(ア) 対人賠償保険金額は、1 名につき 1 億円以上かつ 1 事故につき 1 0 億円以上とすること。

(イ) 対物賠償保険金額は、1 事故につき 1 億円以上とすること。

(ウ) 発注者受注者相互間の交差責任担保特約を付帯すること。

(エ) 分離発注工事の隣接工区に対する賠償責任担保特約を付帯すること。

⑨ その他

ア ここで示す付保条件は、工事関係保険として最低限必要と思われる付保条件であり、受注者が受注者の判断でこれ以上の付保条件で工事関係保険を付保することを妨げるものでない。ただし、当該付保条件についても発注者が指示したものとみなす。

イ 建物の建築工事の受注者は、分離発注される当該建物の付帯設備工事の受注者と協議の上、建築工事の受注者が保険契約者となり、付帯設備工事の受注者を被保険者に加え、一括して建設工事保険契約を締結することも可能である。

ウ 受注者が工事関係保険契約を締結したときは、遅滞なく、その保険証券を発注者に提示すること。ただし、総括契約方式による付保の場合は、保険会社の引受証明を発注者に提示すること。

エ 工事関係保険契約締結後に設計変更等により工事期間又は請負代金額に変更を生じた場合などには、速やかに、付保条件について変更の手続をとること。

(13) 設計図書に対して疑念があった場合の対応

① 受注者は、設計図書通りに施工すると多額の維持管理費が必要となる場合等には、必ず、発注者に対して、その旨及び維持管理の見積金額を報告・助言し、設計図書通りに施工するか否かについて確認することを義務付けるものとする。

② 受注者は、漫然と設計図書に従って施工するのではなく、設計図書、建材等に内在する危険性や瑕疵等があるときには、必ず、発注者にその旨を報告・助言し、設計図書通りに施工するか否かについての確認をすることを義務付けるものとする。

(14) 工事請負契約基準第 18 の補足

設計図書の内容に疑念が生じた場合は、直ちに監督職員に通知し、その確認を請求しなければならない。

7 暴力団による不当介入を受けた場合の措置について

(1) 山梨大学が発注する建設工事（以下「発注工事」という。）において、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者（以下「暴力団員等」という。）による不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。

(2) (1) により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。

(3) 発注工事において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

8 その他

(1) 工事实績情報サービス（CORINS）への登録

この工事の受注者は、工事契約内容及び施工内容について契約締結後 1 0 日以内に、登録内容に変更があったときは登録内容に変更が生じた日から 1 0 日以内に、完成引渡

しについて完成引渡し後10日以内にそれぞれの情報を財団法人日本建設情報総合センターの工事实績情報サービス（CORINS）への登録をすること。

(2) 公共事業労務費調査への協力

毎年定期的に実施される公共事業労務費調査への協力を依頼することがあるので、労働基準法第108条による賃金台帳を整備しておくこと。

なお、賃金台帳の整備にあたっては、全国建設業協会刊「建設現場の賃金管理の手引き」によること。

(3) 建設業退職金共済制度について

建設業退職金共済組合に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。また、「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

(4) 工事成績評定について

この工事は、「公共工事の品質確保の促進に関する施策を総合的に推進するための基本的な方針について」（平成17年8月26日閣議決定）及び「公共工事の入札及び契約の適正化を図るための処置に関する指針」（平成18年5月23日閣議決定）に基づき、文部科学省が定めた工事成績評定要領（平成20年1月17付け19文科施第370号）による工事成績評定の対象工事である。

(5) ワンデーレスポンス

本工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。

- ① ワンデーレスポンスとは、受注者からの質問、協議に対して、発注者は、基本的に「その日のうちに」回答するよう対応することである。なお、即日回答が困難な場合に、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうちに」することを含むものとする。
- ② 受注者は、実施工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議を行うこと。
- ③ 受注者は、工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。

(6) 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員と協議の上、定める。
- ② 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

(7) 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間について

- ① 工事請負契約基準第10第3項に規定する現場代理人の工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないとは、以下のものとする。
 - ア 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間。）。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員と協議の上、定める。
 - イ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間。なお、検査が終了した日は、発注

者が工事の完成を確認した旨、発注者に通知した日とする。

ウ 工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間。

エ 工事現場において作業等が行われていない期間。

- ② 工事請負契約基準第10条第3項に規定する発注者との連絡体制が確保されるとは、発注者又は監督職員と携帯電話等で常に連絡が取られること、かつ、発注者又は監督職員が求めたときは、工事現場に速やかに向かう等の対応が取られることとする。
- ③ その他請負契約の締結後、監督職員と協議の上、現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間を定める。

(8) ~~特別重点調査を受けた者との契約について~~

(9) 喫煙場所について

学内は全面禁煙となっています。

(10) 質疑回答

- ① 提出期間（質疑の有無にかかわらず、必ず提出すること。）

令和2年 8 月 28 日 17時まで。持参する場合は、上記期間の日曜日、土曜日及び祝日を除く毎日の9時から17時までに行うこと。

- ② 提出先

山梨大学施設・環境部施設企画課総務グループ（甲府キャンパス）

- ③ 提出方法

書面を持参又は郵送（書留郵便等の配達記録が残るものに限る。提出期間内必着。）することにより提出するものとする。

- ④ 質疑回答の閲覧日時及び場所

質問内容及び回答内容は次のとおり山梨大学施設・環境部HPにおいて閲覧に供する。

令和2年 9月 2日 9時～令和2年 9月 4 日 17時まで

(11) 数量公開について

本工事は、数量公開の対象工事であり、予定価格のもととなる工事費内訳書等から単価及び金額等を削除するなどの加工・編集を施したもの（以下「数量書」という。）を参考資料（参考数量）として公開、提供する。数量書は、見積りを行うために必要な図面及び仕様書の交付と同時に公開する。

この数量書に対する質問がある場合においては、次により提出するものとする。

なお、上記（10）質問書と数量書に対する質問書は区別して提出するものとする。

また、数量書に対する質問書において、数量の差異等に係わる質問については、差異の根拠となる数量を算出した過程を示す資料も併せて提出するものとする。

- ① 提出期間

書面により令和2年 8 月 28 日 17時まで。持参する場合は、上記期間の日曜日、土曜日及び祝日を除く毎日の9時から17時までに行うこと。

- ② 提出先

山梨大学施設・環境部施設企画課総務グループ（甲府部キャンパス）

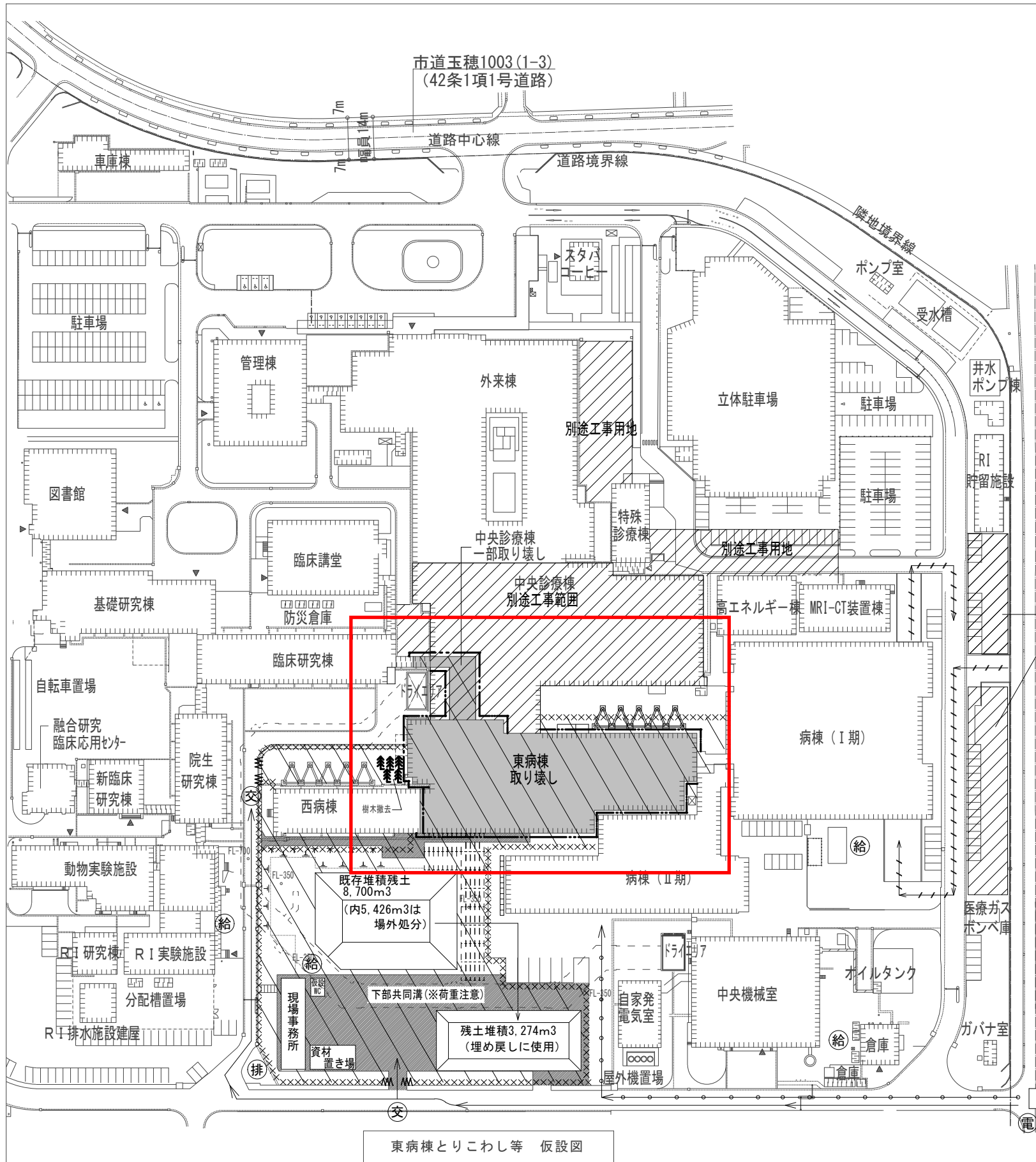
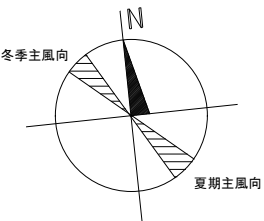
- ③ 提出方法

持参又は郵送（書留郵便等の配達記録が残るものに限る。提出期間内必着。）により提出するものとする。

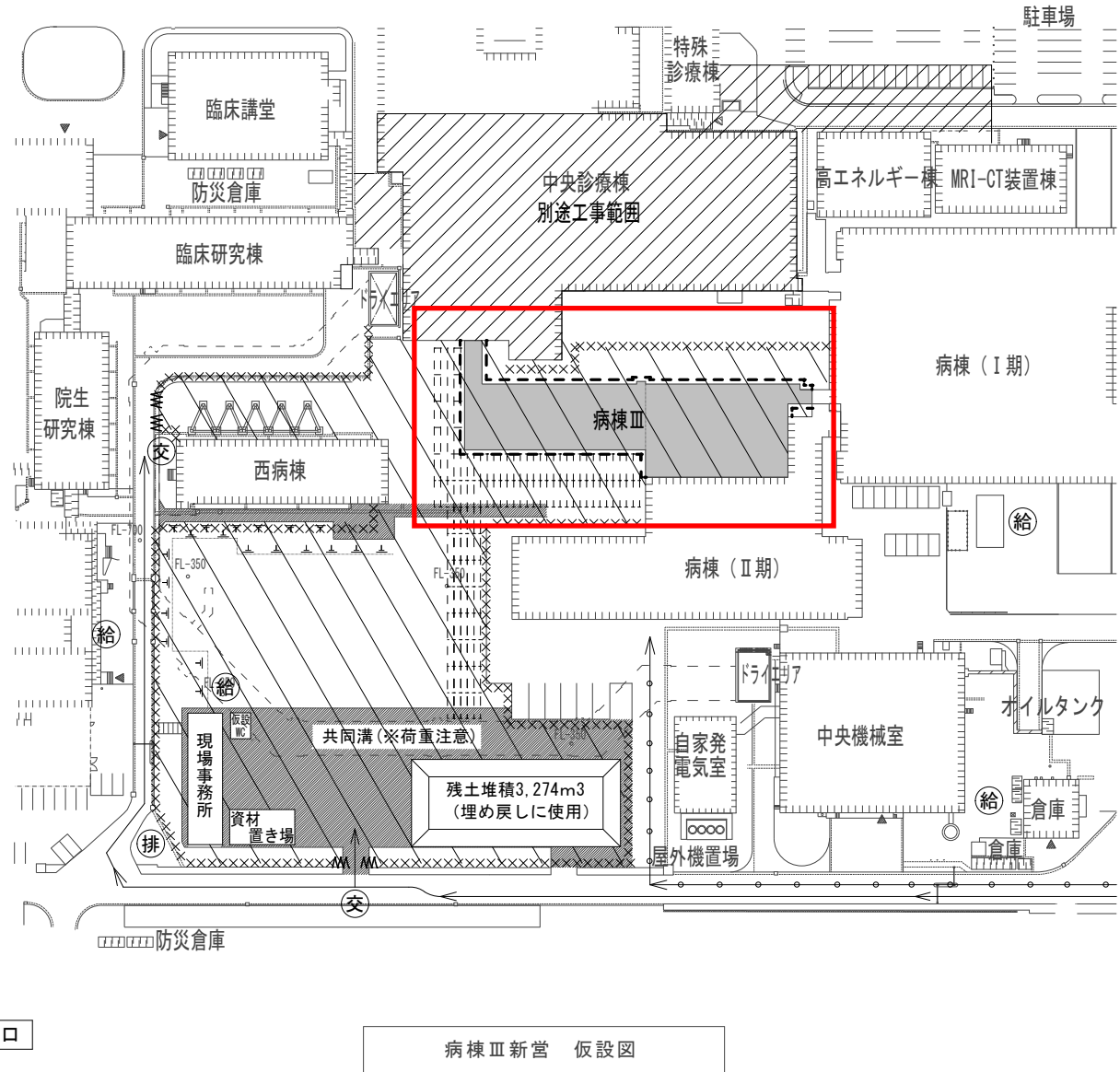
- ④ 回答書

数量書に対する質問書への回答書は、山梨大学施設・環境部HPにおいて閲覧に供する。

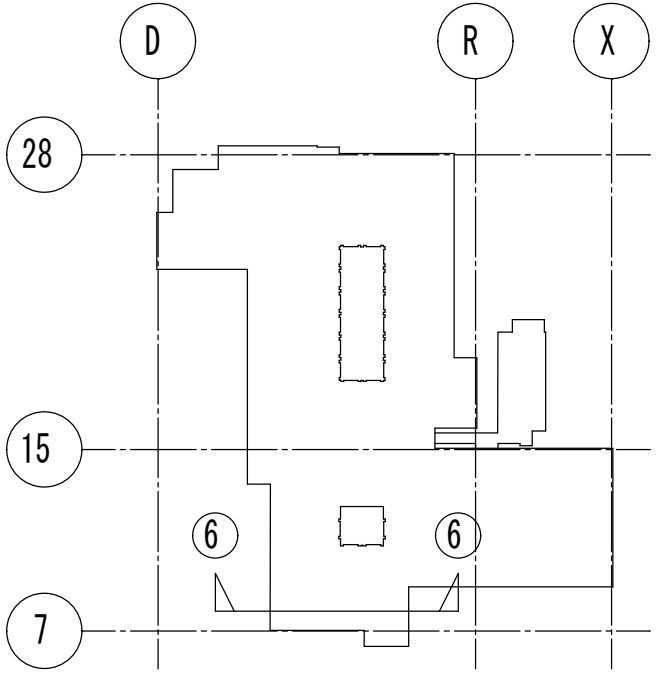
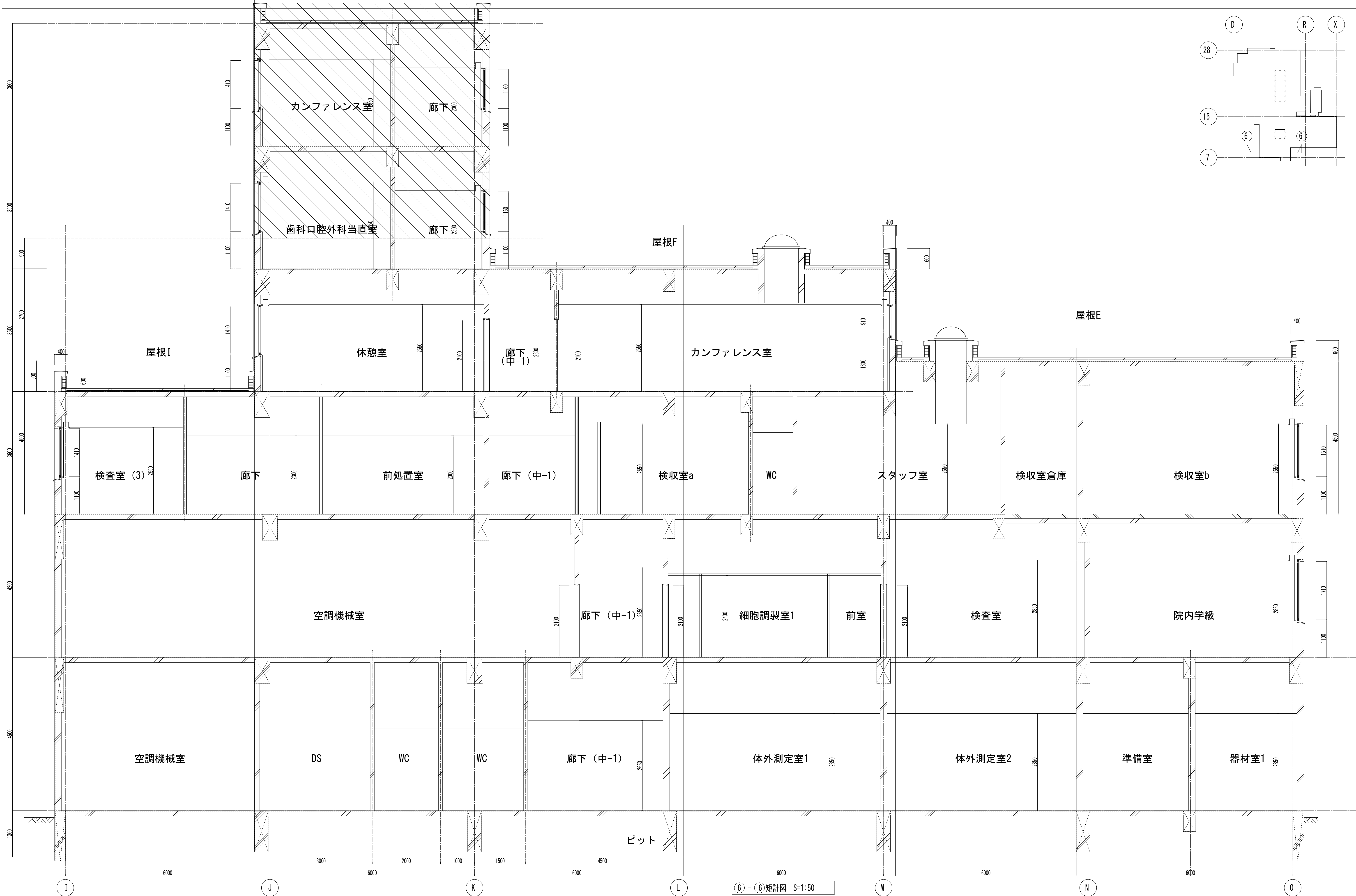
別図



別途工事用地



山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事 現場説明図	凡 例		本工事範囲		既存アスファルト敷範囲		仮設給水分岐可能位置	(注) 大型車両の進入については、交通整理員を配置し安全を確保する。 工事車両の駐車場が不足する場合は、大学敷地外の駐車場を借りる等する事。 中央診療棟工事(別途)と一部工事範囲が重複するため、監督職員と調整を図る。
			本工事用地範囲		仮囲い(フラットパネル H=2.0m)		仮設生活排水接続位置	
			別途工事範囲		キャスターゲート(H=1.8m、W=6.0m)		仮設電気・電話引込可能位置	
			工事関係者動線		敷き鉄板(1,524×6,096×22 t)		交通整理員	
			物流業者、洗濯業者、霊安関係者の動線		外部足場(枠組足場)+防音パネル		既存樹木伐採(中・高木:8本)	
			緊急車両動線		外部足場(枠組足場)+防音シート		養生足場 枠組み本足場W=1200 7M防音パネル	



			設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一			工 事 名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事			設計業務名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務			DATE '19・12・		
			設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏			山梨大学施設・環境部			ARCHITECT & OFFICEBRANCH 株式会社 教 育 施 設 研 究 所 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号			DRAWINGTITLE 矩計図（5）（既存・撤去） 中央診療棟		
			設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第299086号 齊藤 雅宏			部長 課長 補佐 担当			DRAWN BY			SCALE A1： 1：50 A2： - A3： 1：100		
												DRAWINGNO. DK — 91		

通し番号	図面番号	図 面 名 称	縮尺	通し番号	図面番号	図 面 名 称	縮尺	通し番号	図面番号	図 面 名 称	縮尺	通し番号	図面番号	図 面 名 称	縮尺
1	L-1	図面リスト（1）	—	47	D-20	4階平面図	1/200	95	D-68	PH階平面詳細図（2）	1/100	143	D-116	ビット部分詳細図	1/50
2	L-2	図面リスト（2）	—	48	D-21	5階平面図	1/200	96	D-69	PHR階平面詳細図	1/100	144	D-117	免震EXP.J詳細図（1）	1/10
3	L-3	図面リスト（3）	—	49	D-22	6階平面図	1/200	97	D-70	1階廊下展開図	1/100	145	D-118	免震EXP.J詳細図（2）	1/30
4	L-4	図面リスト（4）	—	50	D-23	7階平面図	1/200	98	D-71	2階廊下展開図	1/100	146	D-119	免震EXP.J詳細図（3）	1/10
5	T-1	建築工事特記仕様書（1）	—	51	D-24	PH階平面図	1/200	99	D-72	3階廊下展開図	1/100	147	D-120	免震EXP.J詳細図（4）	1/10, 1/50
6	T-2	建築工事特記仕様書（2）	—	52	D-25	PHR階平面図	1/200	100	D-73	4階廊下展開図	1/100	148	D-121	免震EXP.J詳細図（5）	1/10, 1/50
7	T-3	建築工事特記仕様書（3）	—	53	D-26	立面図	1/200	101	D-74	5・6・7階廊下展開図	1/100	149	D-122	既存棟取合い撤去図（1）病棟Ⅱ取合い部	1/50
8	T-4	建築工事特記仕様書（4）	—	54	D-27	断面図（1）	1/200	102	D-75	ピット天井伏図	1/200	150	D-123	既存中央診療棟取合い撤去・改修図	1/50
9	T-5	建築工事特記仕様書（5）	—	55	D-28	断面図（2）	1/200	103	D-76	1階天井伏図	1/200				
10	T-6	建築工事特記仕様書（6）	—	56	D-29	矩計図（1）（免震棟）	1/50	104	D-77	2階天井伏図	1/200	■昇降機設備			
11	T-7	建築工事特記仕様書（7）	—	57	D-30	矩計図（2）（免震棟）	1/50	105	D-78	3階天井伏図	1/200	151	EV-1	エレベーター詳細図（1）（EV6）	—
12	T-8	建築工事特記仕様書（8）	—	58	D-31	矩計図（3）（免震棟）	1/50	106	D-79	4階天井伏図	1/200	152	EV-2	エレベーター詳細図（2）（EV6）	1/30
13	T-9	建築工事特記仕様書（9）	—	59	D-32	矩計図（4）（免震棟）	1/50	107	D-80	5階天井伏図	1/200	153	EV-3	エレベーター詳細図（3）（EV6）	1/30
14	T-10	建築工事特記仕様書（10）	—	60	D-33	矩計図（5）（免震棟）	1/50	108	D-81	6階天井伏図	1/200	154	EV-4	エレベーター詳細図（4）（EV7）	—
15	T-11	建築工事特記仕様書（11）	—	61	D-34	矩計図（6）（免震棟）	1/50	109	D-82	7階天井伏図	1/200	155	EV-5	エレベーター詳細図（5）（EV7）	1/30
16	T-12	改修工事特記仕様書（1）	—	62	D-35	矩計図（7）（耐震棟）	1/50	110	D-83	PH階天井伏図	1/200	156	EV-6	エレベーター詳細図（6）（EV7）	1/30
17	T-13	改修工事特記仕様書（2）	—	63	D-36	矩計図（8）（耐震棟）	1/50	111	D-84	建具仕様書	—				
18	T-14	改修工事特記仕様書（3）	—	64	D-37	矩計図（9）（耐震棟）	1/50	112	D-85	ビット建具案内図	1/200				
19	T-15	改修工事特記仕様書（4）	—	65	D-38	B階段詳細図（1）	1/50	113	D-86	1階建具案内図	1/200				
20	T-16	改修工事特記仕様書（5）	—	66	D-39	B階段詳細図（2）	1/50	114	D-87	2階建具案内図	1/200				
21	T-17	改修工事特記仕様書（6）	—	67	D-40	B階段詳細図（3）	1/50	115	D-88	3階建具案内図	1/200				
22	T-18	改修工事特記仕様書（7）	—	68	D-41	C階段詳細図（1）	1/50	116	D-89	4階建具案内図	1/200				
23	T-19	改修工事特記仕様書（8）	—	69	D-42	C階段詳細図（2）	1/50	117	D-90	5階建具案内図	1/200				
24	T-20	工事区分表（1）	—	70	D-43	便所詳細図	1/50	118	D-91	6階建具案内図	1/200				
25	T-21	工事区分表（2）	—	71	D-44	ピット平面詳細図（1）取合い部撤去・改修図	1/100	119	D-92	7階建具案内図	1/200				
26	T-22	工事区分表（3）	—	72	D-45	ピット平面詳細図（2）	1/100	120	D-93	PH階建具案内図	1/200				
27	T-23	工事区分表（4）	—	73	D-46	ピット平面詳細図（3）	1/100	121	D-94	建具表（1）	1/100				
				74	D-47	1階平面詳細図（1）取合い部撤去・改修図	1/100	122	D-95	建具表（2）	1/100				
■病棟Ⅲ				75	D-48	1階平面詳細図（2）	1/100	123	D-96	建具表（3）	1/100				
28	D-1	案内図・全体配置図（計画）	1/1500	76	D-49	1階平面詳細図（3）	1/100	124	D-97	建具表（4）	1/100				
29	D-2	全体配置図（現況）	1/1500	77	D-50	2階平面詳細図（1）取合い部撤去・改修図	1/100	125	D-98	建具表（5）	1/100				
30	D-3	部分配置図	1/300	78	D-51	2階平面詳細図（2）	1/100	126	D-99	共通詳細図（1）	図示				
31	D-4	部分配置図（現況）	1/300	79	D-52	2階平面詳細図（3）	1/100	127	D-100	共通詳細図（2）	図示				
32	D-5	面積表（1）	1/400	80	D-53	3階平面詳細図（1）取合い部撤去・改修図	1/100	128	D-101	共通詳細図（3）	図示				
33	D-6	面積表（2）	1/400	81	D-54	3階平面詳細図（2）	1/100	129	D-102	共通詳細図（4）	図示				
34	D-7	凡例表（1）	—	82	D-55	3階平面詳細図（3）	1/100	130	D-103	共通詳細図（5）	図示				
35	D-8	凡例表（2）	—	83	D-56	4階平面詳細図（1）取合い部撤去・改修図	1/100	131	D-104	共通詳細図（6）	図示				
36	D-9	外部仕上表	—	84	D-57	4階平面詳細図（2）	1/100	132	D-105	共通詳細図（7）	図示				
37	D-10	内部仕上表（1）	—	85	D-58	4階平面詳細図（3）	1/100	133	D-106	共通詳細図（8）	図示				
38	D-11	内部仕上表（2）	—	86	D-59	5階平面詳細図（1）取合い部撤去・改修図	1/100	134	D-107	共通詳細図（9）	図示				
39	D-12	内部仕上表（3）	—	87	D-60	5階平面詳細図（2）	1/100	135	D-108	共通詳細図（10）	図示				
40	D-13	内部仕上表（4）	—	88	D-61	5階平面詳細図（3）	1/100	136	D-109	共通詳細図（11）	図示				
41	D-14	内部仕上表（5）	—	89	D-62	6階平面詳細図（1）取合い部撤去・改修図	1/100	137	D-110	共通詳細図（12）	図示				
42	D-15	内部仕上表（6）	—	90	D-63	6階平面詳細図（2）	1/100	138	D-111	共通詳細図（13）	図示				
43	D-16	ピット平面図	1/200	91	D-64	6階平面詳細図（3）	1/100	139	D-112	共通詳細図（14）	図示				
44	D-17	1階平面図	1/200	92	D-65	7階平面詳細図（1）取合い部撤去・改修図	1/100	140	D-113	共通詳細図（15）	図示				
45	D-18	2階平面図	1/200	93	D-66	7階平面詳細図（2）	1/100	141	D-114	共通詳細図（16）	図示				
46	D-19	3階平面図	1/200	94	D-67	PH階平面詳細図（1）取合い部撤去・改修図	1/100	142	D-115	共通詳細図（17）	図示				
						設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	工 事 名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事				設計業務名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務				DATE '20・3・
						設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏	山梨大学施設・環境部				ARCHITECT & OFFICEBRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: DRAWN BY:				DRAWINGNO. L-1
						設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武哉	部長		課長		補佐		担当		東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教 育 施 設 研 究 所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号
														図面リスト（1）	SCALE A1: - A2: - A3: -

通し番号	図面番号	図 面 名 称	縮尺	通し番号	図面番号	図 面 名 称	縮尺	通し番号	図面番号	図 面 名 称	縮尺	通し番号	図面番号	図 面 名 称	縮尺
■病棟Ⅲ【 免震棟 】				202	SM- 4 8	雑配筋詳細図 No.2	1/30	■病棟Ⅲ【 耐震棟 】				■外構			
157	SM- 1	構造設計仕様	—	203	SM- 4 9	鉄骨詳細図 No.1	1/30	223	ST- 1	構造設計仕様	—	264	G- 1	外構撤去図	1/300
158	SM- 2	配筋標準図 No.1	—	204	SM- 5 0	鉄骨詳細図 No.2	1/30	224	ST- 2	配筋標準図 No.1	—	265	G- 2	外構計画図	1/300
159	SM- 3	配筋標準図 No.2	—	205	SM- 5 1	鉄骨詳細図 No.3	1/30	225	ST- 3	配筋標準図 No.2	—	266	G- 3	外構詳細図	図示
160	SM- 4	配筋標準図 No.3	—	206	SM- 5 2	鉄骨詳細図 No.4	1/30	226	ST- 4	配筋標準図 No.3	—				
161	SM- 5	配筋標準図 No.4	—	207	SM- 5 3	鉄骨詳細図 No.5	1/30	227	ST- 5	配筋標準図 No.4	—				
162	SM- 6	配筋標準図 No.5	—	208	SM- 5 4	鉄骨架構詳細図	1/40	228	ST- 6	配筋標準図 No.5	—				
163	SM- 7	鉄骨構造標準図 No. 1	—	209	SM- 5 5	露出型固定柱脚工法設計施工標準図	—	229	ST- 7	鉄骨構造標準図 No. 1	—				
164	SM- 8	鉄骨構造標準図 No. 2	—	210	SM- 5 6	鉄骨組立スラブ/ラブリフト No.1	—	230	ST- 8	鉄骨構造標準図 No. 2	—				
165	SM- 9	鉄骨構造標準図 No. 3	—	211	SM- 5 7	鉄骨組立スラブ/ラブリフト No.2	—	231	ST- 9	鉄骨構造標準図 No. 3	—				
166	SM- 1 0	鉄骨構造標準図 No. 4	—	212	SM- 5 8	2期3期接続部詳細図 No.1	1/30	232	ST- 1 0	鉄骨構造標準図 No. 4	—				
167	SM- 1 1	鉄骨構造標準図 No. 5	—	213	SM- 5 9	2期3期接続部詳細図 No.2	1/30	233	ST- 1 1	鉄骨構造標準図 No. 5	—				
168	SM- 1 2	土質柱状図	—	214	SM- 6 0	1階スリーブ図 (参考図)	1/150	234	ST- 1 2	既製品ベース工法設計施工標準図	—				
169	SM- 1 3	基礎（マツスラブ）伏図	1/150	215	SM- 6 1	2階スリーブ図 (参考図)	1/150	235	ST- 1 3	ｽﾘｰﾌ系機械攪拌式ﾌﾞﾛｯｸ状地盤改良工法特記仕様書	—				
170	SM- 1 4	免震ビット伏図	1/150	216	SM- 6 2	3階スリーブ図 (参考図)	1/150	236	ST- 1 4	土質柱状図	1/200				
171	SM- 1 5	1階伏図	1/150	217	SM- 6 3	4階スリーブ図 (参考図)	1/150	237	ST- 1 5	基礎伏図	1/200				
172	SM- 1 6	2階伏図	1/150	218	SM- 6 4	5階スリーブ図 (参考図)	1/150	238	ST- 1 6	1階伏図	1/200				
173	SM- 1 7	3階伏図	1/150	219	SM- 6 5	6階スリーブ図 (参考図)	1/150	239	ST- 1 7	2階伏図	1/200				
174	SM- 1 8	4階伏図	1/150	220	SM- 6 6	7階スリーブ図 (参考図)	1/150	240	ST- 1 8	3階伏図	1/200				
175	SM- 1 9	5階伏図	1/150	221	SM- 6 7	PH階スリーブ図 (参考図)	1/150	241	ST- 1 9	4階伏図	1/200				
176	SM- 2 0	6階伏図	1/150	222	SM- 6 8	PHR階スリーブ図 (参考図)	1/150	242	ST- 2 0	5階伏図	1/200				
177	SM- 2 1	7階伏図	1/150					243	ST- 2 1	R階伏図	1/200				
178	SM- 2 2	PH階伏図	1/150					244	ST- 2 2	軸組図 (1)	1/100				
179	SM- 2 3	PH階伏図 2	1/150					245	ST- 2 3	軸組図 (2)	1/100				
180	SM- 2 4	PH階伏図 3	1/150					246	ST- 2 4	軸組図 (3)	1/100				
179	SM- 2 5	PHR階伏図	1/150					247	ST- 2 5	軸組図 (4)	1/100				
180	SM- 2 6	軸組図 No.1	1/200					248	ST- 2 6	軸組図 (5)	1/100				
181	SM- 2 7	軸組図 No.2	1/200					249	ST- 2 7	軸組図 (6)	1/100				
182	SM- 2 8	軸組図 No.3	1/200					250	ST- 2 8	基礎断面リスト	1/30				
183	SM- 2 9	軸組図 No.4	1/200					251	ST- 2 9	基礎梁断面リスト	1/30				
184	SM- 3 0	軸組図 No.5	1/200					252	ST- 3 0	柱リスト・スラブリスト	1/30				
185	SM- 3 1	鉄骨心伏図	1/150, 75					253	ST- 3 1	鉄骨梁リスト	1/30				
186	SM- 3 2	免震装置上下取付基礎断面リスト	—					254	ST- 3 2	鉄骨架構詳細図	1/40				
187	SM- 3 3	免震装置特記仕様書 No.1	—					255	ST- 3 3	屋上鉄骨詳細図	1/30				
188	SM- 3 4	免震装置特記仕様書 No.2	—					256	ST- 3 4	鉄骨階段詳細図 外壁支持部材詳細図	1/30				
189	SM- 3 5	免震装置リスト No.1	1/15					257	ST- 3 5	1階スリーブ図 (参考図)	1/200				
190	SM- 3 6	免震装置リスト No.2	1/15					258	ST- 3 6	2階スリーブ図 (参考図)	1/200				
191	SM- 3 7	免震装置リスト No.3	1/15					259	ST- 3 7	3階スリーブ図 (参考図)	1/200				
192	SM- 3 8	免震装置リスト No.4	1/15					260	ST- 3 8	4階スリーブ図 (参考図)	1/200				
193	SM- 3 9	免震装置リスト No.5	1/15					261	ST- 3 9	5階スリーブ図 (参考図)	1/200				
194	SM- 4 0	免震装置リスト No.6	1/10					262	ST- 4 0	R階スリーブ図 (参考図)	1/200				
195	SM- 4 1	免震装置リスト No.7	1/10												
196	SM- 4 2	基礎梁断面リスト	1/50												
197	SM- 4 3	鉄骨柱断面リスト	1/30												
198	SM- 4 4	大梁断面リスト	—												
199	SM- 4 5	RC小梁断面リスト スラブ配筋リスト・壁配筋リスト	1/30												
200	SM- 4 6	鉄骨2次部材リスト	—												
201	SM- 4 7	雑配筋詳細図 No.1	1/30					263	KS- 1	山留計画図 (参考図)	1/400				
				設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一				工 事 名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事				設計業務名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務			
				設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏				山梨大学施設・環境部				ARCHITECT & OFFICEBRANCH: APPR. BY : CHKD. BY : DRAWN BY : 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社「教育施設研究所」 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号			
				設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武哉				部長		課長		補佐		担当	
												DRAWINGTITLE 図面リスト（2）			
												SCALE A1 : - A2 : - A3 : -			
												DATE '20・3・			
												DRAWINGNO. L - 2			

山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他

工事

I 工 事 概 要

1. 工事場所

山梨県中央市下河東1110（山梨大学下河東団地構内）

2. 完成期限

令和 4 年 3 月 3 1 日（木曜日）

3. 建物概要

建物名称	病棟Ⅲ（免震・耐震）	附属病院 （東病棟 中央診療棟一部棟）	西病棟
工種	新築	とりこわし	とりこわし
構造	S	S R	S R
階数	7 階・塔屋 1	7 階	7 階
建築基準法による	建築面積 (m2)	1, 469. 00㎡	1, 334 m2
	延べ面積 (m2)	7, 951. 63㎡	(2, 262 m2) (620 m2)
延べ面積計（㎡）		7, 951. 63㎡	39, 285㎡（ 12, 956㎡ ）
※（ ）内は、とりこわし面積			

4. 工事種目（○印の付いたものが対象工事種目）

建物別及び屋外	工 事 種 別		
工 事 種 目	病棟Ⅲ	病棟Ⅲ（耐震棟）	
○ 2 仮設工事	一式	一式	
○ 3 土工事	一式	一式	
○ 4 地業工事	一式	一式	
○ 5 鉄筋工事	一式	一式	
○ 6 コンクリート工事	一式	一式	
○ 7 鉄骨工事	一式	一式	
○ 8 コンクリート・ブロック・ALCパネル・押出成形型枠板工事	一式	一式	
○ 9 防水工事	一式	一式	
・ 10 石工事			
・ 11 タイル工事			
○ 12 木工事	一式	一式	
○ 13 屋根及びびとい工事	一式	一式	
○ 14 金属工事	一式	一式	
○ 15 左官工事	一式	一式	
○ 16 建具工事	一式	一式	
・ 17 カーテンウォール工事			
○ 18 塗装工事	一式	一式	
○ 19 内装工事	一式	一式	
○ 20 エント及びその他の工事	一式	一式	
○ 21 排水工事	一式	一式	
○ 22 舗装工事	一式	一式	
○ 23 植栽及び屋上緑化工事	一式	一式	
・ プール工事			
・			

5. 指定部分

○無 ・有 対象部分（指定部分工期 令和 年 月 日（曜日）

6. 概成工期

○無 ・有 令和 年 月 日（曜日）

II 工 事 仕 様

1. 共通仕様

（1）文部科学省発注工事請負等契約規則（文部科学省訓令第二十二号）別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 420 枚及び本特記仕様書 23 枚によるほか、○印の付いたものを適用する。

○ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）（以下「標準仕様書」という。）

○ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（電気設備工事編）（機械設備工事編）（平成31年版）（以下「改修標準仕様書」という。）

・ 建築工事標準詳細図（平成28年版）（以下「標準詳細図」という。）

○ 建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）

○ 文部科学省建築工事標準仕様書（特記基準）（建築工事編）（平成31年版）（以下「文科仕様書」と）

○ 文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）（建築工事編）（平成31年版）（以下「文科改修仕様書」という。）

○ 文部科学省機械設備工事標準仕様書（特記基準）（平成31年版）（以下「文科仕様書」という。）

○ 公共建築設備工事標準図（設備工事編）（統一基準）（平成31年版）

○ 文部科学省機械設備工事標準図（特記基準）（平成31年版）

○ 工事写真撮影要領（令和元年7月）

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれその工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）図による。

2. 特記仕様

（1）本特記仕様書の表記

1）項目は、○印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の（〔 〕）内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の〔〔 〕〕内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）

4）〔G〕印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（平成31年2月8日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表 1 中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章

項目

特記事項

1

○適用区分

・ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

・ 風圧力
風速（Vo= 30 m/s）
地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）

・ 積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（ 27 ）

○電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者

この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。

項目名	電気保安技術者
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○
4 旧電気工事技術者検定規定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○
6 第1種電気工事士の資格を有する者	○
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○
8 第2種電気工事士以上の資格を有する者	○
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○

工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。

○施工条件

この工事現場では、次の施工条件による。

○ 工事車両の出入りについては、交通誘導員等を配置し、事故等の防止に努めること。

○ 既設附属の診療に影響を与える作業（騒音、振動、粉じん、臭気等）を行う場合は、監督職員と相談すること

○ 学校行事により作業中止の場合もある。

○ 本工事の仮設計画について提示し、監督職員と協議の上、了承を得ること。

○ 東病棟の制振棟ととりこわし後、存置される床について、核位置について作図し、監督職員立会いのもと、現地確認を行うこと。

○ 解体工事の際、解体範囲と範囲外の境界部分については、電気・機械各設備の切り離しを行うこと。

○ 建築物解体面の提出を行うこと

○ 「中央診療棟等改修工事」〈工費：令和4年3月31日（木）〉と工費がラップするため、工程及び安全対策等について、調整を図ること。

○ 平成12年建設省告示第2009号第4号の五の規定
「出入口その他見やすい場所に、免震建築物であることその他必要な事項を表示すること。」にない、免震建築物の外壁面に高さ約40m×幅40m程度のサインをかつ所設置すること。

○ 本工事の増築受け合い部については、適宜、仮設間切仕切壁（LGS-6B-712.5×2）を設置の上、西面目張りを行い、粉じん対策等を行うこと。

○東病棟及び中央診療棟5～6階における内部取り壊し着手は、令和2年11月1日とする。

○発生材の処理等

（1）引渡しを要するもの

1）品名

2）引渡し先

3）廃棄場所

（2）特別管理産業廃棄物

1）品名

特別管理産業廃棄物「廃石綿等」

2）処理方法

5章 特別管理産業廃棄物等の処理による

（3）現場において再利用を図るもの

1）品名

コンクリート屑

2）使用箇所

ビッド部（解体作業を行うための埋め戻し用）

（4）再資源化を図るもの

1）品名

金属類、コンクリート、木材、プラスチック、発泡スチレン

（5）その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。

○環境への配慮

（1）建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。

② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。

③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。

④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

○材料の品質等

（2）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三种」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

① 建築基準法施行令第20条の7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三种ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料

② 建築基準法施行令第20条の7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

③ 建築基準法施行令第20条の7 第 1 項に定める第三种ホルムアルデヒド発散建築材料

④ 建築基準法施行令第20条の7 第 3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

（1. 4. 2）

○ 材料の検査等

○ 技能士

○ 施工の立会い

○ 化学物質の濃度測定

○完成時の提出図書

（1. 7. 1～3）

次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事的目的物に使用するための権利については、発注者に委譲する。

○ 完成図（施工図、施工計画書を除く。）

CADデータ（電子納品） 1 部

A3版原図 1 部

A1版原図 1 部

A3複写図（製本） 2 部

A1複写図（製本） 2 部

・ 施工計画書

A4ファイル綴じ 1 部

○ 保全に関する資料

A4ファイル綴じ 3 部

○ 施工図（次に示すものを標準とし、提出部数等は監督職員と協議による。）

鉄筋配筋図（納まり図含む） 一式

コンクリート躯体図 一式

鉄骨製作図 一式

カーテンウォール製作図 一式

機器製作図 一式

制御システム図 一式

試験成績書 一式

機器・配管固定の施工図 一式

○ 工事写真（「工事写真撮影要領」による。）

原本（電子媒体） 1 部

アルバム（紙又は電子媒体） 1 部

・ 完成写真

工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影部位及び箇所数	形式・サイズ	提出セット数	画素数及び画質等	撮影者
外観正面 1箇所	カラー印刷紙キャビネ判		4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの	建築完成写真の撮影実績がある者で、監督職員が承諾する撮影業者
	カラー印刷紙キャビネ判	1		
	A4アルバム綴じ※			
	電子データ（JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度）	1		
上記と異なる外部：箇所 内部：箇所	カラー印刷紙キャビネ判		4500×3000ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	A4アルバム綴じ※	1		
外部：箇所 内部：箇所	カラー印刷紙キャビネ判	1	1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質	任意
	A4アルバム綴じ	1		
程度	電子データ（JPEGフルカラー）	1		

注：※のアルバムは併せて作成する。

電子納品は次の規定に従うものとする。

1） 貸与する設計図のCADデータは以下による。

・ 作者名： 国立大学法人山梨大学

・ ファイル形式： JWWまたはDXF及びPDF

・ 貸与条件： 貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。

2） 完成写真の撮影に関する著作権者の権利等については次のi）及びii）によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。

i）提出された写真は、国が行う事務及び国が認めた用途に限り、無償で利用することができるものとする。この際、著作権名を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。

ii）受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真（提出していないものを含む。）及びその改変物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。

3） 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。

4） 電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。

5） 提出方法及びファイル形式は以下による。

・ 電子媒体：CDD-R又はDVD-R

・ CADデータ：JWW、DXF及びPDF

上記の他、監督職員が認めた形式

○他工事又は他工程との取合い

設計者氏名

一級建築士 大田登録 第156415号 飯田 順一

設計者氏名

一級建築士 大田登録 第186527号 遠藤 雅敏

設計者氏名

一級建築士 大田登録 第232192号 渡辺 武義

工事名

山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事

山梨大学施設・環境部

ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR BY : CHKD BY :
DRAWN BY : DRAWING TITLE :
東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号
株式会社 教育施設研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録第48334号

部長

課長

補佐

担当

設計業務名

山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務

DATE

'20・3・

SCALE

A1: ー
A2: ー
A3: ー

DRAWING NO.

T ー 1

建築工事特記仕様書（1）

2
仮設工事

○足場その他

3
土工事

○埋戻し及び盛土

材料及び工法

・材料（
）　工法（
）
※表〔3.2.1〕による
種別
・A種適用場所（
）
・B種適用場所（
）
・C種適用場所（
）土質（
）受渡場所（
）
・D種適用場所（
）品質細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする。
○東病棟基礎部解体前に行う山留を打ち込む前に、躯体解体で発生するコンクリート屑と構内に体積している良質な根切土を仮設的な埋戻し用として利用し、解体終了後はすべて撤去処分とする。また、制振装置撤去部については、同様に構内にたい積良質な根切土を使用し、埋戻しを行うこと。

○建設発生土の処理
○山留めの撤去

◎(1.3.11)による
・構内指示の場所に堆積
・構内指示の場所に敷き均し
鋼矢板等の抜き後の処理
・直ちに砂等で充填する
山留めの在置
・行う（在置範囲参照図示）

4
地業工事

特記仕様書（構造関係）による

5
鉄防工事

特記仕様書（構造関係）による

6
コンクリート工事

特記仕様書（構造関係）による

7
鉄骨工事

特記仕様書（構造関係）による

8
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

＝補強コンクリートー
＝ブロッタ造＝

＝コンクリートブロッコ
＝機壁及び帯＝

ブロックの種類等（8.2.2）
断面形状及び圧縮強度による区分正味厚さ（mm）モジュール呼び寸法（mm）長さ高さ化粧の有無適用箇所備考
・
・
・無有
・無有
モルタルの調合（容積比）（8.2.3）
・セメント（
）；砂（
）
各部の配筋（8.2.5）
※図示による（
）
（8.3.2、3、4）
ブロックの種類等（8.3.2）
断面形状及び圧縮強度による区分正味厚さ（mm）モジュール呼び寸法（mm）長さ高さ化粧の有無（表〔8.3.1〕以外）の適用箇所備考
・空洞ブロック C（16）
・型枠状ブロック 20
・
・無有
・無有
塀の厚さ（8.3.2）
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状（8.3.4）
※図示による（
）
各部の配筋（8.3.4）
※図示による（
）
（8.4.2～5）
パネルの区分単位荷重（N/m2）厚さ（mm）長さ（mm）幅（mm）耐火性能表面加工構法の種別
○外壁パネル
○100
○120
・意匠
○A種・B種
・間仕切壁パネル
・100
・有（1）時間
・平
・意匠
・F種
・D種
・E種
・屋根パネル
・100
有（0.5）時間
平
F種
・床パネル
・100
・有（
）時間
パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材
製造所・製品名
クリオン（株）：クリオン厚形パネル
旭化成建材（株）：ヘーベル
住友金属鉱山シボレックス（株）：シボレックス同等品
外壁、屋根パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
・パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の目地幅（mm）
※10～20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填
・適用する
・適用しない

○貼パネル

9
防水工事

○押出成形セメント板（ECP）

(8.5.2～5)
パネルの種類形状厚さ(mm)幅(mm)工法の種別備考
○外壁パネル
○F（フットバ）
・D（デザインバ）
・T（タイパ）
・50
○60
・60
600
○A種
○B種
・間仕切壁パネル
・F（フットバ）
・D（デザインバ）
・T（タイパ）
・50
・60
・50
・60
600
・B種
・C種
外壁パネルの工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・
パネル相互の目地幅（mm）
・長辺
・短辺
出隅及び入隅のパネル接合目の目地幅（mm）※15程度
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
※パネルの製造所の仕様やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	・図示	・図示
	長辺	・図示	・図示
パネルを切り欠く場合	短辺	・図示	・図示
	長辺	・図示	・図示

（9.2.2～5）（表〔9.2.3～9）
屋根保護防水
防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用シート	立上り部の保護方法
・A-1		※＊リテレンフィード 厚さ0.15mm以上	※フラットヤンQX 70g/m2程度	乾式保膜材
・A-2				
・A-3				
・B-1				
・B-2				
・B-3				
・A1-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく 押出法ポリスチレンフォーム 断熱材 3種ba（スキン層付き）	※フラットヤンQX 70g/m2程度	・コンクリート押し ・れんが押し ○砂付フラットルーフィング
・A1-2				
・A1-3				
○B1-1	○屋根Ⅱ-2	(厚さ) ○50mm ・25mm ・50mm		※JIS R 1250
・B1-2				
・B1-3				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分
※R種
厚さ
mm以上
※標準仕様書表9.2.3から標準仕様書表9.2.8による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分
※R種
厚さ
mm以上
※標準仕様書表9.2.5から標準仕様書表9.2.8による
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ
※水下 80mm以上
床タイル張り
※水下 60mm以上
・乾式保膜材
窯業系パネル：無石綿繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの。
屋根露出防水
防水層の種類

種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料 種類使用量	高日射反射率 防水の適用 [G]
・D-1		・フラットルーフィング類の製造所の仕様	※フラットルーフィング類の製造所の仕様	・
・D-2				・
・D-3				・
・D-4				・
・DI-1		標準仕様書 9.2.2(9)(種類)		・
・DI-2		(厚さ) ・ ・25mm ・50mm		・

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置参照図示
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
個
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

10
瓦葺工事

二枚葺き
○大規模修繕工事

11
遮音工事

遮音性試験
○引張接着性試験

12
電気設備工事

接地抵抗値測定
○電線管敷設工事

13
空調設備工事

空気清浄機設置
○冷媒配管工事

14
衛生設備工事

排水設備
○給排水設備工事

15
照明設備工事

照明器具設置
○LED照明工事

16
情報通信設備工事

ネットワーク配線
○サーバー設置工事

17
昇降機設備工事

エレベーター設置
○エスカレーター設置工事

18
非常設備工事

消火栓設置
○防火設備工事

19
防災設備工事

避難経路確保
○緊急通報システム設置工事

20
その他

その他工事
○特殊塗装工事

設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一
設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏
設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武義

工事名
山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事
山梨大学施設・環境部
部長課長補助担当

株式会社教育施設研究所
ARCHITECT&OFFICEBRANCH|APPR BYCHKD BY
DRAWING TITLE
東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号
株式会社教育施設研究所
一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号

図面番号
山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務
建築工事特記仕様書（2）

DATE
'20・3・
SCALE
A1:A2:A3:
DRAWING NO.
T-2

[illegible]

外部仕上表＜免震棟＞						外部仕上表＜耐震棟＞								
位 置	場 所	仕 上	位 置	場 所	仕 上	位 置	場 所	仕 上	位 置	場 所	仕 上			
屋根Ⅲ-1	平場 (屋根Ⅲ-1)	塩ビ系シート防水 ϕ 1.5 (機械的固定工法) (SⅠ-M2) 歩行用 (断熱材 硬質ウレタンフォーム ϕ 50) C-F (B) 打増 ϕ 10	外壁	北側	複層塗材 E ALC ϕ 100 (タテ張り)	屋根Ⅲ-4 屋根Ⅲ-5	平場	塩ビ系シート防水 ϕ 1.5 (機械的固定工法) (SⅠ-M2) 歩行用 (断熱材 硬質ウレタンフォーム ϕ 50) C-F (B) 打増 ϕ 10	外壁	北側	複層塗材 E ALC ϕ 100 (タテ張り) 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25			
	立上り部	C-W (B) 塩ビ系シート防水 ϕ 1.5 (接着工法) (S-F2)		腰壁部 5 F ～ 7 Fバルコニー庇 PHFL部	複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25 複層塗材 E PC版 ϕ 175		立上り部	C-W (B) 塩ビ系シート防水 ϕ 1.5 (接着工法) (S-F2)		腰壁部 PHFL部				
屋根Ⅲ-2	平場	屋根保護防水絶縁断熱工法 (BⅠ-1) C-F (A) C-R C ϕ 80 (溶接金網 100×100×6 ϕ) 伸縮目地ポリオフィレン系 W=25 (既成品) @3000 ポリエチレンシート ϕ 0.15 P F板 ϕ 50 A防水 (冷工法断熱防水) C-F (B) 打増 ϕ 15		西側 腰壁部・パラベット 5 F ～ 7 Fバルコニー庇 PHFL部	複層塗材 E ALC ϕ 100 (タテ張り) 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25 複層塗材 E PC版 ϕ 175		笠木	屋根Ⅲ-4 屋根Ⅲ-5	コンクリート笠木 W=265 T防 (X-2) コンクリート笠木 W=265 T防 (X-2)	南側 腰壁部 PHFL部	複層塗材 E ALC ϕ 100 (タテ張り) 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25			
	立上り部	C-W (B) 砂付きアスファルトルーフィング		屋上機械室等	複層塗材 E ALC ϕ 150 (タテ張り)				西側 腰壁部 PHFL部		複層塗材 E ALC ϕ 100 (タテ張り) 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25			
屋根Ⅲ-3 (屋根Ⅲ-3)	メンテナンスデッキ	デッキ用パネル (溶融亜鉛メッキ処理) 250W x 60H x 2.3 t メンテナンスデッキ手摺 : St. FB-50 x 6、手摺子 : St. FB-50 x 6@1000 (HDZ55) 2-M16	バルコニー庇	床	T防 (X-2) C-F (B) 打増 ϕ 15～60	ルーフトレイン	屋根Ⅲ-4 屋根Ⅲ-5	鋳鉄製シート防水コンクリート打込用 (横型) 100A 鋳鉄製シート防水コンクリート打込用 (横型) 100A		各屋上機械室等 腰部	複層塗材 E ALC ϕ 120 (タテ張り) 複層塗材 E C-W (A) 打増 ϕ 25			
	平場	塩ビ系シート防水 ϕ 1.5 (接着工法) (S-F2) 野地板木片セメント板 ϕ 18 木製床組 (FL+100*FL+350 水勾配1／50) 根太 25x30@300／大引 45x60@900／束柱 90x60@900 C-F (B) 打増 ϕ 10		笠木 (鼻先) 軒天	コンクリート笠木 T防 (X-2) 防鳥ワイヤー (1段) 複層塗材 E FK ϕ 8 (屋外)		バラベットの上部	防鳥ワイヤー (1段)		室外機置場1、2外壁 (屋上目隠し壁)	南側・東側 有孔折板 W250@400 L3000 北側・西側 下地鉄骨 (HDZ)			
	立上り部	C-W (B) 塩ビ系シート防水 ϕ 1.5 (接着工法) (S-F2)				縦樋	外部露出部	カラーVP 100A、125A						
笠木	屋根Ⅲ-1	アルミ笠木 W=400	犬走り	床	T防 (X-2) C-F (B) 打増 ϕ 15	オーバーフロー管	全ての屋根部	塩ビ製 ϕ 50 既製品	庇	庇7	アルミ型材 ϕ 60 (既製品) 4,900W x 1,900D 支持アーム付き			
	屋根Ⅲ-2	コンクリート (PC) 笠木 W=225 T防 (X-2)		搬入口	FRP複合板 (1500 x 1500 x 2枚)									
	屋根Ⅲ-3	コンクリート笠木 W=210 T防 (X-2)	免震用EXP. J	外壁-病棟渡り廊下外壁	アルミ製 可動量 $\pm$ 1200	丸環	図示による	ステンレス製 (SUS304) 19 ϕ SUS. FB-9 x 50 x 250 打込型 (既製品)						
	バラベットの上部	防鳥ワイヤー (1段)		外壁-病棟渡り廊下屋根	アルミ製 可動量 $\pm$ 1200									
ルーフトレイン	屋根Ⅲ-1	鋳鉄製シート防水コンクリート打込用 (横型) 100A		外壁-外壁 (耐震棟)	アルミ製 可動量 $\pm$ 650									
	屋根Ⅲ-2	鋳鉄製シート防水コンクリート打込用 (横型) 100A		外壁-屋根 (耐震棟)	アルミ製 可動量 $\pm$ 650									
	屋根Ⅲ-3	鋳鉄製シート防水コンクリート打込用 (縦型) (ヨコ型) 100A												
	バルコニー庇	鋳鉄製T防水コンクリート打込用 (縦型) 75A												
縦樋	外部露出部	カラーVP 100A、125A												
オーバーフロー管	全ての屋根部	塩ビ製 ϕ 50 既製品												
丸環	図示による	ステンレス製 (SUS304) 19 ϕ SUS. FB-9 x 50 x 250 打込型 (既製品)												
					設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	工 事 名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事			設計業務名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務			DATE '20・3・		
					設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏	山梨大学施設・環境部			ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: DRAWN BY: DRAWING TITLE			SCALE A1: — A2: — A3: —	DRAWING NO. D — 9	
					設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武哉	部長		課長		補佐		担当		外部仕上表

内部仕上表														※壁下地Bは平面詳細図記載の軽量鉄骨間仕切壁による															
位置	室名	床高	床		巾木（特記なき限りH=100） 下地：特記以外 壁下地同様	壁（柱型）		天井（梁型）		天井高	廻縁	備 考		位置	室名	床高	床		巾木（特記なき限りH=100） 下地：特記以外 壁下地同様	壁（柱型）		天井（梁型）		天井高	廻縁	備 考			
			下地	仕上		仕上	壁（柱型）下地	仕上	天井（梁型）下地								仕上	下地		仕上	仕上	壁（柱型）下地	仕上					天井（梁型）下地	仕上
1階 薬 剂 部 （ 免 震 棟 ）	調剤室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	FVS2 π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		FK-D π 6. 0 （目透しシール5×5）	LGC （梁型部） LGC+GB-R π 12. 5 +GB-R（H）9. 5	GB-D π 9. 5 （梁型部） VC-1	3600 （梁型部） 3340	P- コ （目）	手洗LS用ライニング	1階	注射薬払出室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R π 12. 5 +GB-R（H）9. 5	GB-D π 9. 5 （梁型部） VC-1	3600 （梁型部） 3340	P- コ （目）	手洗LS用ライニング		
	散剤調剤室 （陰圧室）	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	FVS2 π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		FK-D π 6. 0 （目透しシール5×5）	LGC+GB-R π 12. 5	FK-D π 6. 0 （目透しシール5×5）	2700	P- コ （目）	流し用ライニング S-1200（備品）		休憩室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2700	P- コ （目）	流し用ライニング LS-1200（備品）	
	抗がん剤 散剤調剤室 （陰圧室）	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	FVS2 π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		FK-D π 6. 0 （目透しシール5×5）	LGC+GB-R π 12. 5	FK-D π 6. 0 （目透しシール5×5）	2700	P- コ （目）	流し用ライニング S-750（備品）		大型冷蔵庫 （7℃） 【別途工事】	± 0	（プレハブ冷蔵庫用ベース） C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	FVS2 π 2. 0				（プレハブ冷蔵庫用壁パネル）		（プレハブ冷蔵庫用天井パネル）	直天		（ ）内は別途工事		
	麻薬室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		B（PL=1. 2張り）	VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2700	P- コ		大型冷蔵庫 （3℃） 【別途工事】	± 0	（プレハブ冷蔵庫用ベース） C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	FVS2 π 2. 0				（プレハブ冷蔵庫用壁パネル）		（プレハブ冷蔵庫用天井パネル）	直天		（ ）内は別途工事		
	薬剤部当直室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2700	P- コ	流し用ライニング LS-1200（備品） 天吊モニター用アンカーボルト CR		薬品倉庫 （2 0℃）	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	3600 （梁型部） 3340	P- コ	手洗LS用ライニング		
	UST	+200 床スラブ （FL±0）	C-F（木）打増 π 10 PF板 π 50	（UST床面）			B	（UST壁面）			（UST天井面）		UST1216 ユニットバス用樹脂製開口枠（既製品）		検収室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2700	P- コ			
	共通・予備 ロッカー室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2600	P- コ		業務室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2700	P- コ	流し用ライニング LS-1200（備品）			
	女子ロッカー室 男子ロッカー室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2600	P- コ	CR LD（設備工事）		部長室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2700	P- コ	LD（設備工事）	
	治験薬 向精神薬 保管庫	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2700	P- コ		倉庫	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2400	P- コ			
	医薬品情報室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2800	P- コ	LD（設備工事）			TDM・試験室 （陰圧室）	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	FVS2 π 2. 0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		FK-D π 6. 0 （目透しシール5×5）	LGC+GB-R π 12. 5	FK-D π 6. 0 （目透しシール5×5）	2700	P- コ （目）	手洗LS用ライニング	
	病棟活動記録室 ・カンファランス室	± 0	C-F（A）打増 π 10 PF板 π 50	VS（FS） π 2. 0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D π 9. 5	2800	P- コ	手洗LS用ライニング 流し用ライニング LS-1200（備品） 天吊プロジェクター用アンカーボルト																

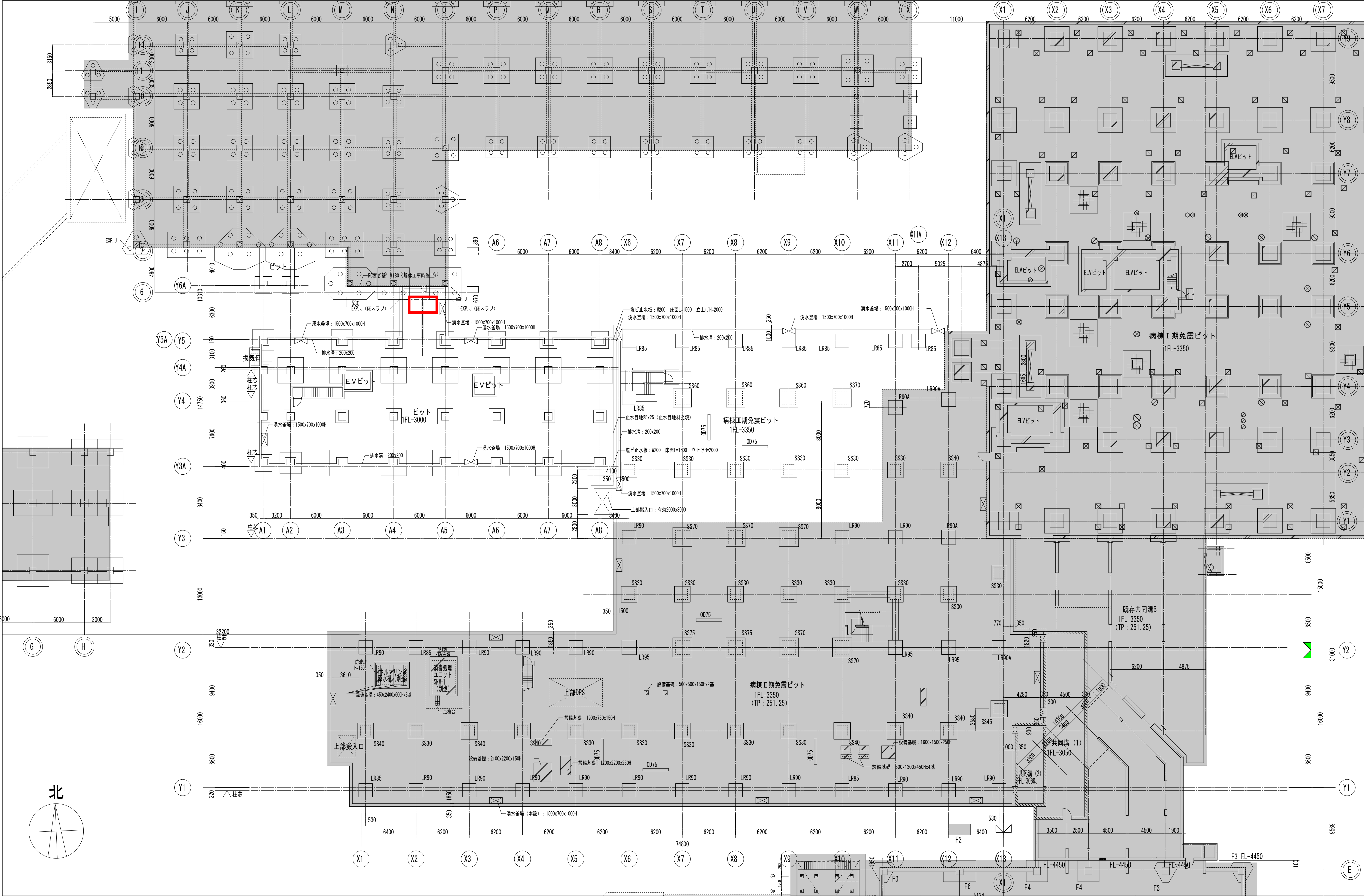
				設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一				工 事 名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事				株式会社 教育施設研究所				設計業務名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務				DATE '20・ 3 ・	
				設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏				山梨大学施設・環境部				ARCHITECT & OFFICE BRANCH：APPR. BY：CHKD. BY：DRAWN BY：DRAWING TITLE 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教 育 施 設 研 究 所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4 8 3 4号				SCALE A1： — A2： — A3： —				DRAWING NO. D — 11	
				設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武義				部 長 課 長 補 佐 担 当								内部仕上表（2）					

内部仕上表													※壁下地Bは平面詳細図記載の軽量鉄骨間仕切壁による														
位置	室名	床高	床		巾木（特記なき限りH=100） 下地：特記以外 壁下地同様	壁（柱型）		天井（梁型）		天井高	廻縁	備 考	位置	室名	床高	床		巾木（特記なき限りH=100） 下地：特記以外 壁下地同様	壁（柱型）		天井（梁型）		天井高	廻縁	備 考		
			下地	仕上		仕上	壁（柱型）下地	仕上	天井（梁型）下地							仕上	下地		仕上	仕上	壁（柱型）下地	仕上				天井（梁型）下地	仕上
2階 ME センター （免震棟）	返却・保管室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー		2階 薬 剤 部 （耐震棟）	注射薬払出室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	EP	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー （目）		
	陰圧室 （ダーティー）	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		FK-D ∇ 6.0 （目透しシール5×5）	LGC+GB-R ∇ 12.5	FK-D ∇ 6.0 （目透しシール5×5）	2600	Pー ー （目）	流し用ライニング S-2100（備品） 手洗LS用ライニング		前室1	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	FK-D ∇ 6.0 （目透しシール5×5）	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー （目）	流し用ライニング S-1200（備品）	
	保管室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）		VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	手洗LS用ライニング 天吊モニター用アンカーボルト		前室3	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	FK-D ∇ 6.0 （目透しシール5×5）	LGC+GB-R ∇ 12.5	FK-D ∇ 6.0 （目透しシール5×5）	2600	Pー ー （目）	流し用ライニング S-1800（備品）	
	ME当直室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	LD（設備工事）		注射薬調整室 ＜クラス10000＞	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	FK-D ∇ 6.0 （目透しシール5×5）	LGC+GB-R ∇ 12.5	FK-D ∇ 6.0 （目透しシール5×5）	2600	Pー ー （目）	流し用ライニング S-1800（備品）	
	US	+200 床スラブ （FL±0）	C-F（木）打増 ∇ 10	（US床面）			B	（US壁面）		（US天井面）	直天	ー	ユニットバス用樹脂製開口枠（既製品） US0808		高度無菌製剤 調整室 ＜クラス1000＞	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	FK-D ∇ 6.0 （目透しシール5×5）	LGC+GB-R ∇ 12.5	FK-D ∇ 6.0 （目透しシール5×5）	2600	Pー ー （目）		
	ME事務室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	流し用ライニング LS-1500（フード付）（備品） 手洗LS用ライニング 天吊モニター用アンカーボルト		ロッカー室（M） ロッカー室（W）	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	LD（設備工事）
	更衣室（W） 更衣室（M）	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	CR		オートクレーブ 蒸留水製造装置 設置エリア	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	EP	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	流し用ライニング S-1500（備品）	
2階 手術部 （免震棟）	MEセンター 技師長室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	LD（設備工事）		薬剤部廊下	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2400	Pー ー	
	手術部事務員室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	LD（設備工事）		前室4	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	流し用ライニング S-1800（備品）	
	手術部長室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	LD（設備工事）		湿性製剤室 （陰圧室）	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	EP	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー		
	手術部教官室1	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	LD（設備工事）		乾性製剤室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	FVS2 ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	EP	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー		
2階 （免震棟）	手術部教官室2	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	LD（設備工事）		研究室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		床仕上立上げB （アルミ見切縁）	EP	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	流し用ライニング S-1500（備品）	
	収納 収納1,2	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	—	—	（1350） 収納棚底面	—		副部長室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	LD（設備工事）	
	ストレッチ・ピット	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	—	—	（1350） 収納棚底面	—		准教授室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	LD（設備工事）	
													2階 （耐震棟）	看護師休憩室	±0	C-F（A）打増 ∇ 10	VS（FS） ∇ 2.0		SV	B	VC-1	LGC	GB-D ∇ 9.5	2600	Pー ー	流し用ライニング LS-1500（備品） TV用アンカー・天吊り下地 LD（設備工事）	
									設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一				工 事 名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事				 株式会社教育施設研究所				設計業務名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務				DATE '20・3・		
									設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏				山梨大学施設・環境部				ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: DRAWN BY: DRAWING TITLE 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教 育 施 設 研 究 所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号				SCALE A1: ー A2: ー A3: ー				DRAWING NO. D ー 12		
									設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武哉				部 長 課 長 補 佐 担 当				内部仕上表（3）										

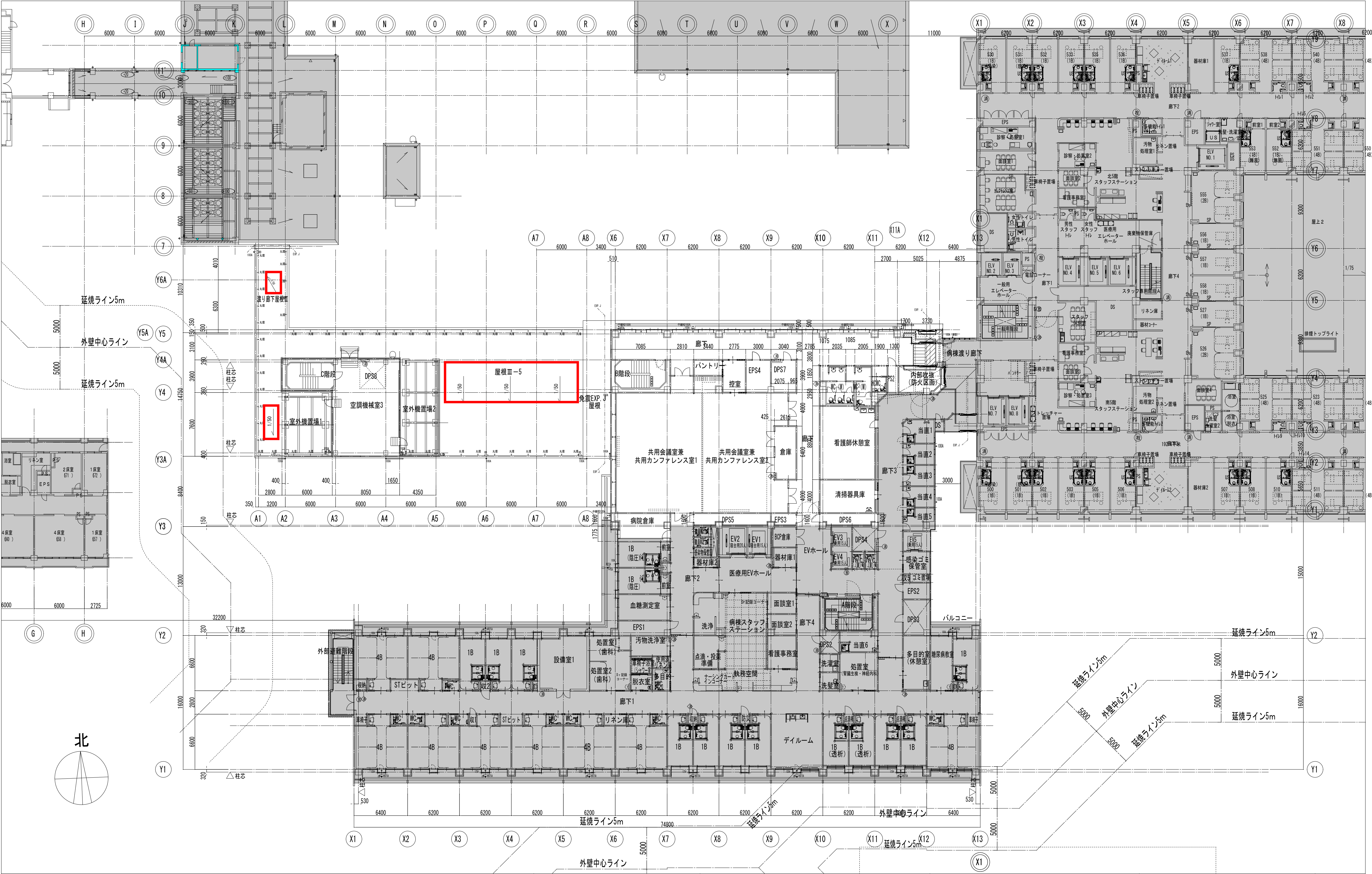
内部仕上表													※壁下地Bは平面詳細図記載の軽量鉄骨間仕切壁による																
位置	室名	床高	床		巾木（特記なき限りH=100） 下地：特記以外 壁下地同様	仕上	壁（柱型）		天井（梁型）		天井高	廻縁	備 考	位置	室名	床高	床		巾木（特記なき限りH=100） 下地：特記以外 壁下地同様	仕上	壁（柱型）		天井（梁型）		天井高	廻縁	備 考		
			下地	仕上			壁（柱型）下地	仕上	天井（梁型）下地	仕上							下地	仕上			壁（柱型）下地	仕上	天井（梁型）下地	仕上					
3階 医 療 情 報 室 （ 免 震 棟 ）	教員室	±0 床スラブ (R-300)	FAF H=300 C-F（木）打増710 ※スラブ下現場発泡 断熱材750吹付	VT（KT）72.0 （工場張り）		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー		3階 看 護 部 （ 耐 震 棟 ）	倉庫3	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	
	サーバー室1	±0 床スラブ (R-300)	FAF H=300 C-F（木）打増710 ※スラブ下現場発泡 断熱材750吹付	VT（KT）72.0 （工場張り）		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2400	P- ー		看護部管理室1	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	LD（設備工事）	
	サーバー室2	±0 床スラブ (R-300)	FAF H=300 C-F（木）打増710 ※スラブ下現場発泡 断熱材750吹付	VT（KT）72.0 （工場張り）		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2400	P- ー		印刷・事務備品室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー		
	研修室	±0 床スラブ (R-300)	FAF H=300 C-F（木）打増710 ※スラブ下現場発泡 断熱材750吹付	VT（KT）72.0 （工場張り）		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600 （一部） 2400	P- ー		面談室兼研修室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	WB W1200xH900（別途）	
	SE開発室	±0 床スラブ (R-300)	FAF H=300 C-F（木）打増710 ※スラブ下現場発泡 断熱材750吹付	VT（KT）72.0 （工場張り）		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2400	P- ー		応接室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー		
	医療情報制御室	±0 床スラブ (R-300)	FAF H=300 C-F（木）打増710 ※スラブ下現場発泡 断熱材750吹付	VT（KT）72.0 （工場張り）		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2400	P- ー	流し用ライニング LS-1050（備品）	倉庫2	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー		
	スキャンセンター	±0 床スラブ (R-300)	FAF H=300 C-F（木）打増710	VT（KT）72.0 （工場張り）		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	（梁型部） VC-1	（梁型部） 2400 2315	2600	P- ー		看護部休憩室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	流し用ライニング S-1800（備品）
	医療情報打合室	±0 床スラブ (R-300)	LGF H=300 C-F（木）打増710	VT（KT）72.0		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	（梁型部） VC-1	（梁型部） 2400	2600	P- ー		看護部管理室2	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	LD（設備工事）
	スキャンセンター ロッカー室	±0 床スラブ (R-300)	LGF H=300 C-F（木）打増710	VT（KT）72.0		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	（梁型部） VC-1	（梁型部） 2315	2600	P- ー	流し用ライニング LS-1050（備品）	倉庫1	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2400	P- ー	
															看護部補助者 事務室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	流し用ライニング S-1600（備品）	
														看護実習生休憩室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	流し用ライニング LS-1200（備品）		
														3階 （ 耐 震 棟 ）	共用カフラス室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	天吊プロジェクター用アンカーボルト	

																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									</
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

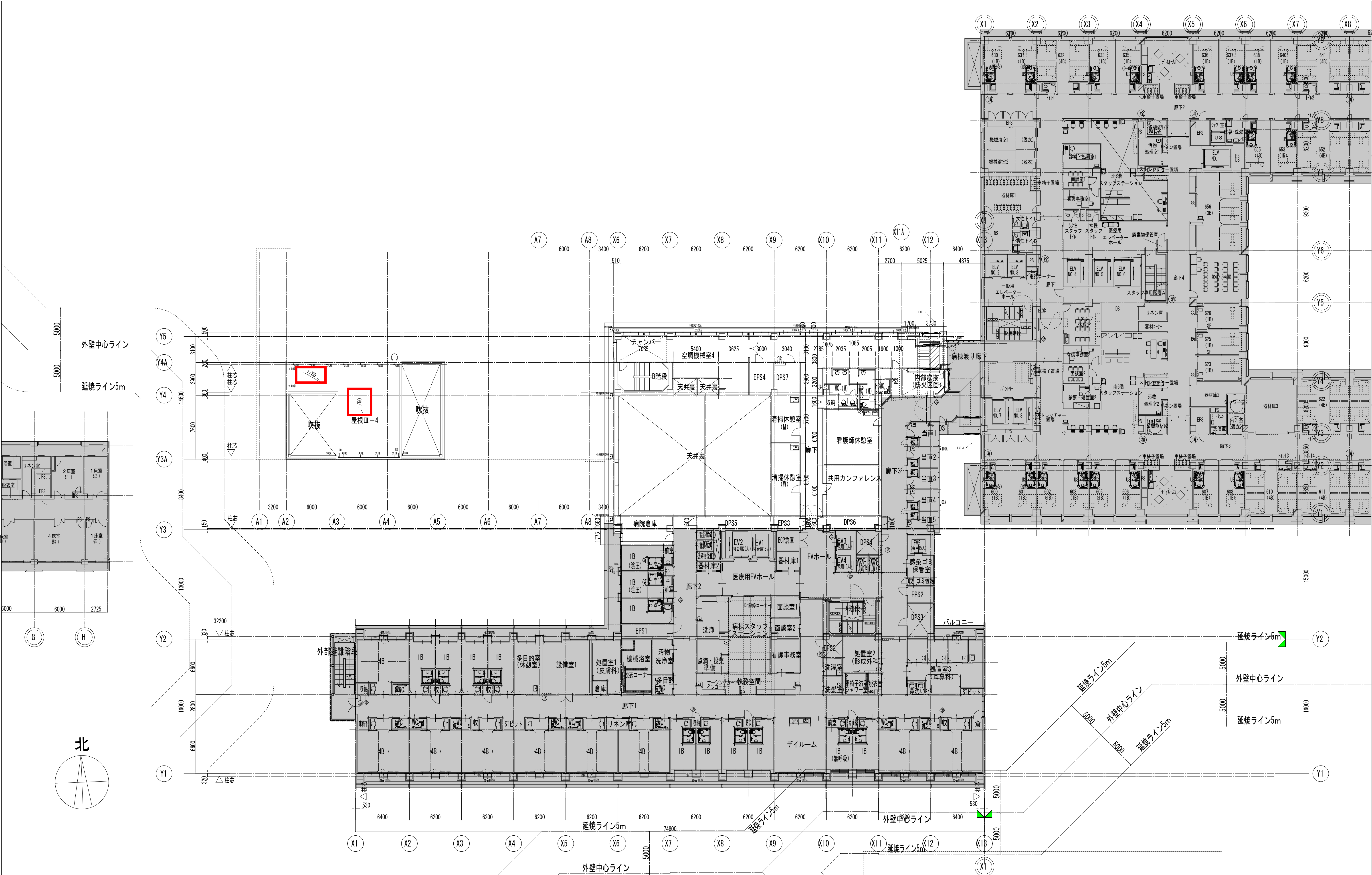
内部仕上表														※壁下地Bは平面詳細図記載の軽量鉄骨間仕切壁による															
位置	室名	床高	床		巾木（特記なき限りH=100）		壁（柱型）		天井（梁型）		天井高	廻縁	備 考	位置	室名	床高	床		巾木（特記なき限りH=100）		壁（柱型）		天井（梁型）		天井高	廻縁	備 考		
			下地	仕上	下地：特記以外 壁下地同様	仕上	壁（柱型）下地	仕上	天井（梁型）下地	仕上							下地：特記以外 壁下地同様	仕上	壁（柱型）下地	仕上	天井（梁型）下地	仕上							
4階 臨床教育センター （免震棟）	ダグインチ シミュレーション室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー		4階 臨床教育センター （耐震棟）	専用通路	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2400	P- ー	
	心臓リハビリ シミュレーション室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー		シミュレーション 器材庫	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー		
	内視鏡 シミュレーション室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー																
	タスク トレーニング ルーム1,2	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	GB-D79.5 （梁型部） VC-1	2600 （梁型部） 2350	P- ー	天吊プロジェクター用アンカーボルト SLW取付用下地金物	感染制御部事務室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	流し用ライニング LS-1200（備品） LD（設備工事）	
	手術シミュレーション1	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	GB-D79.5 （梁型部） VC-1	2600 （梁型部） 2440	P- ー		感染制御部部長室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	LD（設備工事）	
	準備室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	GB-D79.5 （梁型部） VC-1	2600 （梁型部） 2440	P- ー																
	手術シミュレーション2	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	GB-D79.5 （梁型部） VC-1	2600 （梁型部） 2440	P- ー		診療情報管理室 （医事課）	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	LD（設備工事）	
															安全管理部部長室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	LD（設備工事）	
	シミュレーションセンター 管理室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	GB-D79.5 （梁型部） VC-1	2600 （梁型部） 2400 2315	P- ー	手洗用ライニング 流し用ライニング LS-1200（備品）	安全管理部事務室 GMR室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC	GB-D79.5	2600	P- ー	流し用ライニング LS-1200（備品） LD（設備工事）	
	シミュレーションセンター 控室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	GB-D79.5 （梁型部） VC-1	2600 （梁型部） 2400 2315	P- ー	手洗用ライニング 流し用ライニング LS-1200（備品）															
	4階 （免震棟）	看護師休憩室	±0	C-F（A）打増710	VS（FS）72.0		SV	B		VC-1	LGC （梁型部） LGC+GB-R712.5 +GB-R（H）9.5	GB-D79.5 （梁型部） VC-1	2600 （梁型部） 2400 2315	P- ー	流し用ライニング S-1800（備品） LD（設備工事）														
										設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一				工事名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事				設計業務名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務				DATE '20・3・							
										設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏				山梨大学施設・環境部				ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: DRAWN BY:				DRAWING TITLE 内部仕上表（5）		SCALE A1: ー A2: ー A3: ー		DRAWING NO. D ー 14			
										設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武哉				部長 課長 補佐 担当				東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号											



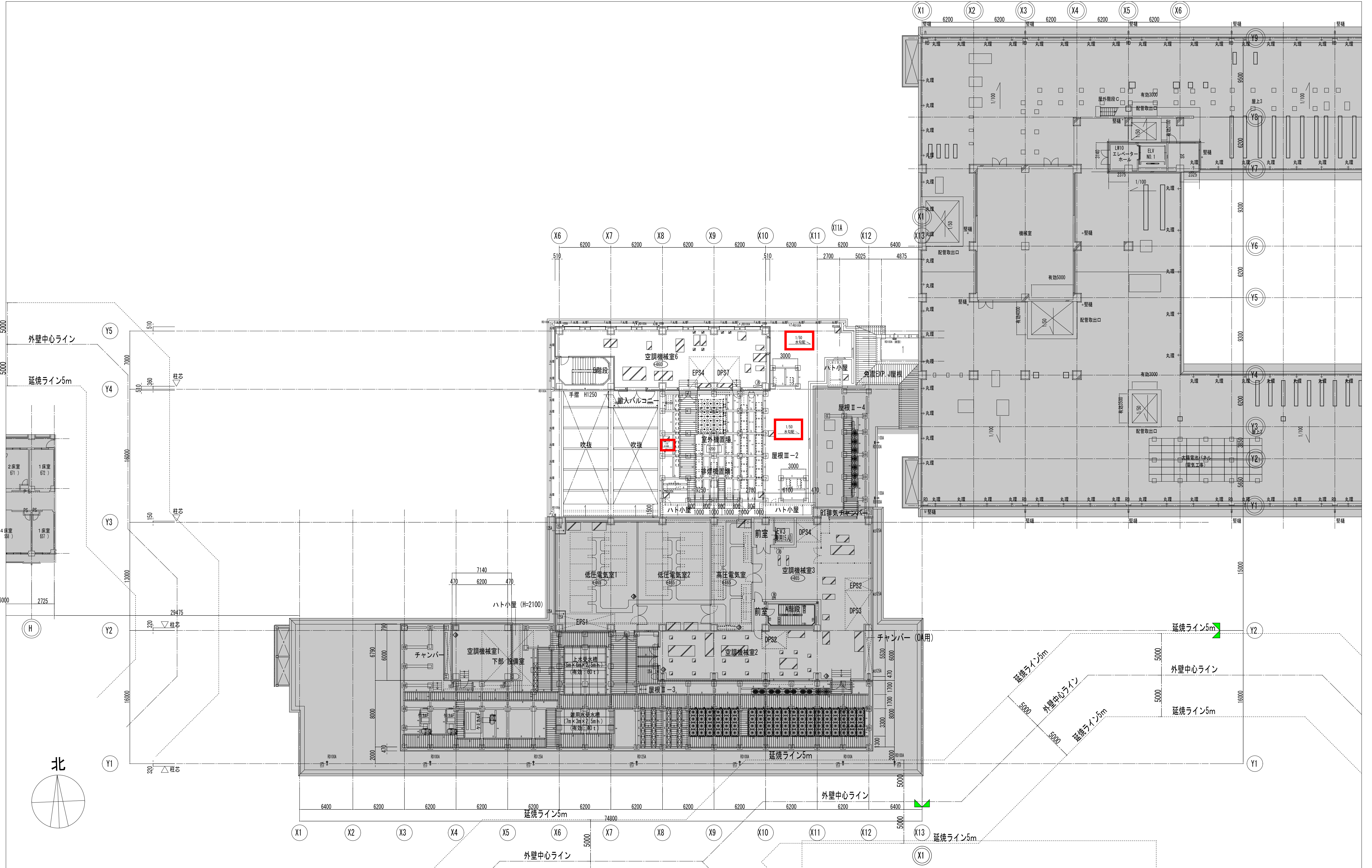
【 凡 例 】		設計者氏名		工 事 名		1925		0124		設計業務名		DATE	
[図記号] : 既存建物を示す		一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一		山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事		株式会社 教育施設研究所		山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務		'20 - 3			
		設計者氏名		山梨大学施設・環境部		ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY : CHKD. BY :		DRAWING TITLE		SCALE		DRAWING NO.	
		一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏				東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号		ビット平面図		A1 : 1 : 200 A2 : - A3 : 1 : 400		D - 16	
		設計者氏名		部長		課長							
		一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武義		補佐		担当							



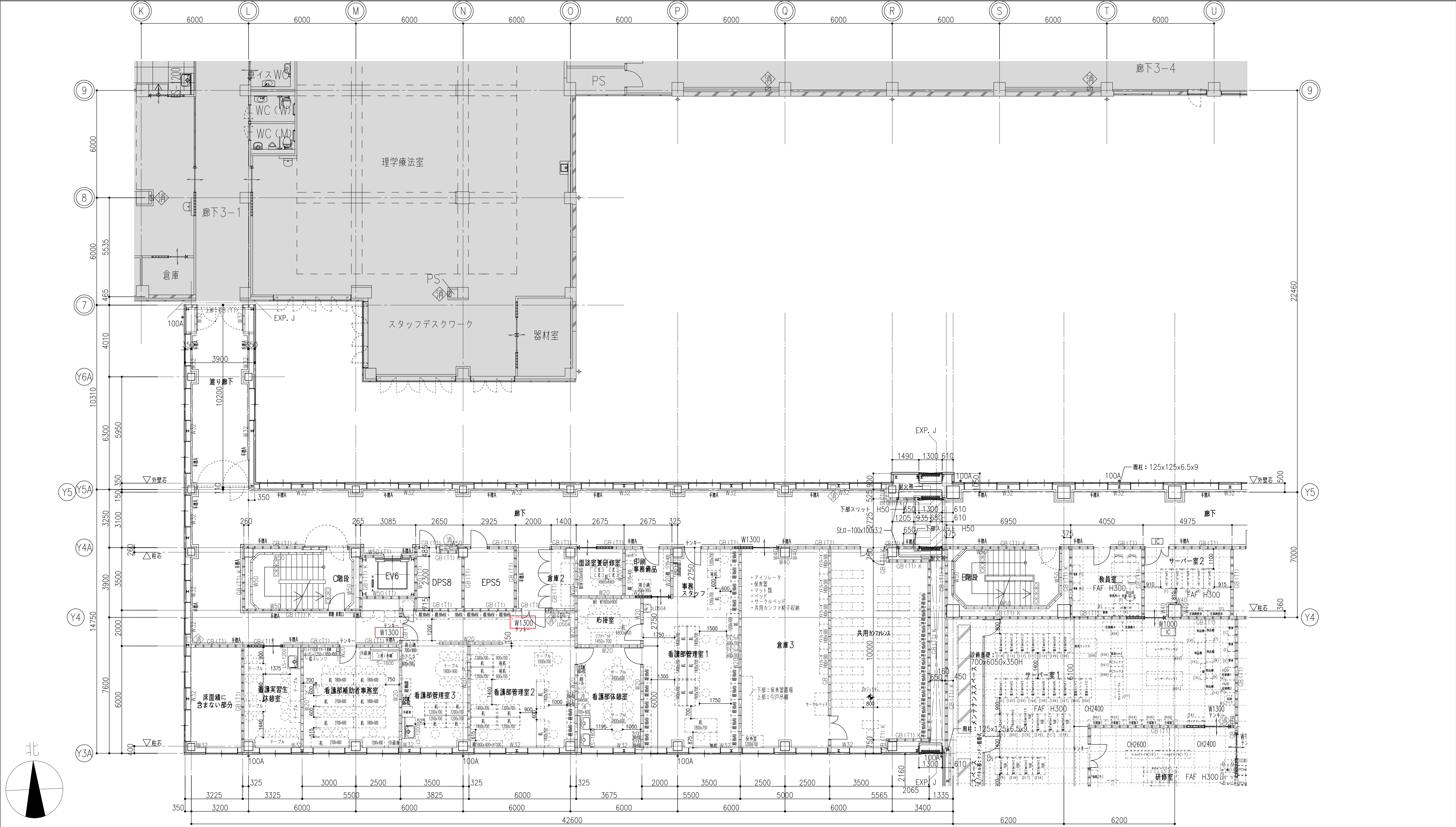
[凡 例]				設計者氏名		工 事 名		設計業務名		DATE	
■ : 既存建物を示す				一級建築士 大田登録 第156415号 飯田 順一		山梨大学（医療）病棟Ⅲ新営その他工事		株式会社 教育施設研究所		山梨大学（医療）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務	
※床面積に含まない部分は、屋内的用途として利用しない。				設計者氏名		山梨大学施設・環境部		ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR BY: CHKD BY:		DRAWN BY: DRAWING TITLE:	
				一級建築士 大田登録 第186527号 連藤 雅敏				東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号		5階平面図	
				設計者氏名		部長 課長 補佐 担当		株式会社 教育施設研究所		SCALE	
				一級建築士 大田登録 第232192号 渡辺 武義				一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号		A1 : 1 : 200 A2 : - A3 : 1 : 400	
										DRAWING NO.	
										D - 21	



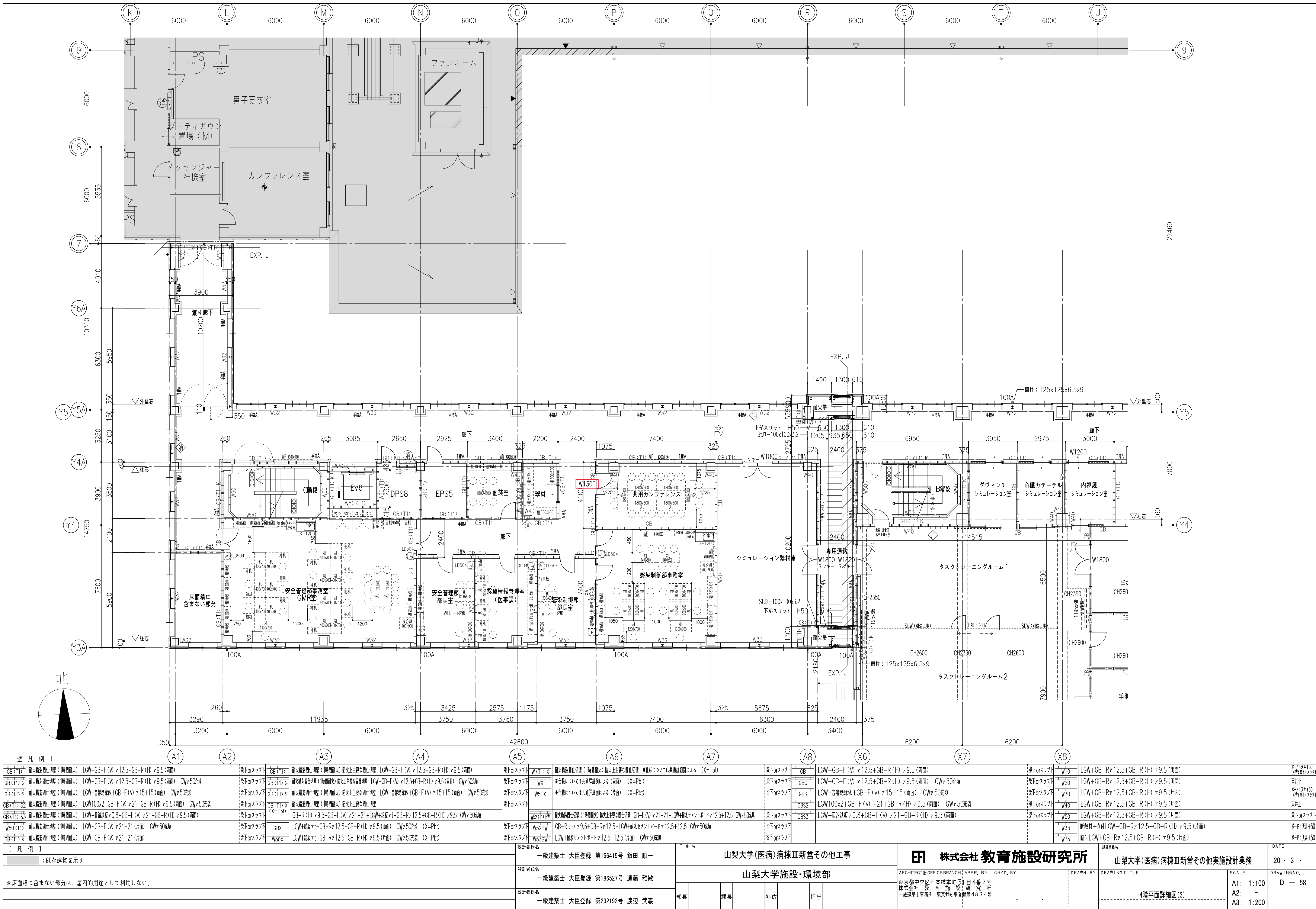
[凡 例]				設計者氏名				工 事 名				設計業種名				DATE			
■ : 既存建物を示す				一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一				山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事				株式会社 教育施設研究所				'20 . 3 .			
※床面積に含まない部分は、屋内の用途として利用しない。				設計者氏名				山梨大学施設・環境部				ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY : CHKD. BY :				山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務			
				一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏				東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号				DRAWN BY : DRAWING TITLE :				SCALE			
				設計者氏名				部長				6階平面図				A1 : 1 : 200 A2 : - A3 : 1 : 400			
				一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武義				課長								D — 22			
								補佐											
								担当											

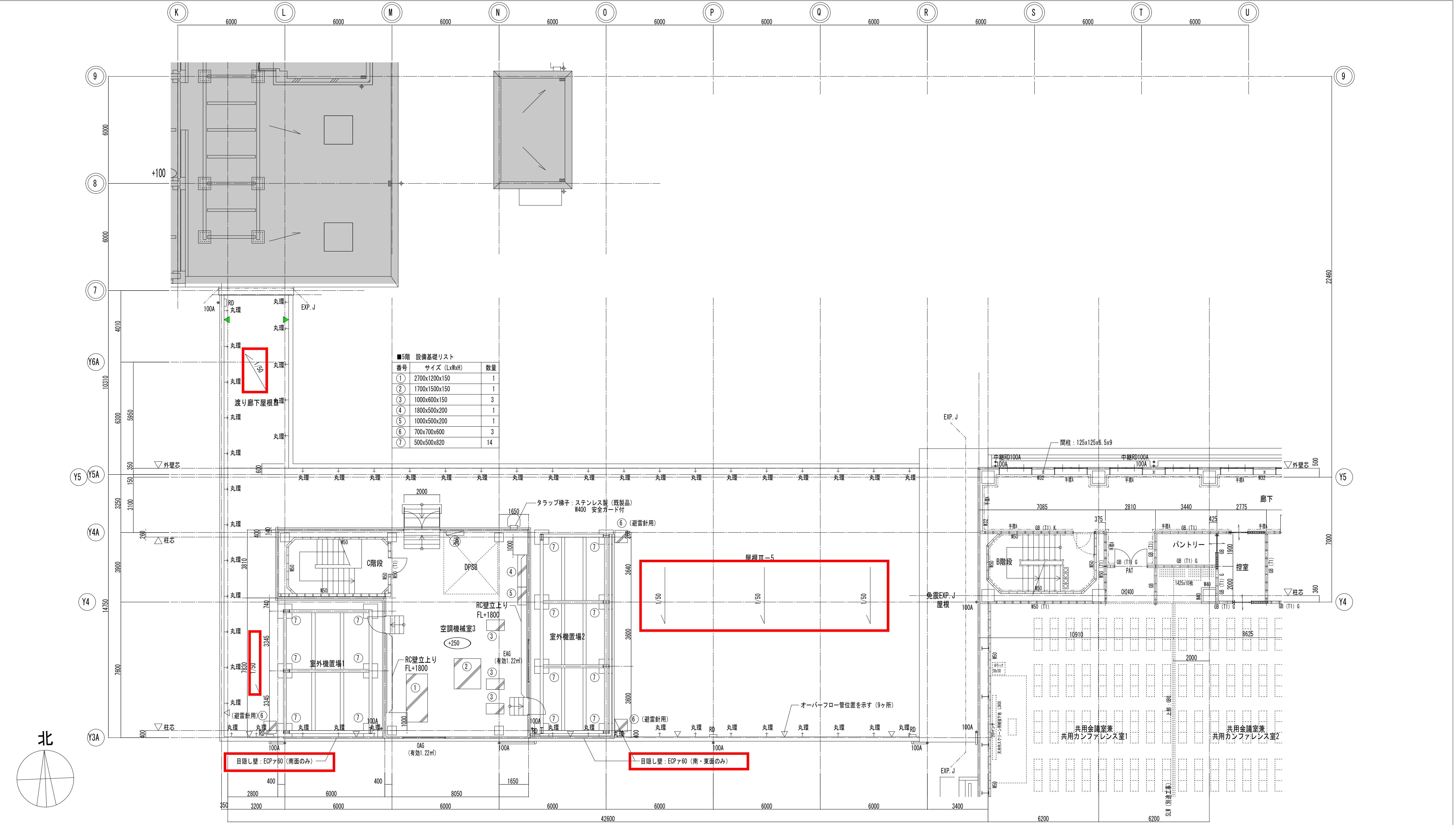


[凡 例]			設計者氏名		工 事 名		設計業務名		DATE	
■ : 既存建物を示す			一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一		山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事		山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務		'20・3	
設備機器鉄骨架台寸法は下記による			設計者氏名		山梨大学施設・環境部		ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR BY: CHKD BY:		DRAWING NO.	
a : H-175x175x7.5x11 (HDZ55) G.PL6.0 2M-16 (F8T)			一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏		部長 課長 補佐 担当		東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号		D - 24	
b : H-200x200x8x12 (HDZ55) G.PL9.0 2M-16 (F8T)			設計者氏名				DRAWING TITLE		SCALE	
c : H-150x150x7x10 (HDZ55) G.PL6.0 2M-16 (F8T)			一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武義				PH階平面図		A1 : 1 : 200 A2 : - A3 : 1 : 400	

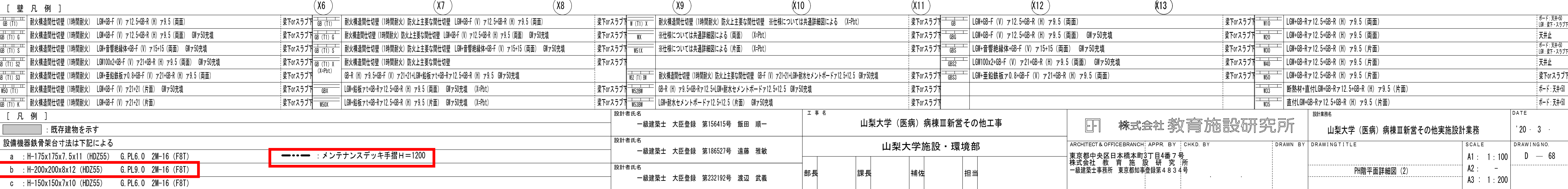


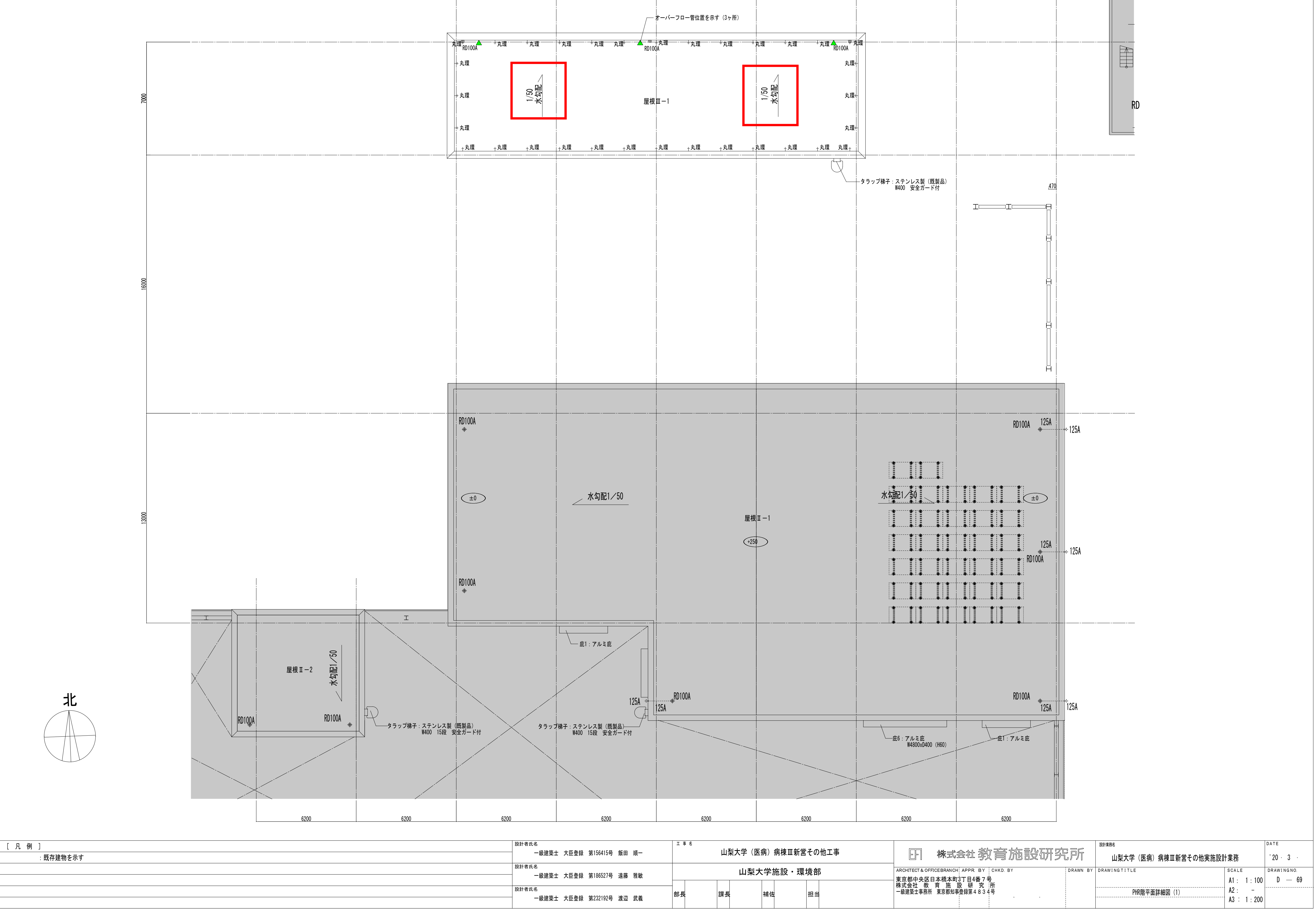
【 壁 凡 例 】		A1		A2		A3		A4		A5		A6		A7		A8		X6		X7		X8									
GB (T1)	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	LGW+GB-F (V) 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	GB (T1)	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	LGW+GB-F (V) 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W10	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	●仕様については共通詳細図による (X=Pb)	梁下orスラブ	GB	LGW+GB-F (V) 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W10	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W10	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W10								
GB (T1) G	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	LGW+GB-F (V) 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	GB (T1) G	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	LGW+GB-F (V) 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	WX	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	●仕様については共通詳細図による (X=Pb)	梁下orスラブ	GB6	LGW+GB-F (V) 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	W20	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W20	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W20								
GB (T1) S	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	LGW+音響断熱材+GB-F (V) 15+15 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	GB (T1) S	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	LGW+音響断熱材+GB-F (V) 15+15 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	WS1X	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	●仕様については共通詳細図による (X=Pb)	梁下orスラブ	GB5	LGW+音響断熱材+GB-F (V) 15+15 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	W30	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W30	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W30								
GB (T1) S2	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	LGW100x2+GB-F (V) 21+GB-R (H) 9.5 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	GB (T1) S2	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	LGW100x2+GB-F (V) 21+GB-R (H) 9.5 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	GB52	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	●仕様については共通詳細図による (X=Pb)	梁下orスラブ	GB52	LGW100x2+GB-F (V) 21+GB-R (H) 9.5 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	W40	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W40	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W40								
GB (T1) S3	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	LGW+音響断熱材 0.8+GB-F (V) 21+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	GB (T1) S3	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	GB-R (H) 9.5+GB-F (V) 21+21+LGW+断熱材+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 GW750充填	梁下orスラブ	W52 (T1) BW	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	GB-F (V) 21+21+LGW+断熱材+GB-R 12.5+12.5 GW750充填	梁下orスラブ	GB53	LGW+音響断熱材 0.8+GB-F (V) 21+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W50	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W50	LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W50								
W50 (T1)	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	LGW+GB-F (V) 21+21 (片面) GW750充填	梁下orスラブ	GBX	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	LGW+鉛板1+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面) GW750充填 (X=Pb)	梁下orスラブ	W52BW	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	GB-R (H) 9.5+GB-R 12.5+LGW+断熱材+GB-R 12.5+12.5 GW750充填	梁下orスラブ	W52BW	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	W33	断熱材+直付LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W33	断熱材+直付LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W33								
GB (T1) K	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	LGW+GB-F (V) 21+21 (片面)	梁下orスラブ	W50X	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	LGW+鉛板1+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面) GW750充填 (X=Pb)	梁下orスラブ	W53GW	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	LGW+断熱材+GB-R 12.5+12.5 (両面) GW750充填	梁下orスラブ	W53GW	耐火構造壁仕切壁 (1時間耐火)	防火上主要な仕切壁仕切	W35	直付LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W35	直付LGW+GB-R 12.5+GB-R (H) 9.5 (両面)	梁下orスラブ	W35								
【 凡 例 】				設計者氏名				設計者氏名				設計者氏名				設計者氏名				設計者氏名				DATE							
■ : 既存建物を示す				一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一				山梨大学(医病)病棟Ⅲ新営その他工事				株式会社 教育施設研究所				山梨大学(医病)病棟Ⅲ新営その他実施設計業務				20・ 3・											
■床面積に含まない部分は、屋内の用途として利用しない。				設計者氏名				一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏				山梨大学施設・環境部				ARCHITECT & OFFICE BRANCH / APPR. BY : CHKD. BY :				DRAWING TITLE				SCALE				DRAWING NO.			
				設計者氏名				一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武義								東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号															
																部長				課長				補佐				担当			





【 壁 凡 例 】									
耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) LGW+GB-F (V) ア12.5+GB-R (H) ア9.5 (両面)	梁下orスラブ	耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) 防火上主要な間仕切り壁 LGW+GB-F (V) ア12.5+GB-R (H) ア9.5 (両面)	梁下orスラブ	耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) 防火上主要な間仕切り壁 ※仕様については共通詳細図による (X-Pbt)	梁下orスラブ	LGW+GB-F (V) ア12.5+GB-R (H) ア9.5 (両面)	梁下orスラブ	LGW+GB-Rア12.5+GB-R (H) ア9.5 (両面)	ボード・天井等
耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) LGW+GB-F (V) ア12.5+GB-R (H) ア9.5 (両面) GWア50充填	梁下orスラブ	耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) 防火上主要な間仕切り壁 LGW+GB-F (V) ア12.5+GB-R (H) ア9.5 (両面) GWア50充填	梁下orスラブ	※仕様については共通詳細図による (両面) (X-Pbt)	梁下orスラブ	LGW+GB-F (V) ア12.5+GB-R (H) ア9.5 (両面) GWア50充填	梁下orスラブ	LGW+GB-Rア12.5+GB-R (H) ア9.5 (両面)	天井止
耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) LGW+音響断縁体+GB-F (V) ア15+15 (両面) GWア50充填	梁下orスラブ	耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) 防火上主要な間仕切り壁 LGW+音響断縁体+GB-F (V) ア15+15 (両面) GWア50充填	梁下orスラブ	※仕様については共通詳細図による (片面) (X-Pbt)	梁下orスラブ	LGW+音響断縁体+GB-F (V) ア15+15 (両面) GWア50充填	梁下orスラブ	LGW+GB-Rア12.5+GB-R (H) ア9.5 (片面)	ボード・天井等
耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) LGW100x2+GB-F (V) ア21+GB-R (H) ア9.5 (両面) GWア50充填	梁下orスラブ	耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) 防火上主要な間仕切り壁	梁下orスラブ	耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) 防火上主要な間仕切り壁 GB-F (V) ア21+L+GB+耐水セメントボードア12.5+12.5 GWア50充填	梁下orスラブ	LGW100x2+GB-F (V) ア21+GB-R (H) ア9.5 (両面) GWア50充填	梁下orスラブ	LGW+GB-Rア12.5+GB-R (H) ア9.5 (片面)	天井止
耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) LGW+垂鉛鉄板ア0.8+GB-F (V) ア21+GB-R (H) ア9.5 (両面)	梁下orスラブ	耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) GB-R (H) ア9.5+GB-F (V) ア21+L+GB+耐水セメントボードア12.5+12.5 GWア50充填	梁下orスラブ	GB-R (H) ア9.5+GB-Rア12.5+L+GB+耐水セメントボードア12.5+12.5 GWア50充填	梁下orスラブ	LGW+垂鉛鉄板ア0.8+GB-F (V) ア21+GB-R (H) ア9.5 (両面)	梁下orスラブ	LGW+GB-Rア12.5+GB-R (H) ア9.5 (片面)	梁下orスラブ
耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) LGW+GB-F (V) ア21+21 (片面) GWア50充填	梁下orスラブ	耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) LGW+鉛板ア+GB-Rア12.5+GB-R (H) ア9.5 (両面) GWア50充填 (X-Pbt)	梁下orスラブ	梁下orスラブ	梁下orスラブ		梁下orスラブ	断熱材+直付LGW+GB-Rア12.5+GB-R (H) ア9.5 (片面)	ボード・天井等
耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) LGW+GB-F (V) ア21+21 (片面)	梁下orスラブ	耐火構造間仕切り壁 (1時間耐火) LGW+鉛板ア+GB-Rア12.5+GB-R (H) ア9.5 (片面) GWア50充填 (X-Pbt)	梁下orスラブ	梁下orスラブ	梁下orスラブ		梁下orスラブ	直付LGW+GB-Rア12.5+GB-R (H) ア9.5 (片面)	ボード・天井等
【 凡 例 】									
：既存建物を示す				設計者氏名		工 事 名		設計業名	
				一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一		山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事		山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務	
				設計者氏名		山梨大学施設・環境部		ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY : CHKD. BY :	
				一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏		部長		DRAWING TITLE	
				設計者氏名		課長		東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号	
				一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武義		補佐		株式会社 教育施設研究所	
						担当		一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号	
								5階平面詳細図 (3)	
								SCALE	
								A1: 1:100	
								A2: -	
								A3: 1:200	
								DRAWING NO.	
								D - 61	
								DATE	
								'20・3	

[illegible]



[凡 例]		設計者氏名		工 事 名		設計業務名		DATE	
: 既存建物を示す		一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一		山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事		山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務		'20 . 3 .	
		設計者氏名		山梨大学施設・環境部		ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY : CHKD. BY		DRAWING NO.	
		一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏				DRAWN BY		SCALE	
		設計者氏名		部長		DRAWING TITLE		A1: 1:100	
		一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武義		課長		PHR階平面詳細図 (1)		A2: -	
				補佐				A3: 1:200	
				担当					

建具仕様書

凡例表

[illegible]

SD 一般 SAT AT 15 SUS304 t=1.5 18 30 15 5 40 DW 6 DW LSD 一般 SAT AT 15 SUS304 t=1.5 18 30 15 5 40 DW 6 DW PAT 一般 SAT AT 15 SUS304 t=1.5 18 30 15 5 40 DW 6 DW	1. ガラリに取付くダクト接続金物 サッシⅡ 35 25 水切 見込 W 4周シーリング: 5x5 サッシⅡ 25 50 ダクト接続用金物: R=2.3 (加工) FE 4周 SD・LSD・FSD・SSD等共通事項	2. 壁・サッシ取り合い金物 サッシⅡ 断熱 断熱 GB-R刀 9.5裏打 壁枠: S t=1.6 (加工) 補強P=2.3 SOP 10 25 15 RW充填φ 5.0 シーリング: 変成シリコン系 10x5 サッシⅡ 断熱 断熱 GB-R刀 9.5裏打 壁枠: S t=1.6 (加工) 補強P=2.3 SOP 10 25 15 RW充填φ 5.0 シーリング: 変成シリコン系 10x5	3. 額縁 (かぶせ工法 (カバー工法) を除く) サッシⅡ 25 15 見込 シーリング: 変成シリコン系 15x10 水切 シーリング: 変成シリコン系 15x10 水切 見込 W 結露受断熱縁 サッシⅡ 10 25 ボード系下地 h シーリング: 変成シリコン系 15x10 水切 見込 W 結露受断熱縁 サッシⅡ 10 25 RC下地 h シーリング: 変成シリコン系 15x10 水切 見込 W 結露受断熱縁 サッシⅡ 10 25 RC下地 h	4. 窓摺形状 断熱 窓見込 3 4 9 FL 窓摺なし 断熱 窓見込 3 4 15 6 FL 糸面取 ステンレスFB-9X40 SUS304 HL 断熱 窓見込 3 4 15 6 FL ステンレスSUS304 40X20X2.0 HL 断熱 窓見込 3 4 15 6 FL ステンレスSUS304 t=2.0 HL	5. 枠形状 25 15 W 15 25 15 3 40 5 48 4 3 H 25 15 W 15 25 15 3 40 5 48 4
---	---	---	--	---	--

[illegible]

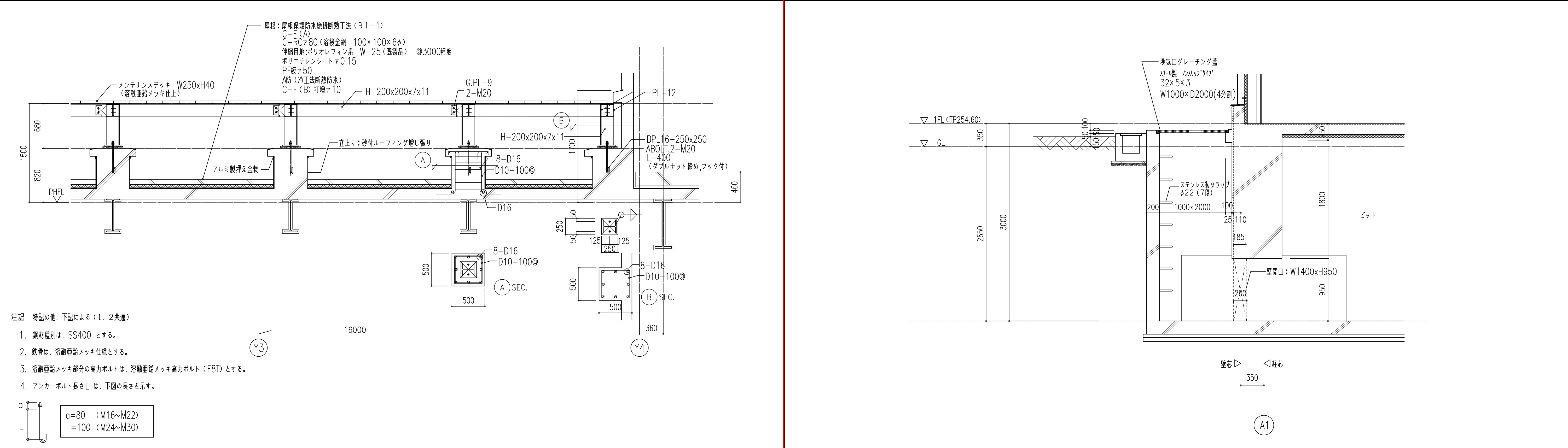
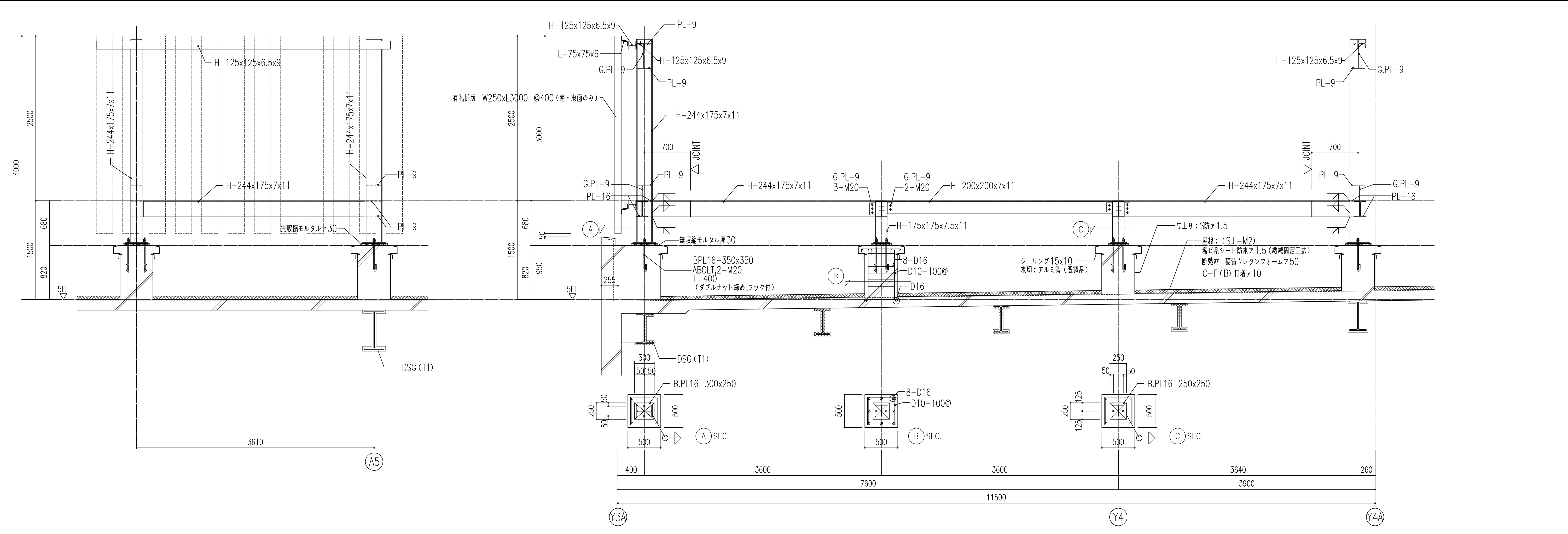
[illegible]

1A SP		2A SP		3A SP		4A SP		5A SP		6A SP		7A SP		8A SP		9A SP		10A SP		11A SP		12A SP		13A SP		14A SP		15A SP		16A SP		17A SP		18A SP		19A SP		20A SP		21A SP		22A SP		23A SP		24A SP		25A SP		26A SP		27A SP		28A SP		29A SP		30A SP		31A SP		32A SP		33A SP		34A SP		35A SP		36A SP		37A SP		38A SP		39A SP		40A SP		41A SP		42A SP		43A SP		44A SP		45A SP		46A SP		47A SP		48A SP		49A SP		50A SP		51A SP		52A SP		53A SP		54A SP		55A SP		56A SP		57A SP		58A SP		59A SP		60A SP		61A SP		62A SP		63A SP		64A SP		65A SP		66A SP		67A SP		68A SP		69A SP		70A SP		71A SP		72A SP		73A SP		74A SP		75A SP		76A SP		77A SP		78A SP		79A SP		80A SP		81A SP		82A SP		83A SP		84A SP		85A SP		86A SP		87A SP		88A SP		89A SP		90A SP		91A SP		92A SP		93A SP		94A SP		95A SP		96A SP		97A SP		98A SP		99A SP		100A SP		101A SP		102A SP		103A SP		104A SP		105A SP		106A SP		107A SP		108A SP		109A SP		110A SP		111A SP		112A SP		113A SP		114A SP		115A SP		116A SP		117A SP		118A SP		119A SP		120A SP		121A SP		122A SP		123A SP		124A SP		125A SP		126A SP		127A SP		128A SP		129A SP		130A SP		131A SP		132A SP		133A SP		134A SP		135A SP		136A SP		137A SP		138A SP		139A SP		140A SP		141A SP		142A SP		143A SP		144A SP		145A SP		146A SP		147A SP		148A SP		149A SP		150A SP		151A SP		152A SP		153A SP		154A SP		155A SP		156A SP		157A SP		158A SP		159A SP		160A SP		161A SP		162A SP		163A SP		164A SP		165A SP		166A SP		167A SP		168A SP		169A SP		170A SP		171A SP		172A SP		173A SP		174A SP		175A SP		176A SP		177A SP		178A SP		179A SP		180A SP		181A SP		182A SP		183A SP		184A SP		185A SP		186A SP		187A SP		188A SP		189A SP		190A SP		191A SP		192A SP		193A SP		194A SP		195A SP		196A SP		197A SP		198A SP		199A SP		200A SP		201A SP		202A SP		203A SP		204A SP		205A SP		206A SP		207A SP		208A SP		209A SP		210A SP		211A SP		212A SP		213A SP		214A SP		215A SP		216A SP		217A SP		218A SP		219A SP		220A SP		221A SP		222A SP		223A SP		224A SP		225A SP		226A SP		227A SP		228A SP		229A SP		230A SP		231A SP		232A SP		233A SP		234A SP		235A SP		236A SP		237A SP		238A SP		239A SP		240A SP		241A SP		242A SP		243A SP		244A SP		245A SP		246A SP		247A SP		248A SP		249A SP		250A SP		251A SP		252A SP		253A SP		254A SP		255A SP		256A SP		257A SP		258A SP		259A SP		260A SP		261A SP		262A SP		263A SP		264A SP		265A SP		266A SP		267A SP		268A SP		269A SP		270A SP		271A SP		272A SP		273A SP		274A SP		275A SP		276A SP		277A SP		278A SP		279A SP		280A SP		281A SP		282A SP		283A SP		284A SP		285A SP		286A SP		287A SP		288A SP		289A SP		290A SP		291A SP		292A SP		293A SP		294A SP		295A SP		296A SP		297A SP		298A SP		299A SP		300A SP		301A SP		302A SP		303A SP		304A SP		305A SP		306A SP		307A SP		308A SP		309A SP		310A SP		311A SP		312A SP		313A SP		314A SP		315A SP		316A SP		317A SP		318A SP		319A SP		320A SP		321A SP		322A SP		323A SP		324A SP		325A SP		326A SP		327A SP		328A SP		329A SP		330A SP		331A SP		332A SP		333A SP		334A SP		335A SP		336A SP		337A SP		338A SP		339A SP		340A SP		341A SP		342A SP		343A SP		344A SP		345A SP		346A SP		347A SP		348A SP		349A SP		350A SP		351A SP		352A SP		353A SP		354A SP		355A SP		356A SP		357A SP		358A SP		359A SP		360A SP		361A SP		362A SP		363A SP		364A SP		365A SP		366A SP		367A SP		368A SP		369A SP		370A SP		371A SP		372A SP		373A SP		374A SP		375A SP		376A SP		377A SP		378A SP		379A SP		380A SP		381A SP		382A SP		383A SP		384A SP		385A SP		386A SP		387A SP		388A SP		389A SP		390A SP		391A SP		392A SP		393A SP		394A SP		395A SP		396A SP		397A SP		398A SP		399A SP		400A SP		401A SP		402A SP		403A SP		404A SP		405A SP		406A SP		407A SP		408A SP		409A SP		410A SP		411A SP		412A SP		413A SP		414A SP		415A SP		416A SP		417A SP		418A SP		419A SP		420A SP		421A SP		422A SP		423A SP		424A SP		425A SP		426A SP		427A SP		428A SP		429A SP		430A SP		431A SP		432A SP		433A SP		434A SP		435A SP		436A SP		437A SP		438A SP		439A SP		440A SP		441A SP		442A SP		443A SP		444A SP		445A SP		446A SP		447A SP		448A SP		449A SP		450A SP		451A SP		452A SP		453A SP		454A SP		455A SP		456A SP		457A SP		458A SP		459A SP		460A SP		461A SP		462A SP		463A SP		464A SP		465A SP		466A SP		467A SP		468A SP		469A SP		470A SP		471A SP		472A SP		473A SP		474A SP		475A SP		476A SP		477A SP		478A SP		479A SP		480A SP		481A SP		482A SP		483A SP		484A SP		485A SP		486A SP		487A SP		488A SP		489A SP		490A SP		491A SP		492A SP		493A SP		494A SP		495A SP		496A SP		497A SP		498A SP		499A SP		500A SP		501A SP		502A SP		503A SP		504A SP		505A SP		506A SP		507A SP		508A SP		509A SP		510A SP		511A SP		512A SP		513A SP		514A SP		515A SP		516A SP		517A SP		518A SP		519A SP		520A SP		521A SP		522A SP		523A SP		524A SP		525A SP		526A SP		527A SP		528A SP		529A SP		530A SP		531A SP		532A SP		533A SP		534A SP		535A SP		536A SP		537A SP		538A SP		539A SP		540A SP		541A SP		542A SP		543A SP		544A SP		545A SP		546A SP		547A SP		548A SP		549A SP		550A SP		551A SP		552A SP		553A SP		554A SP		555A SP		556A SP		557A SP		558A SP		559A SP		560A SP		561A SP		562A SP		563A SP		564A SP		565A SP		566A SP		567A SP		568A SP		569A SP		570A SP		571A SP		572A SP		573A SP		574A SP		575A SP		576A SP		577A SP		578A SP		579A SP		580A SP		581A SP		582A SP		583A SP		584A SP		585A SP		586A SP		587A SP		588A SP		589A SP		590A SP		591A SP		592A SP		593A SP		594A SP		595A SP		596A SP		597A SP		598A SP		599A SP		600A SP		601A SP		602A SP		603A SP		604A SP		605A SP		606A SP		607A SP		608A SP		609A SP		610A SP		611A SP		612A SP		613A SP		614A SP		615A SP		616A SP		617A SP		618A SP		619A SP		620A SP		621A SP		622A SP		623A SP		624A SP		625A SP		626A SP		627A SP		628A SP		629A SP		630A SP		631A SP		632A SP		633A SP		634A SP		635A SP		636A SP		637A SP		638A SP		639A SP		640A SP		641A SP		642A SP		643A SP		644A SP		645A SP		646A SP		647A SP		648A SP		649A SP		650A SP		651A SP		652A SP		653A SP		654A SP		655A SP		656A SP		657A SP		658A SP		659A SP		660A SP		661A SP		662A SP		663A SP		664A SP		665A SP		666A SP		667A SP		668A SP		669A SP		670A SP		671A SP		672A SP		673A SP		674A SP		675A SP		676A SP		677A SP		678A SP		679A SP		680A SP		681A SP		682A SP		683A SP		684A SP		685A SP		686A SP		687A SP		688A SP		689A SP		690A SP		691A SP		692A SP		693A SP		694A SP		695A SP		696A SP		697A SP		698A SP		699A SP		700A SP		701A SP		702A SP		703A SP		704A SP		705A SP		706A SP		707A SP		708A SP		709A SP		710A SP		711A SP		712A SP		713A SP		714A SP		715A SP		716A SP		717A SP		718A SP		719A SP		720A SP		721A SP		722A SP		723A SP		724A SP		725A SP		726A SP		727A SP		728A SP		729A SP		730A SP		731A SP		732A SP		733A SP		734A SP		735A SP		736A SP		737A SP		738A SP		739A SP		740A SP		741A SP		742A SP		743A SP		744A SP		745A SP		746A SP		747A SP		748A SP		749A SP		750A SP		751A SP		752A SP		753A SP		754A SP		755A SP		756A SP		757A SP		758A SP		759A SP		760A SP		761A SP		762A SP		763A SP		764A SP		765A SP		766A SP		767A SP		768A SP		769A SP		770A SP		771A SP		772A SP		773A SP		774A SP		775A SP		776A SP		777A SP		778A SP		779A SP		780A SP		781A SP		782A SP		783A SP		784A SP		785A SP		786A SP		787A SP		788A SP		789A SP		790A SP		791A SP		792A SP		793A SP		794A SP		795A SP		796A SP		797A SP		798A SP		799A SP		800A SP		801A SP		802A SP		803A SP		804A SP		805A SP		806A SP		807A SP		808A SP		809A SP		810A SP		811A SP		812A SP		813A SP		814A SP		815A SP		816A SP		817A SP		818A SP		819A SP		820A SP		821A SP		822A SP		823A SP		824A SP		825A SP		826A SP		827A SP		828A SP		829A SP		830A SP		831A SP		832A SP		833	
----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	-----------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	------------	--	-----	--

[illegible]

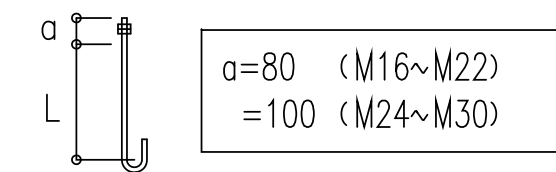
[illegible]

[illegible]



注記 特記の他、下記による (1、2共通)

1. 鋼材種別は、SS400 とする。
2. 鉄骨は、溶融亜鉛メッキ仕様とする。
3. 溶融亜鉛メッキ部分の高力ボルトは、溶融亜鉛メッキ高力ボルト (F8T) とする。
4. アンカーボルト長さL は、下図の長さを示す。



設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一		工事名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事		設計業務名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務		DATE '20・3・	
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏		山梨大学施設・環境部		ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY CHKD. BY DRAWN BY DRAWING TITLE 株式会社 教育施設研究所 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号		SCALE A1: 図示 A2: - A3: 図示/2	
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第232192号 渡辺 武哉		部長 課長 補佐 担当		共通詳細図 (17)		DRAWING NO. D - 115	

構造設計仕様

本文の他、特記仕様書、

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

公共建築工事標準仕様書（平成31年版）による。

1. 建物概要

(1) 工事場所

山梨県中央市下河東1110

(2) 規模及び構造種別

棟名	構造規模別	地上地下	塔屋	軒高	最高高さ	建築面積	延べ面積	
① 病棟Ⅱ・Ⅲ	S	1階	7階	1階	33.20 m	33.75 m	2,916.06 m ²	18,738.09 m ²
					m	m	m ²	m ²
					m	m	m ²	m ²
							m ²	m ²
							m ²	m ²

※（ ）内は、構造計算上の高さを示す。（計算GL 以上の高さ）

構造種別鉄筋コンクリート造(RC)壁式鉄筋コンクリート造(RC)鉄骨鉄筋コンクリート造(RC)プレストレストコンクリート造鉄骨造(S)

2. 構造設計条件

(1) 施設の耐震安全性

構造体〇Ⅰ類（Ⅰ=1.5）Ⅱ類（Ⅰ=1.25）Ⅲ類（Ⅰ=1.0）相当（免震構造）

(2) 構造計算の種類（設計ルート）

棟名	構造計算書に係る構造計算の種類
①	法20条第1項第三号ロの規定に基づく大臣認定（免震構造） 令第81条第2項第1号イに規定する構造計算（ルート3）

(3) 地震荷重

標準せん断力係数α = 0.15
地震地域係数 Z = 1.0

(4) 風荷重

基準風速 V0 = 30 m / s
地表面粗度区分・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

(5) 積雪荷重

積雪量 50 cm 単位重量 20 N / m² / cm

(6) 土圧及び水圧

土の単位体積重量 18 kN / m³
地表面の上載荷重 5 kN / m²
設計水位 GL - 2.0 m付近

(7) 設備機器等追加荷重

棟名	階	機器名		階	機器名	
①	RF	設備機器				

(8) 増築計画

〇有・無
PHFLに機械室を増築PHFLの吹抜け部に屋根を増築

3. 地盤状況

(1) 地盤調査書

〇有（〇敷地内・近隣）
・無（調査予定・有・無）

(2) 地盤調査内容

〇ボーリング調査〇現場透水試験
〇標準貫入試験・平板載荷試験〇PS検層
・静的貫入試験〇孔内横方向載荷試験〇常時微動測定
〇力学試験〇物理試験・鋼杭の腐食性試験

(3) ボーリング調査位置図、土質柱状図

別図参照

4. 地業工事

(1) 直接基礎

長期設計地耐力 q a = 400 kN / m²
現場載荷試験：有〇無（ヶ所）
（最大載荷荷重度 kN / m²
深さ GL - m

(2) 地盤改良

：浅層混合処理工法認定工法とする（工事監理者（監督職員）の承諾を得る事）

(3) 既製杭工法

・プレボーリング拡大根固め工法
国土交通大臣認定
・中掘拡大根固め工法認定工法）
国土交通大臣認定
杭種別 下記に使用杭を示す（全て評定取得品を使用する）
・PHC杭（・A種・B種・C種）
・PHC-ST杭（・A種・B種・C種）
・CPRC杭（・Ⅰ種・Ⅱ種・Ⅲ種・Ⅳ種・Ⅴ種）
・SC杭（鋼管厚 t = mm）
・節付きPHC杭（・A種・B種・C種）
・鋼管杭（鋼管厚 t = mm）

杭径 (mm)	杭長 (m)	長期設計耐力 (kN / 本)	備考

〔注〕1. 杭長及び杭先端位置は、地盤状況、試験杭等により変更することがある。
2. 杭打ち試験は原則として行い、図示又は工事監理者（監督職員）の指示に従う。

(4) 地業の敷厚

部 位	捨コンクリート	砕 石	備考
基 礎	50	60	
基 礎 梁	50	60	
土間コンクリート		60	内部 〇防湿シート敷き
土間コンクリート		100	外部
土間スラブ	50	60	構造スラブ 〇防湿シート敷き
耐 圧 版	50	60	
ビット下	50	60	

5. コンクリート工事

棟（場所）	使用区分	設計基準強度 Fc（N / mm ² ） 〔耐久設計基準強度 Fcd（N / mm ² ） （品質基準強度 Fg）（N / mm ² ）	スラン	種 別	備 考
①	基礎（マツスラブ）	〇 30 [24] (30)	15 cm	高炉セ	マスコンクリート
	擁壁	〇 30 [24] (30)	15 cm	高炉セ	
	1FL以下	〇 30 [24] (30)	18 cm	普通	
	1FL以上床壁等	〇 24 [24] (24)	18 cm	普通	
	CFT充填コン	〇 50 [24] (50)	7 cm	普通	圧入工法
		・ []	cm		
	躯体（基礎部）	・ []	cm		
	躯体（軸 部）	・ []	cm		
共通	土間コンクリート	・ 16 〇 18	15 cm	普通	
共通	捨コンクリート	・ 16 〇 18	15 cm	普通	
共通	雑用コンクリート	・ 16 〇 18	15 cm	普通	

1. コンクリートは、JIS表示認定工場の製品とする。

2. 特記の他、種別の普通は普通コンクリートを示し。普通ポルトランドセメントとする。

3. 普通ポルトランドセメントの使用を早強ポルトランドセメントとする場合は工事監理者（監督職員）の承諾を得る事。

4. 基礎部は、高炉セメントB種の使用を普通ポルトランドセメントとする場合は工事監理者（監督職員）の承諾を得る事。

5. 軽量の表示は、軽量コンクリート使用を示す。

6. マスコンクリート 高炉セメントB種 中庸熱、低熱コンクリートとする場合は、工事監理者（監督職員）の承諾を得ること。

7. 雑用コンクリート 防水押えコンクリート及び、機械室等の配管埋設用コンクリートを示す。

8. 混和材料 ・コンクリート膨張材（JIS A 6202）
・コンクリート躯体防水混和材〔ベストA同等品〕
〇高性能AE減水剤（JIS A 6204） 呼び強度 30(N/mm)を超える場合に使用する。
・流動化剤（JASS5 T-402）

9. CFT充填コンクリート工事は、JASS5の鋼管充填コンクリート工事に準拠する。

10. CFT充填コンクリート（認定コンクリート）は、表記の設計基準強度以上とし、強度・70-値等は各認定に従う。

6. 鉄筋工事

材 質	鉄 筋 径
SD295A	〇D10 〇D13 〇D16
SD345	・D10 ・D13 ・D16 〇D19 〇D22 〇D25 ・D29 ・D32
SD390	・D10 ・D13 ・D16 ・D19 ・D22 〇D25 〇D29 〇D32

〇スパイラル筋又は溶接閉鎖形筋（・SD295A ・D10 〇D13 ・D16）
※ 仕口部分を除く（・SD345 ・D10 ・D13 ・D16）
・高強度せん断補強筋（スパイラル筋又は溶接閉鎖形筋）※ △ は、同等品以上として使用可能とする。
（・KSS785 ・S6 ・S8 ・S10 ・S13 ・S16）BCJ-C1289(変5)、BCJ-C2190(変5)、BCJ-C1291(変5)
（・UD785 ・UD10 ・UD13 ・UD16）BCJ-基評RC0161-03
（・リバーボーン785 ・K6 ・K10 ・K13 ・K16）BCJ-C2027(変1)
（・リバーボーン785 ・K6 ・K10 ・K13 ・K16）BCJ評定-RC0444-02
（・UHYフープ ・UH6 ・UH10 ・UH13 ・UH16）BCJ-C1372(変3)
（・MK785 ・MD10 ・MD13 ・MD16）BCJ評定-RC0419-02
（・パワーリング785 ・T10 ・T13 ・T16）BCJ-RC0395-03
（・パワーリング785 ・T10 ・T13 ・T16）BCJ-RC0395-03
（・ハイデック885 ・T10 ・T13 ・T16）BCJ-RC2126 (選1)
（・リバーボーン1275 ・RB6.2 ・RB7.1 ・RB9 ・RB11 ・RB13）BCJ-C1343 (選3)
（・ウルボン ・U6.4 ・U7.1 ・U9 ・U10.7 ・U13）BCJ-RC0220-04

〇溶接金網(JIS G3551)

〇防水押えコンクリート等 ・壁

・異径鉄筋格子SD295A)：・スラブ ・壁

〇梁貫通孔補強

〇既製品（日本建築センター評定取得品）一般鉄筋補強（既製品は、施工性の下記配、高強度鉄筋使用タイプとする）

スーパーハリー-Z（BCJ評定-RC0224-05）
ダイヤレンNS（BCJ評定-RC0124-05）
リバーレン（BCJ評定-RC0254-03）

構造性能が同等以上のものとし、工事監理者（監督職員）の承諾を得ること。

・鉄筋組込デッキ

右記1メーカを使用
ニューフェローデッキ（BCJ-RC0108-11）
鉄筋トラス付きデッキフェロープロト・エゴI（型・型）（BCJ-RC0218-06）

7. 鉄骨工事

(1) 構造用鋼材

種 別	材 質
〇棒鋼	〇SS400 ・ ・ ・ ・ ・
〇平鋼	〇SS400 〇SM400A ・ SM400B ・ SM490B ・ ・
〇形鋼（H形）	〇SS400 〇SM400A 〇SM400B ・ SM490B ・ ・
〇形鋼（その他）	〇SS400 〇SM400A ・ SM400B ・ SM490B ・ ・
〇鋼板（中・厚）	〇SS400 〇SM400A 〇SM400B ・ SM400C 〇SM490B 〇SM490C ・ SM490A
・鋼板（薄）	・SS400 ・ ・ ・ ・ ・
〇軽量形鋼	〇SSC400 ・ ・ ・ ・ ・
・鋼管	・STK400 ・ STK490 ・ STKN400 ・ STKN490 ・
〇角形鋼管	・STKR400 ・ STKR490 〇BCP325 〇BCP325 ・ BCR295

(2) 接合材

名 称	材 質	使用サイズ	備 考
中ボルト	・ 4T ・		
JIS形 高力ボルト	・ F10T ・		
トルシア型 特種高力ボルト	〇S10T ・	M16 , M20 , M22	
トルシア型 超高力ボルト	〇F14T ・	M22	
溶融亜鉛メッキ高力ボルト	〇F8T ・	M16 , M20	溶融亜鉛メッキ
アンカーボルト	〇SS400 〇ABR400 ・ ABR490	M16 M24	
頭付キスタッドボルト	〇JISB1198 ・	16φ	
スタッド用異径鉄筋	〇SD345 相当以上	D13 , D16	
ターンバックル	〇JIS A 5540, 5541	M16	

(3) その他（下記と構造性能が同等以上のものとし、工事監理者（監督職員）の承諾を得ること。）
・合成床版用デッキプレート FP060FL-9101（単純支持合成スラブ）
FP060FL-9095（連続支持合成スラブ）
・屋根用デッキプレート FP030RF-0327, 0413, 0328, 0326
FP030RF-0138

(4) 鉄骨の製作工場
・建築基準法第77条の5 6 第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(社)全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場とし、工事監理者（監督職員）の承諾を得ること。
鉄骨製作所のグレード
〇Hグレード以上

(5) 錆止塗装 F☆☆☆☆品

8. 図面表示

(1) 伏図

a. 伏図の表示は、原則として見下げ図とする。
b. 伏図表示記号

コンクリート		腰 壁	
土間コンクリート		下 り 壁	
コンクリートブロック		耐震リット	
開 口 部		梁のコンクリート打ち増し	

(2) 鉄筋表示記号

記 号	・	×	φ	○	◎	⊗	⊙	×	⊗	
異径鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38

9. そ の 他

(1) 打放しコンクリート仕上げ等による打増し厚さ

構造躯体寸法に下記の打増し厚さ (mm) を加算するものとする。

外部に面する柱・梁・壁	10以上かつ意匠図による
外部に面するスラブ下端	意匠図による
コンクリート金ごて仕上げの梁スラブの上端	15
土に接する柱	10以上
内部に面する梁の側面（両側の合計）	10以上かつ意匠図による
内部に面する柱・壁	5以上かつ意匠図による

(2) 設備関係（配筋標準図 NO. 6, 14参照）

1) 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合、管径はスラブ厚さの1/4 以下とし、管の間隔は原則として配管相互の中心間隔は70mm 以上とする。
配管本数が多い場合は工事監理者（監督職員）の承諾を得ること。

2) 柱、耐震壁内のコンセットボックス、スイッチボックス等の埋設は原則として行わない。止むを得ず埋設する場合は躯体打増しまたは乾式工法の仕上げとする。

3) 柱・梁・耐震壁・外壁・地下壁には、原則として配管等の埋設は行わない。

4) 設備機器の架台及び基礎については工事監理者（監督職員）の承諾を得ること。

山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事

株式会社教育施設研究所

山梨大学施設・環境部

ARCHITECT & OFFICE BRANCH | APPR. BY : CHKD. BY :
東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号
株式会社 教 育 施 設 研 究 所
一級建築士事務所 東京都知事登録第4 8 3 4号

DRAWN BY :
DRAWING TITLE
構造設計仕様
[免震棟]

SCALE
A1 : 1: 200
A2 : -
A3 : 1: 400

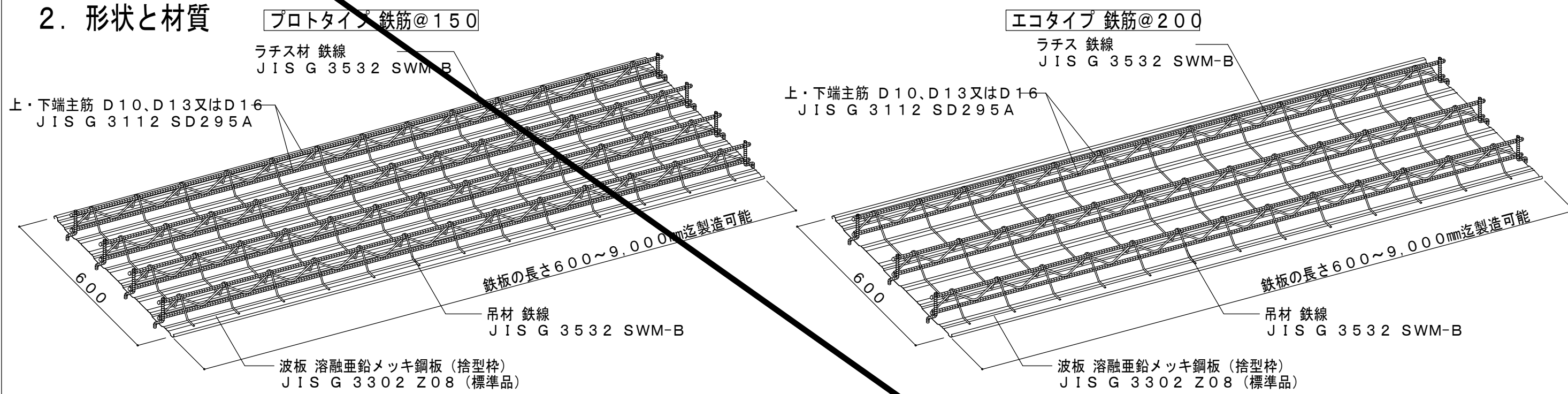
DRAWING NO.
SM - 1

鉄筋組込デッキスラブ 設計標準仕様書

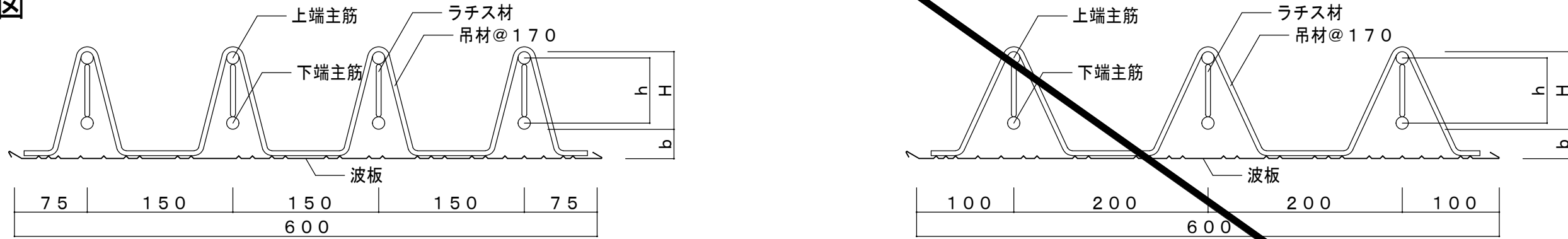
1. 工法の概要

本構造は、上端主筋と下端主筋の両者をつなぐラチス材および吊材、波板で構成する鉄筋組込みデッキに、必要な現場施工部材を設置しコンクリートを打設することにより、コンクリート硬化後、鉄筋組込みデッキの上端主筋および下端主筋とコンクリートが一体となるスラブである。
(日本建築センター評定取得・BCJ評定-RC0108)

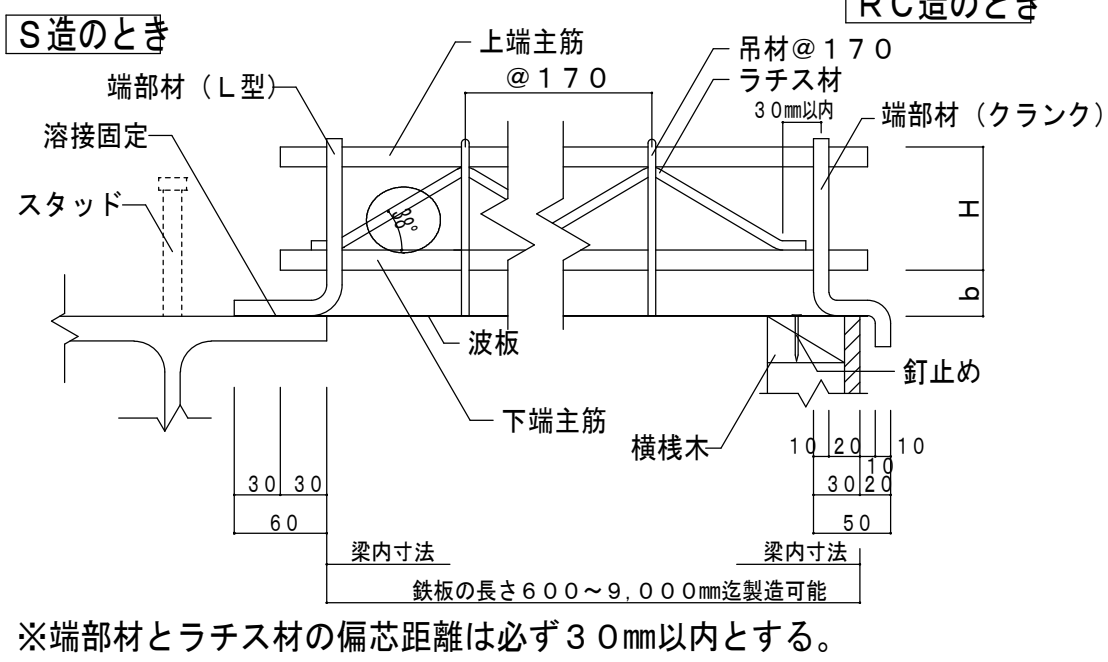
2. 形状と材質



3. 断面図



4. 標準納まり図

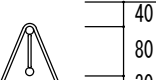
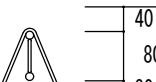
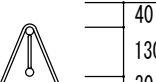


5. 施工手順及び留意事項

- 搬入・荷揚げ・仮置
・搬入は、当該現場の工区、工程に応じて作成された荷姿図および合番図と、積荷を照合し、施工計画に従って行う。
・荷揚げは、現場クレーンに応じ、専用の治具等を用いて4点吊りにて行うものとする。専用の治具には、トラックから地面に荷下ろしするものと、躯体(上部)に荷揚げするものがある。その際波板、吊材等鉄筋組込みデッキの部材を変形、破損させないよう注意する。
・仮置きする場合は、端部材のかかり代を確認するとともに、風養生を十分にを行い、鉄筋組込みデッキ梱包および副資材の落下を防止する。
- 敷込み・加工・固定
・敷込みは、割付け計画に従ってあらかじめ量出しを行い、所定の位置に不陸を生じないように注意して敷込む。
・梁へのかかり代は、S造の場合は端部材先端から30mm程度とする。また、RC造・SRC造・PCa造の躯体への波板のみ込みは、5mm程度とする。
・加工は、柱廻りやS造の梁継手部分の切り欠き加工を行い、端部材を切断した場合には、所定の位置に新たに端部材をアーク溶接にて取付け直す。

- 固定は、S造の梁には端部材をアークスポット溶接にて固定し、RC造・SRC造の躯体には、桟木へ所定の釘を使用し固定する。
PCa造の場合は、PCa梁のあばら筋に掛けつつなぎ筋をニューフェローデッキの端部材に溶接にて固定する。
固定位置は、S造、RC造、SRC造、PCa造の幅方向については1枚(600mm幅)に対し片側1ヶ所以上とする。
- 梁鉄筋の施工(鉄筋工事)
(4) 梁上の上端連結(定着)筋の施工(鉄筋工事)
・継手長さはL1、定着長さはL2とする。
- (5) 上端配力筋の施工(鉄筋工事)
・継手長さはL1、定着長さはL2とする。
- (6) 留意事項
※トラス筋は施工時の支保工の役目を持つ構造材である為、部材の切断はしないこと。
設備・配管工事の為、コン打以前に切断の必要がある場合は事前に対応策を設けること。
※開口部は、大きさにより定められた補強筋を配筋すること。
※仮設時有効スパンを超える場合は、必ず適切な位置に仮設サポートを設けること。

鉄筋組込みデッキ使用部分スラブリスト

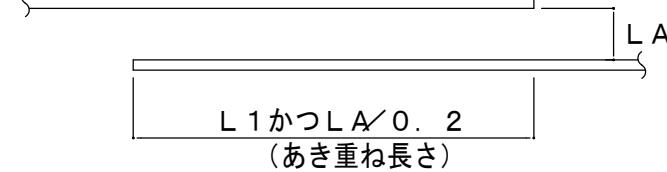
符号	デッキ タイプ	スラブ厚	位置	短 辺 方 向				長 辺 方 向				備 考
		デッキ主筋		現 場 配 筋								
				連結筋	追加補強主筋		端 部 $L_x/4+15d$	中央部 $15d+L_x/2+15d$	端 部 $L_x/4+15d$	中央部 $15d+(L_y-L_x/2)+15d$		
増打ち厚	上端筋	D13@200	D13@200		-----	-----					D10@200	D10@200
DS1	EB80-110	150 ※15	上端筋 下端筋	D13@200 D13@200	D13@200	----- -----	----- -----	D10@200 D10@200	D10@200 D10@200	 150 $L_x \leq 3.15m$		
DS2	B80-110	150	上端筋	D13@150	D13@150	-----	-----	D10@150	D10@150	 150 $L_x \leq 3.60m$		
DS3		※15	下端筋	D13@150	-----	-----	-----	-----	-----			
DS20	EB130-160	200 ※15	上端筋 下端筋	D13@200 D13@200	D13@200	----- -----	----- -----	D10@150 D10@150	D10@150 D10@150	 200 $L_x \leq 3.05m$		

※増打ちちは、一般に15mm(仕上により10mm等有り)
鉄筋組込みデッキの連結筋・定着筋の定着及び重ね継手長さ

鉄筋種類	コンクリートの設計基準強度	重ね継手長さ L1	定着長さ L2
SD295A	18	45d直線又は30dフック付き	40d直線又は30dフック付き
	21~27	40d直線又は30dフック付き	35d直線又は25dフック付き
	30~45	35d直線又は25dフック付き	30d直線又は20dフック付き
	48~60	30d直線又は20dフック付き	25d直線又は15dフック付き

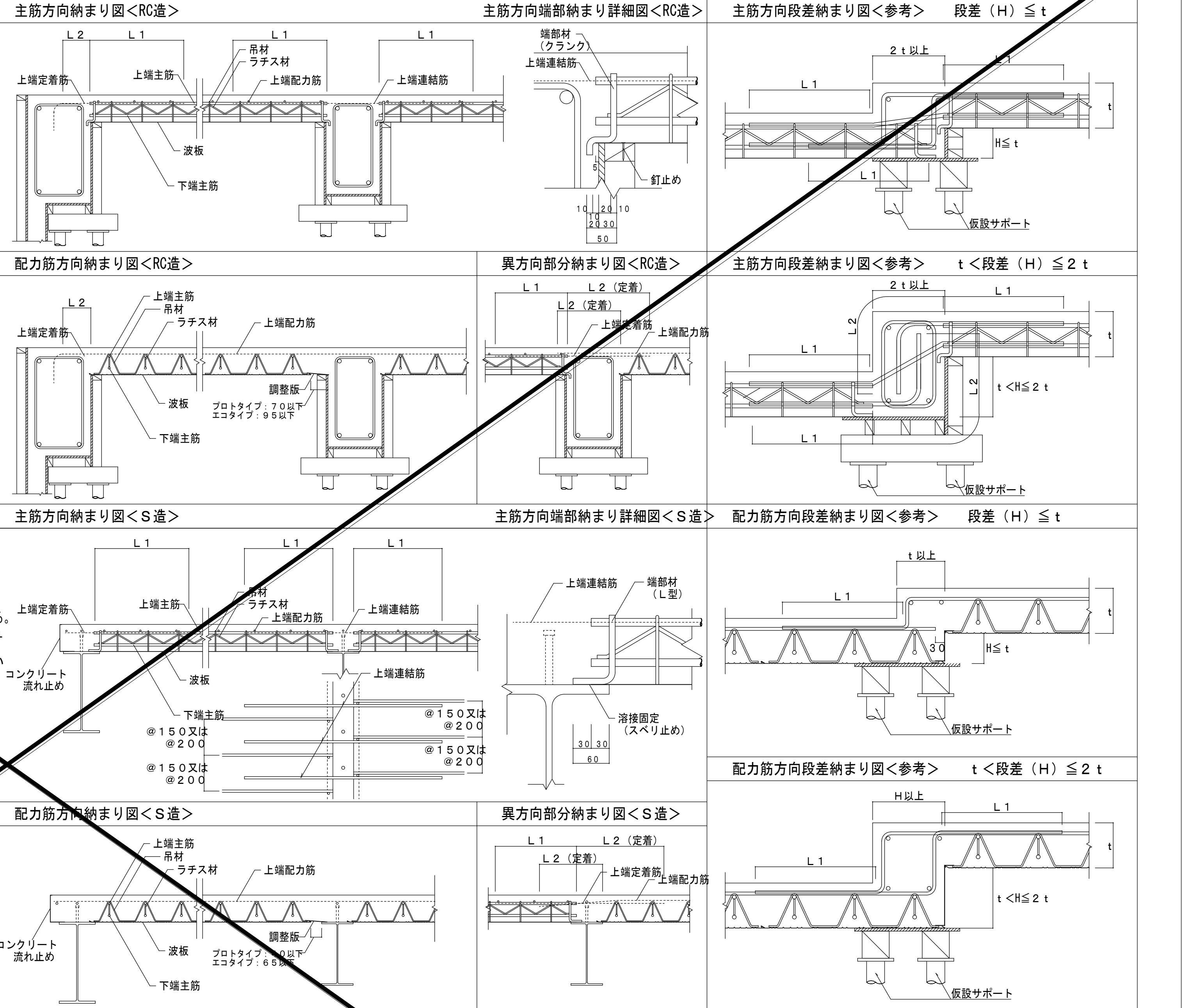
※ただし、軽量コンクリートの場合は表の長さ+5dとする。
※(注)本表は、「建築工事標準仕様書 JAS S 5 鉄筋コンクリート工事(2003年版)」に準拠したものであり本物件の設計図書(構造標準図・仕様書等)が上表と異なる場合は本物件の仕様を優先する。

あき重ね継ぎ手



※あき重ね継ぎ手長さは、最低450mm以上とする。

標準納まり図



鉄筋組込みデッキ開口補強要領

補強を行わない開口	連続する開口の補強	大開口の補強
開口幅・スリープが小さく、主筋・配力筋共に鉄筋の切断が無くかぶりを確保出来る場合は補強しない。 但し、吊り材は溶接部を含め、切断しないこと。 吊り材・鉄筋を切断する場合は支保工を設置するなど、仮設計画を確実にを行い、開口の形状に応じた補強を行うこと。	主筋側補強筋 切断する鉄筋と同径・同量 上端補助筋 1-D10 配力筋側補強筋 切断する鉄筋と同径・同量 150以下	開口幅・開口長さとも600を超える場合は、開口の位置・大きさにより各辺からの片持ちスラブ・3辺固定スラブとするなど、実状に応じた設計を行う。 但し、弱辺方向下端に配筋する場合は、施工時の作業性や開口部周辺のトラスの損傷防止を考慮して、D13以下の径の鉄筋を使用すること。
開口 開口 トラス筋	開口 開口 トラス筋	開口部の施工 鉄筋組込みデッキは仮設時にも構造材として機能している。従って、トラスの切断は開口の大きさに関わらず、開口部を箱抜き、コンクリートの硬化後に行う。止むを得ずコンクリートの硬化前に切断する場合は、開口周辺を支保工等により補強し、切断及びコンクリートの打設を行うこととする。
一般的な開口補強(開口幅≤600) 主筋側補強筋 切断する鉄筋と同径・同量 上端補助筋 1-D10 配力筋側補強筋 切断する鉄筋と同径・同量 L1(補助筋) 開口幅(補助筋)	(補強筋のかぶりを確保出来ない場合) 開口を包絡した大きさによって、600以下の開口に準じて補強を行う。 主筋側補強筋 切断する鉄筋と同径・同量 上端補助筋 1-D10 配力筋側補強筋 切断する鉄筋と同径・同量 L1(補助筋) 600以下(補助筋)	

※ スラブ符号 S1 については、本図の鉄筋組込デッキを採用しても良い。その際、スラブ符号の S を DS に読み替えて適用する。

ただし、セッ工直上スラブおよび水槽部分には使用しない。また、開口の多い設備シャフトなどでは使用を控える。

※ 上表と同等以上の鉄筋組込デッキ(BCJ評定-RC0218-04、RC0195-02)への変更は可能とする。

但し鉄筋量は同等以上とし設計者の承諾を得る事。

設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一

設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏

設計者氏名
一級建築士 大臣登録 第315246号
構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木 博之

工事名
山梨大学(医療)病棟Ⅲ新営その他工事

山梨大学施設・環境部

部長 課長 補佐 担当

株式会社教育施設研究所

ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: DRAWN BY: DRAWING TITLE: 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号

設計業務名
山梨大学(医療)病棟Ⅲ新営その他実施設計業務

山梨大学(医療)病棟Ⅲ新営その他実施設計業務

鉄筋組込デッキスラブリスト No.1 [免震棟]

DATE

'20. 3 .

SCALE

A1: - A2: - A3: -

DRAWING NO.

CM - 56

鉄筋組込デッキスラブ 設計標準仕様書

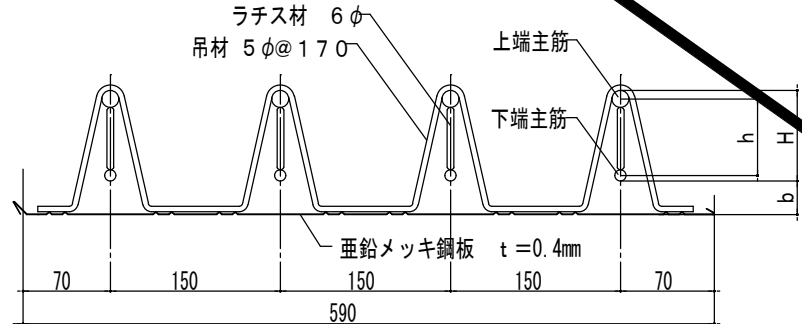
(財)日本建築センター評定取得
(BCJ評定-RC0218-04)

標準納まり図 < S 造 > (1方向)

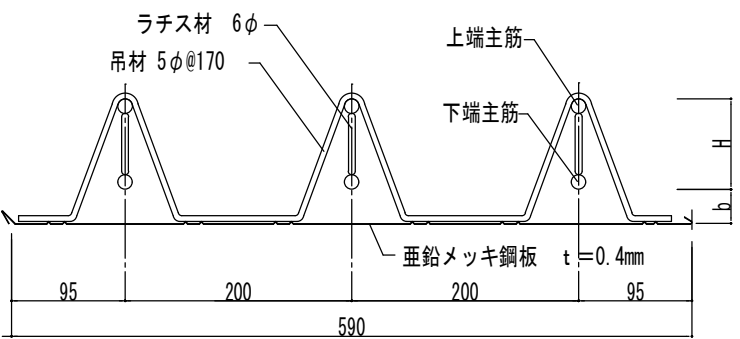
1. 工法の概要

工場で捨型枠と床用鉄筋(主筋方向のみ)を一体化して生産された床構成材を現場にて梁間に敷きならべる。その後、主筋連結筋及び配力筋を配置し、現場打ちコンクリートを打設して床版を構築する工法である。

2. 断面図

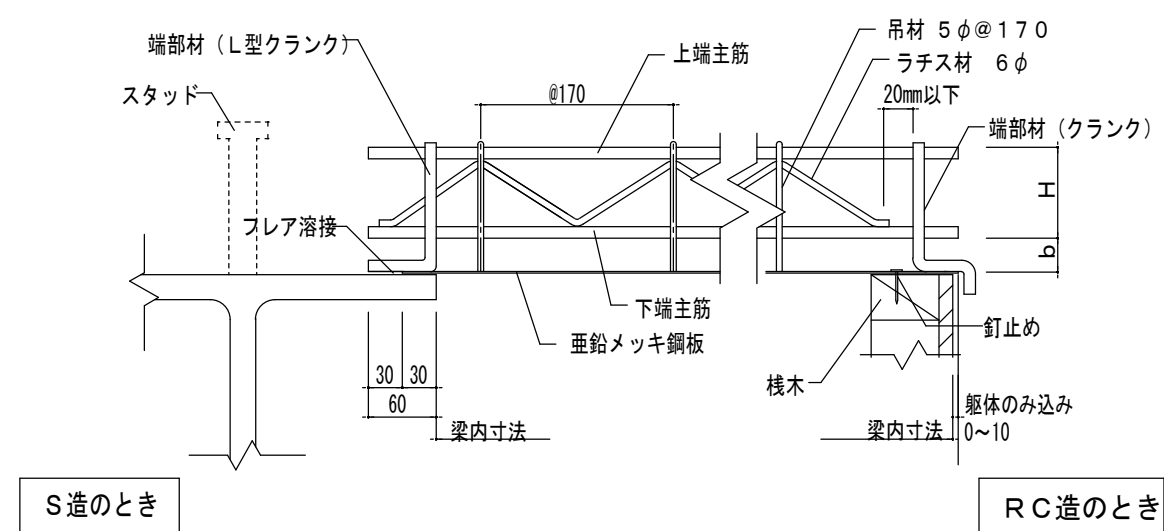


フェローブロット (I 型) デッキ 形状



フェローエコ (II 型) デッキ 形状

3. 標準納まり図



※端部材とラチス材の幅芯距離が20mmを超える場合は端部の補強を行う。

4. 種類

	上 端 筋	下 端 筋	ラチス筋	吊り材
Aタイプ	D10	D10	6φ	5φ
Bタイプ	D13	D13	6φ	5φ
Cタイプ	D13	D10	6φ	5φ
Dタイプ	D16	D13	6φ	5φ
Eタイプ	D16	D16	6φ	5φ
RDタイプ	D13	D16	6φ	5φ
I 型	@150	@150		
II 型	@200	@200		

5. 施工手順及び留意事項

(1) 搬入・荷揚げ・仮置

- ・荷揚げは2点又は4点吊りとし、ハゼの保護に留意し、スリング(布帯)等にて荷揚げする。
- ・敷き込み方法に合わせて、ハゼ方向を確認し仮置きする。

(2) 取 付

- ・割付図の施工順序により、1枚目より順次取付する。
- ・ハゼが濡れている時は、シノ等で修復し、確実にハゼかけを行う。
- ・デッキの固定方法は、型枠の桟木へ幅方向については1枚(600mm幅)に対し片側2ヶ所以上または400mm以下で釘止めする。
- ・柱廻り・梁斜め部は、鉄板・鉄筋をカットし、端部材(L型筋)を取付る。端部の幅芯距離が20mmを超える場合は端部の補強を行う。
- ・巾方向の調整は、カット製品又は、調整板にて行う。
- ・間仕切壁等がある場合は、鉄板のみ切断する。
- ・置スラブの場合は、ズレ防止のため引張筋またはフック筋にて固定する。

(3) 梁上の上端主筋連結(定着)筋

- ・継手長さは40d以上、定着長さは35d以上(普通コンクリートの時)

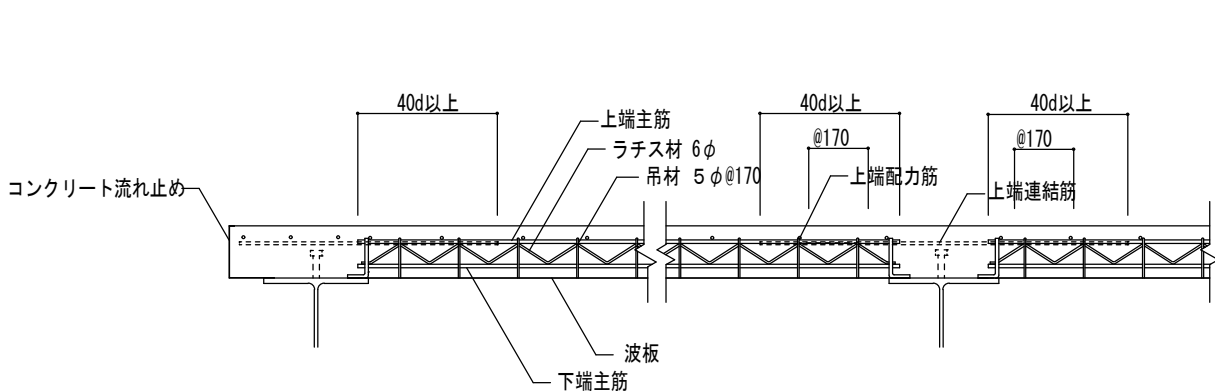
(4) 上端配力筋の施工

- ・継手長さは40d以上、定着長さは、35d以上(普通コンクリートの時)
- ・結束は@600を標準とする。

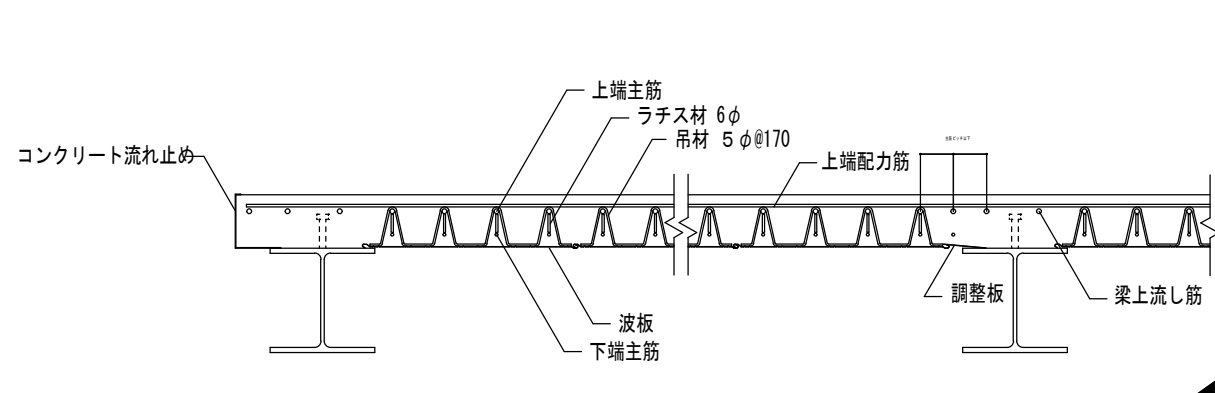
(5) 施工時の注意

- ・鉄筋・ラチス・吊り材を一体化したデッキは、施工時表保工の役目を持つ構造材であるため、部材の切断はしないこと。設備・配管工事のためコンクリート打設前に切断の必要がある時は、支保工等の補強を行う。
- ・開口部は、大きさにより定められた補強方法で開口補強を行う。
- ・仮設時許容スパンを超えるとき、及びデッキ部材の切断を行った場合は、仮設サポートを設ける。

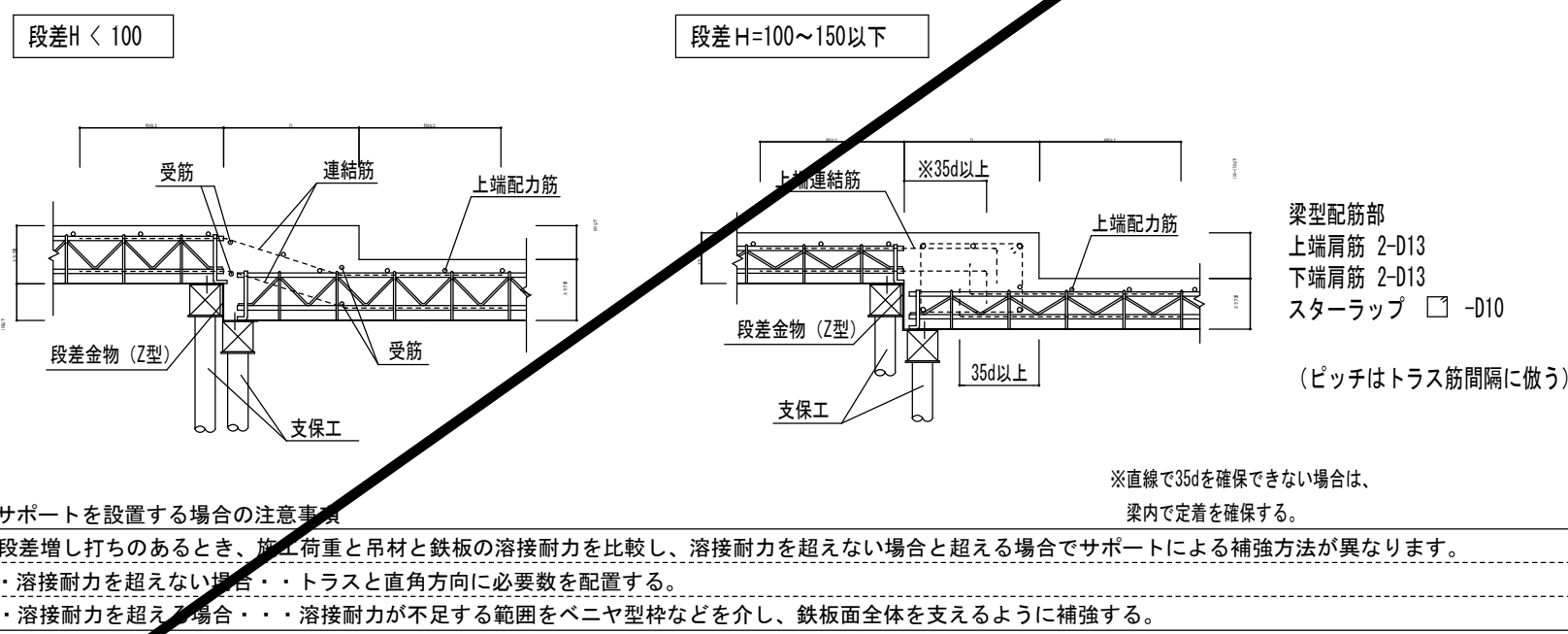
主筋方向納まり図



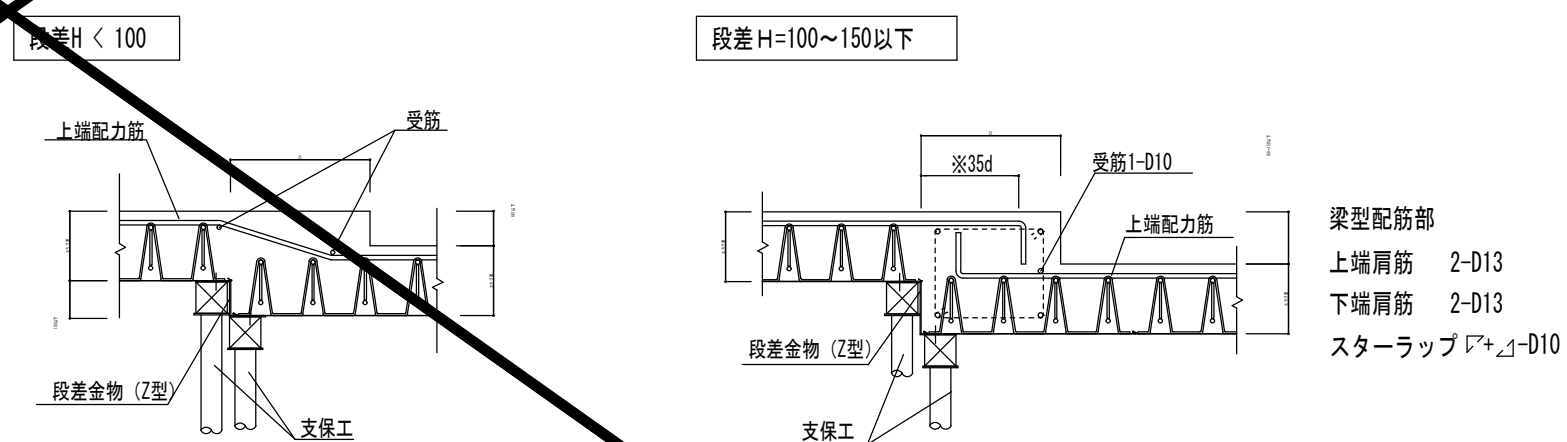
配力筋方向納まり図



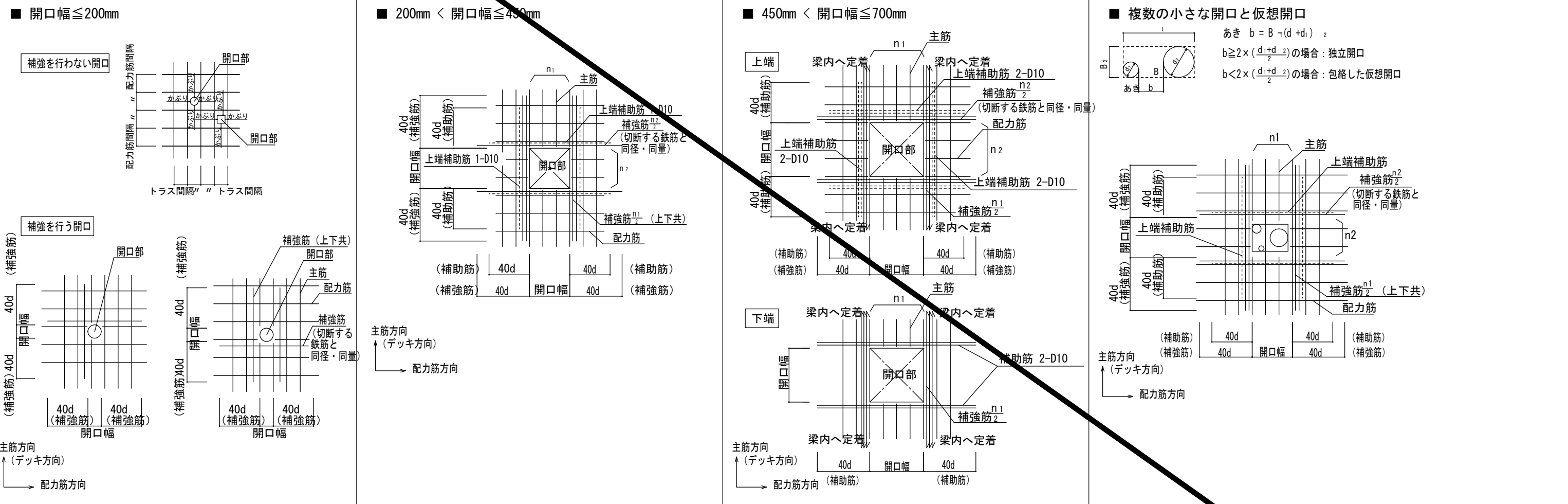
主筋方向段差納まり図 (参考例)



配力筋方向段差納まり図 (参考例)



開口補強 (現場配筋)



※ スラブ符号 S1 については、本図の鉄筋組込デッキを採用しても良い。その際、スラブ符号の S を DS に読み替えて適用する。
ただし、ピット直上スラブおよび水槽部分には使用しない。また、開口の多い設備シャフトなどでは使用を控える。

コンクリート

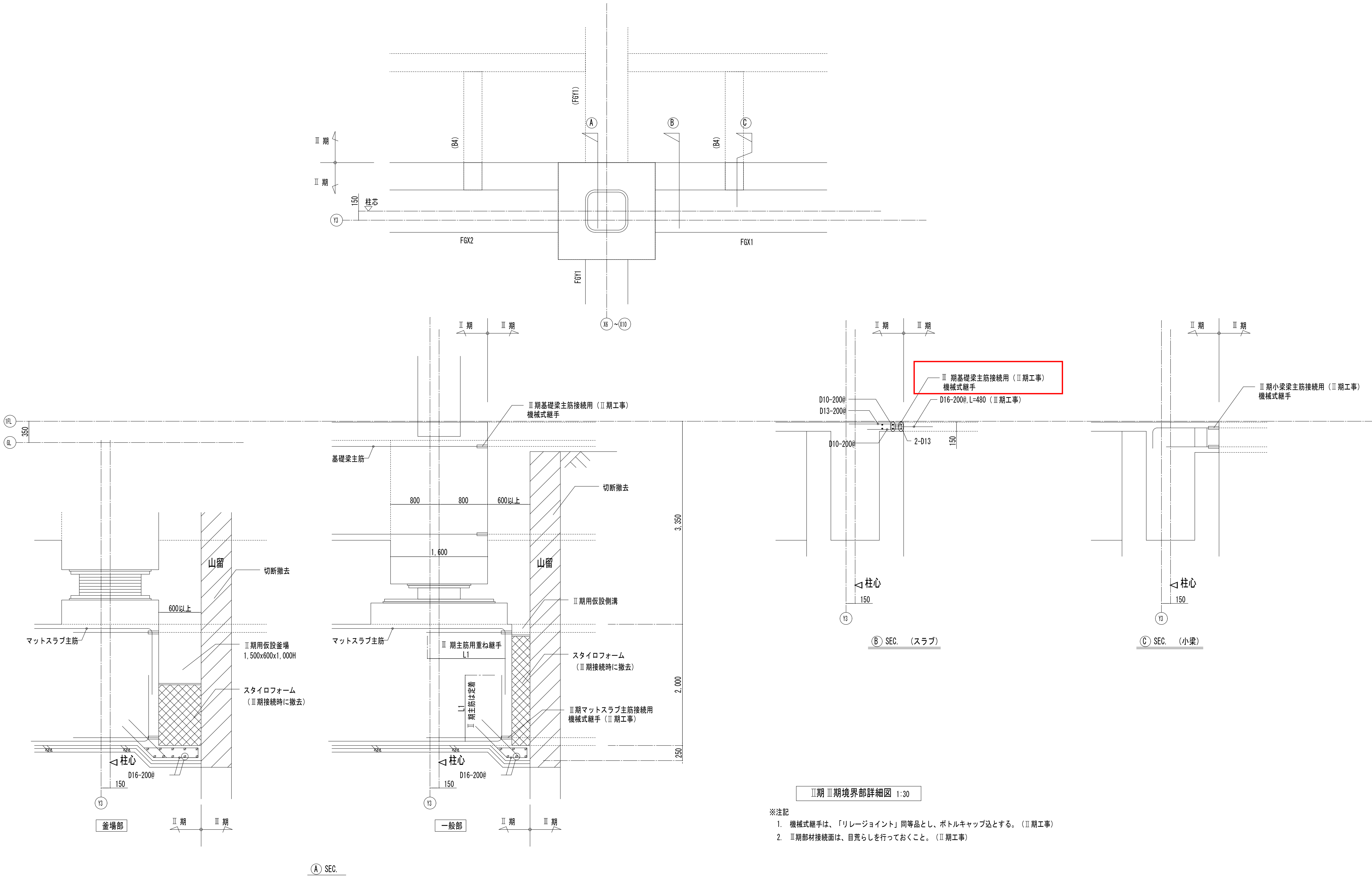
コンクリート種類	● 普通	○ 軽量1種
設計基準強度 (N/mm ²)	○ 18 ○ 21 ● 24 ○ 27 ○ 30 ○ 33 ○ 36	

フェローブロット (I 型) デッキ・フェローエコ (II 型) デッキ 使用部分スラブリスト

符 号	デッキタイプ	スラブ厚 増打ち厚	位 置	デッキ方向〈短辺方向〉			デッキ直交方向〈長辺方向〉 (現場配筋)		備 考
				製 品	連 結 筋 (現 場 配 筋)	追加主筋 端部 x 4 / 4 (現場配筋)	中央部 L x 2 / 2 (現場配筋)	端 部 中 央 部	
DS1	eB80	150	上端筋	D13-200@	D13-200@			D10-200@ D10-200@	
		※15	下端筋	D13-200@					
			上端筋						
			下端筋						
			上端筋						
			下端筋						
			上端筋						
			下端筋						

※増打ちは、一般に15mm(仕上により10mm等有り)

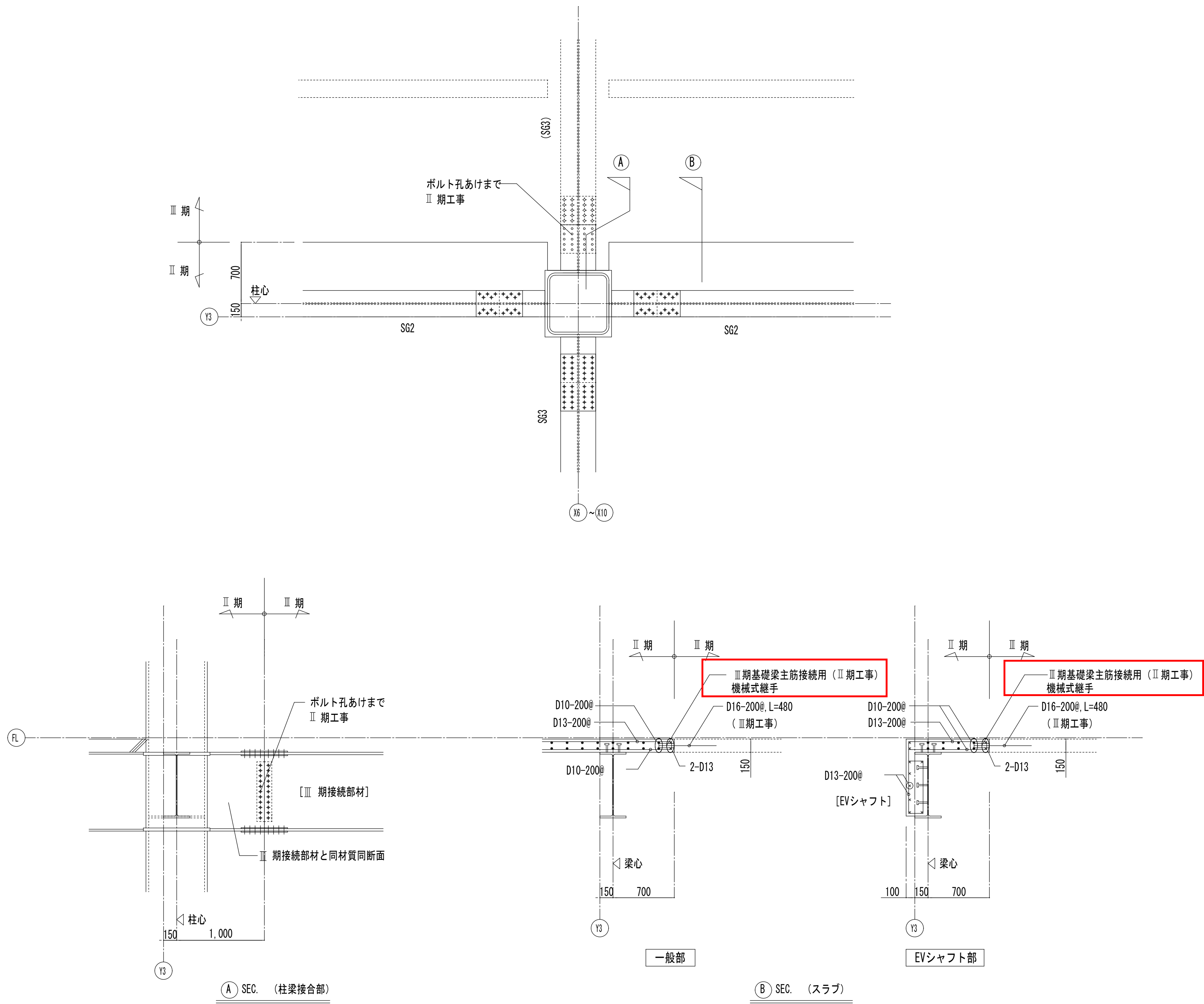
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	工 事 名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事	ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: 株式会社教育施設研究所 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教 育 施 設 研 究 所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号	DATE '20. 3.
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏	山梨大学施設・環境部	DRAWN BY: DRAWING TITLE 鉄筋組込デッキスラブリスト No. 2 [免震棟]	SCALE A1: - A2: - A3: -
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木 博之	部長 課長 補佐 担当		DRAWING NO. SM - 57



Ⅱ期Ⅲ期境界部詳細図 1:30

- ※注記
- 機械式継手は、「リレージョイント」同等品とし、ボトルキャップ込とする。(Ⅱ期工事)
 - Ⅲ期部材接続面は、目荒らしを行っておくこと。(Ⅱ期工事)

			設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一			工 事 名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事			設計業務名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務			DATE '20 . 3 .				
			設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏			山梨大学施設・環境部			ARCHITECT & OFFICE 株式会社 教育施設研究所			DRAWING TITLE 2期3期接続部詳細図 No. 1		SCALE A1 : 1:30 A2 : A3 : 1:60		DRAWING NO. SM — 58
			設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木 博之			部長 課長 補佐 担当			東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号			[免震棟]				

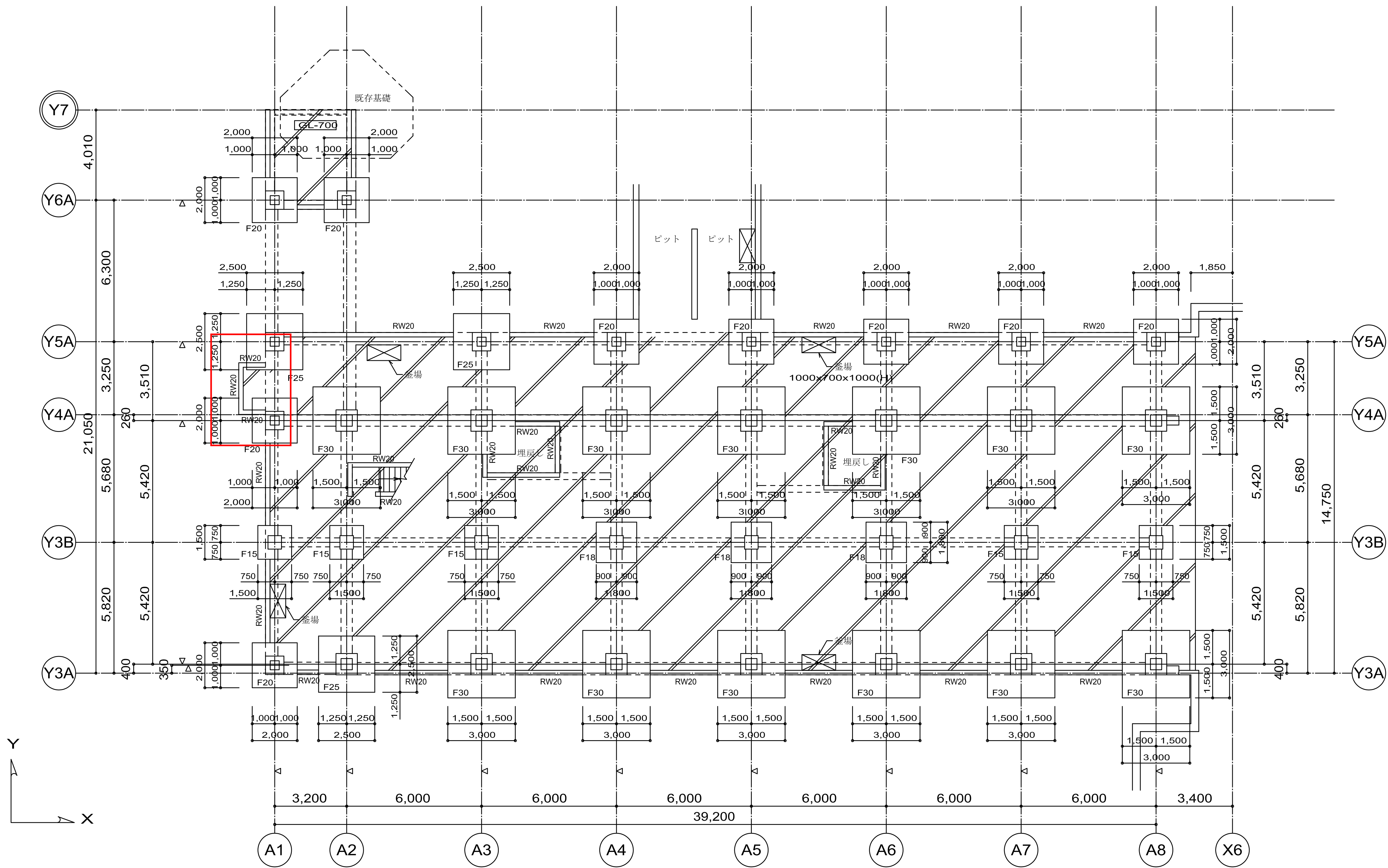


Ⅱ期Ⅲ期境界部詳細図 1:30

※注記

1. Ⅲ期RC部材接続面は、目荒らしを行っておくことⅡ（期工事）

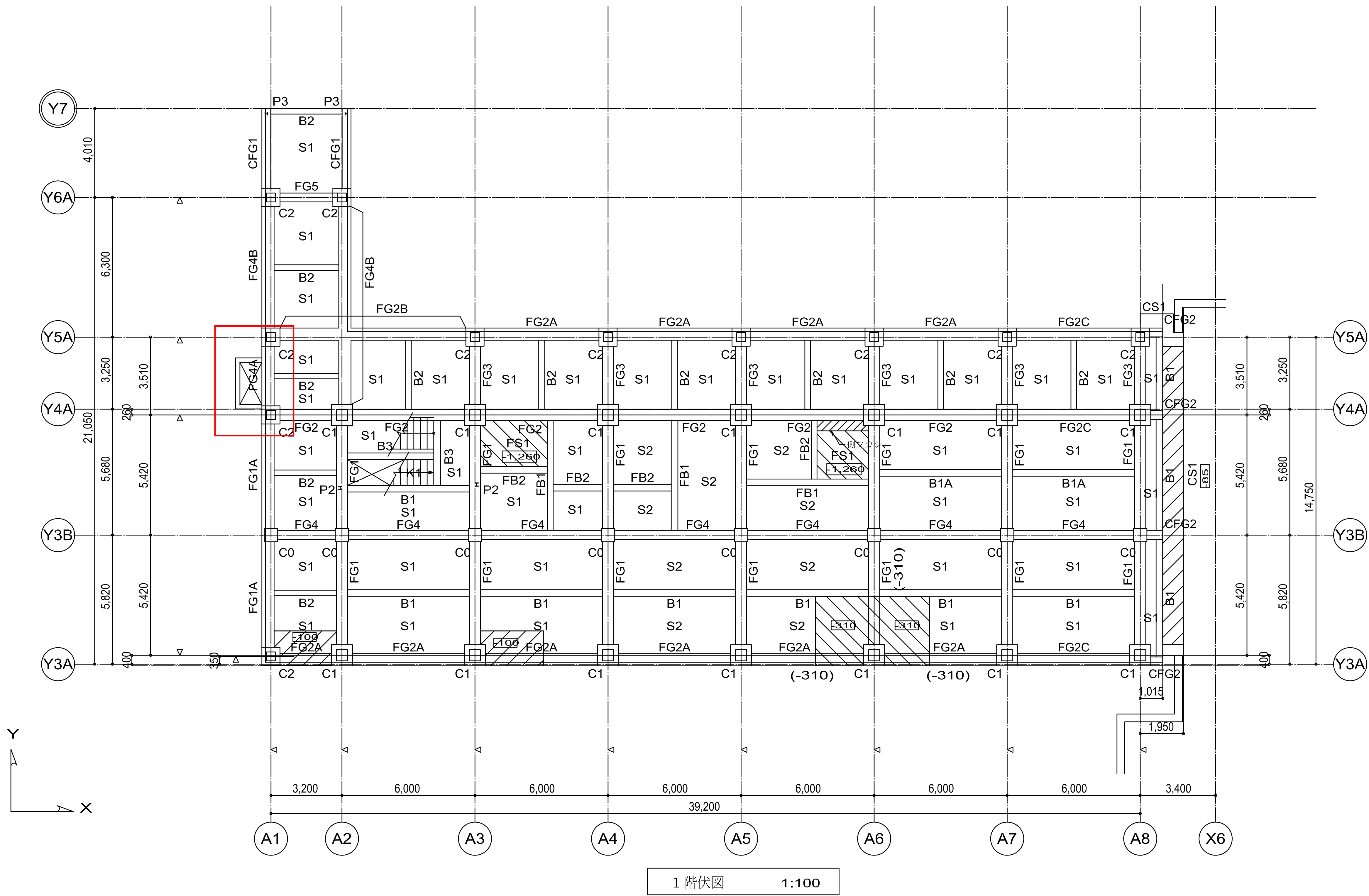
	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	工 事 名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事				設計業務名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務		DATE '20・3・					
	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏	山梨大学施設・環境部				ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: DRAWN BY:		DRAWING TITLE 2期3期接続部詳細図 No. 2		SCALE A1: 1:30 A2: A3: 1:60		DRAWING NO. SM — 59	
	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木 博之	部長	課長	補佐	担当	東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号		[免震棟]					



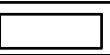
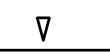
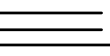
基礎伏図 1:100

伏図注記 特記なき限り下記とする。

1. 基礎下端は GL-2,850とする。	4. ▽ 印は、柱芯を示す。	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	工事名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事				設計業務名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務	DATE '20・03・	
2. 耐圧板天端は GL-910 とする。	5. 特記なき壁は、RW20 を示す。	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏	山梨大学施設・環境部						
3. 印は、 土間コンクリート t=200 捨コン ㊤50		設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木 博之	部長	課長	補佐	担当			
天端 GL-2,650とする。									
			ARCHITECT & OFFICE BRANCH		APPR. BY	CHKD. BY	DRAWN BY	DRAWING TITLE	SCALE
			東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号					基礎伏図 〔耐震棟〕	A1: 1:200 A2: — A3: 1:400
								ST-15	

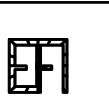


伏図注記 特記なき限り下記とする。

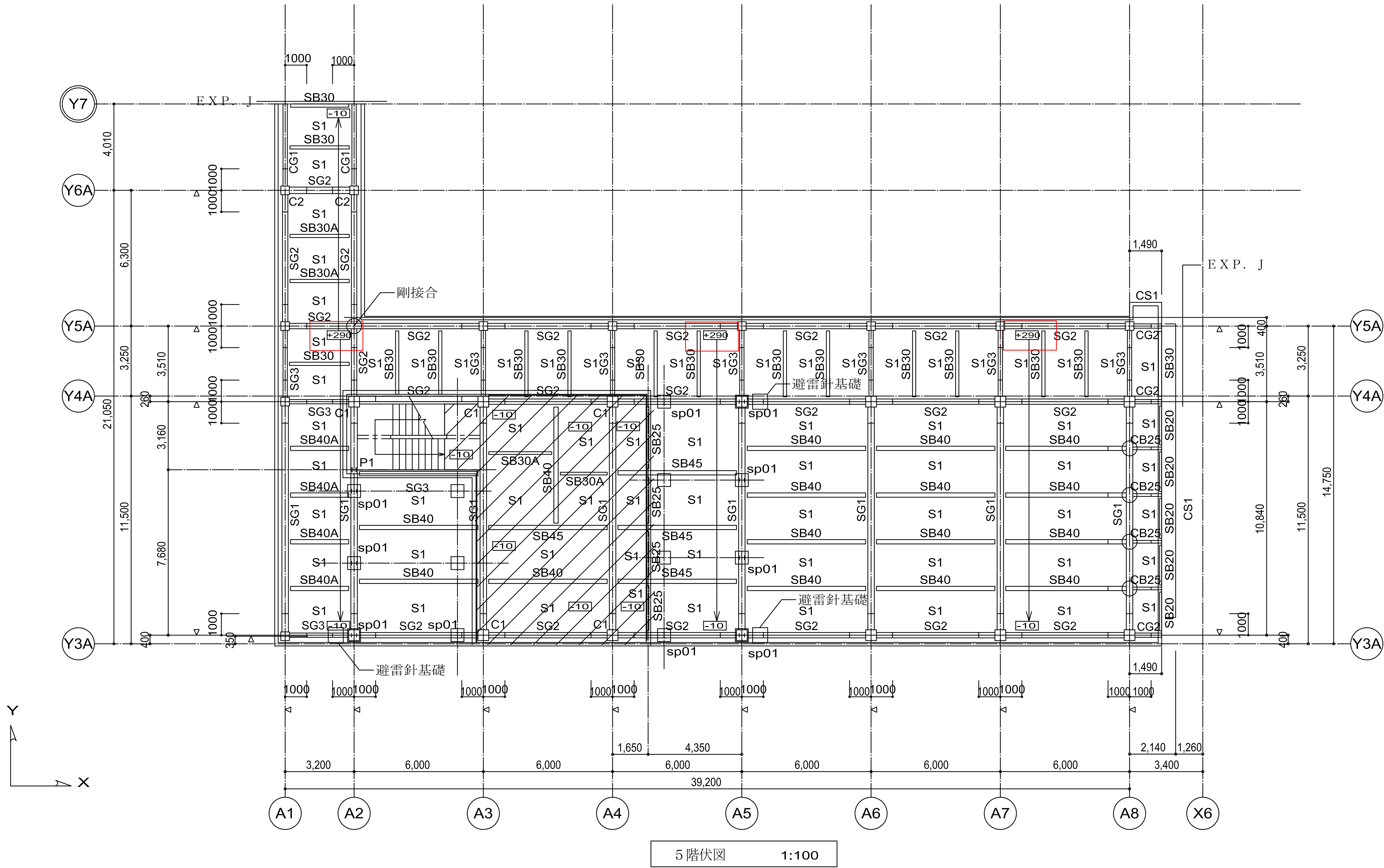
1. 基礎梁天端は 1FL-250 とし、スラブ天端までフカシとする。 ただし、小梁天端は 1FL-10 とする。	4.  内数値は nFL からスラブの下がりを示す。
2. スラブ天端は 1FL-10 とする。	5.  印は、柱芯を示す。
3. () 内数値は nFL から梁の下がりを示す。	6.  印は、腰壁 W16 を示す。
	7.  印は、床開口を示す。

設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木 博之	

山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事	
山梨大学施設・環境部	
部長	課長
補佐	担当

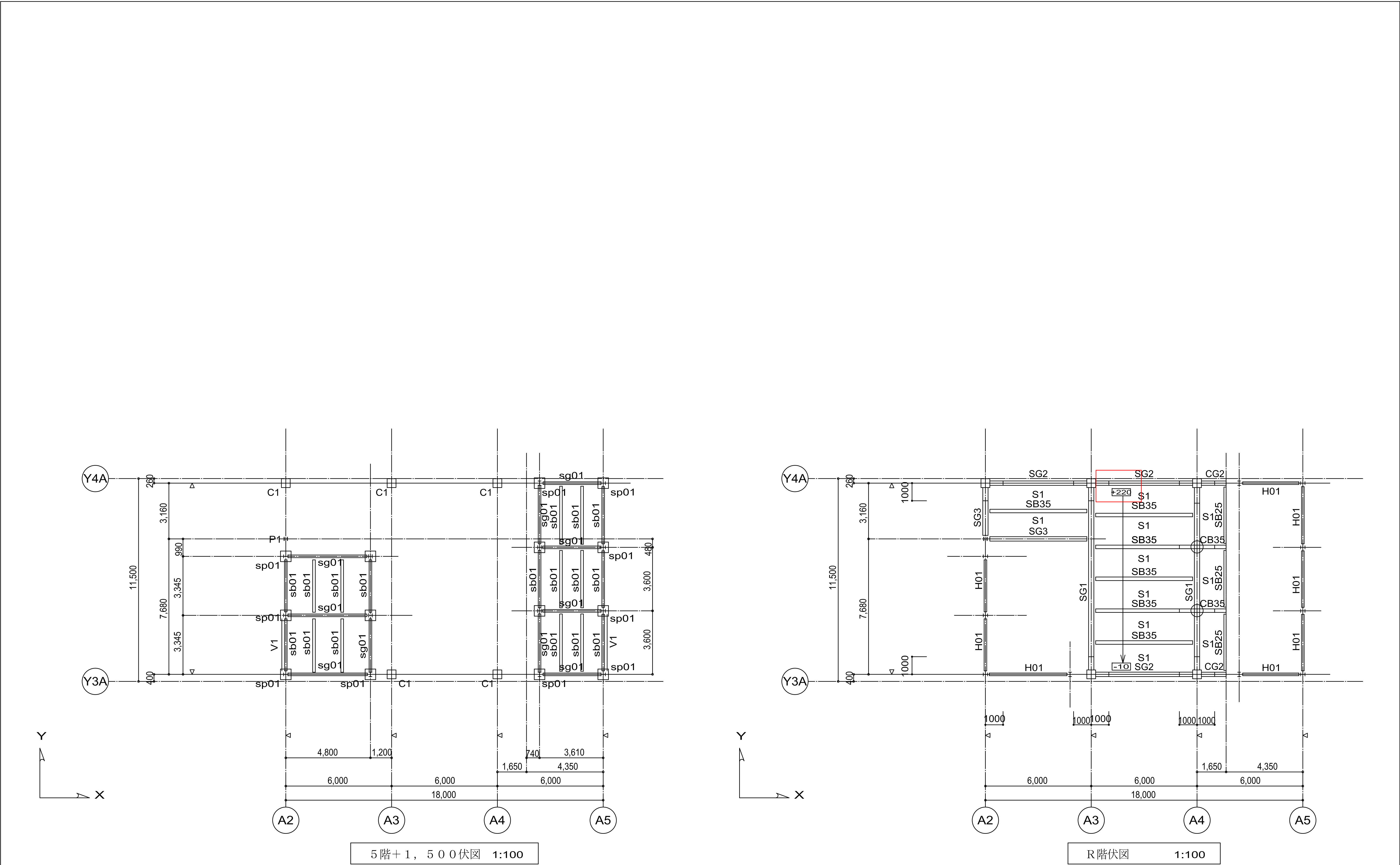
 株式会社 教育施設研究所	ARCHITECT & OFFICE BRANCH 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号
APPR. BY	CHKD. BY
DRAWN BY	

設計業務名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務	DATE '20・03・
DRAWING TITLE 1階伏図 〔耐震棟〕	DRAWING NO. ST-16
SCALE A1: 1:200 A2: - A3: 1:400	

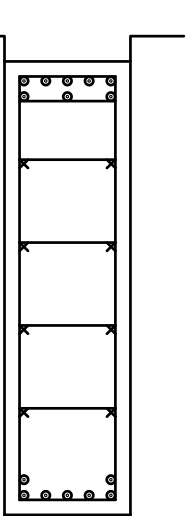
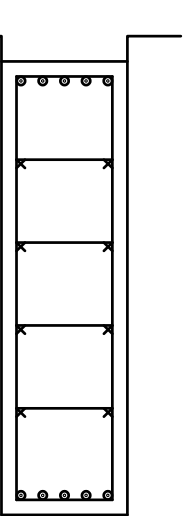
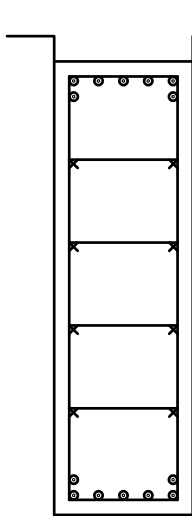
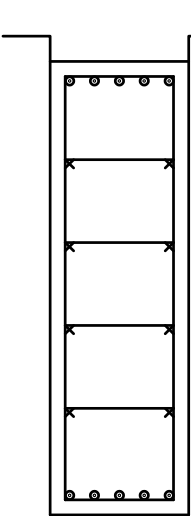
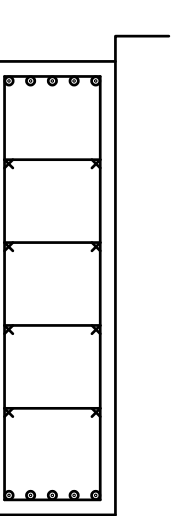
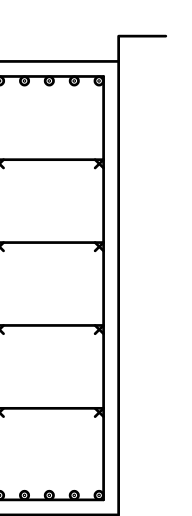
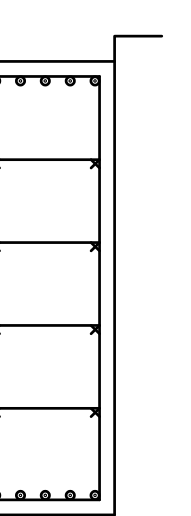
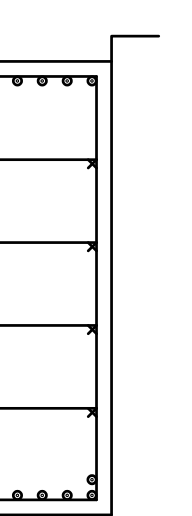
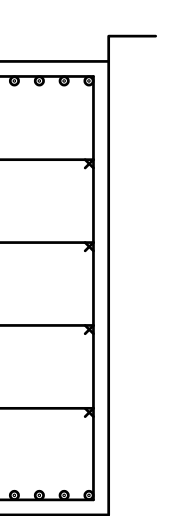
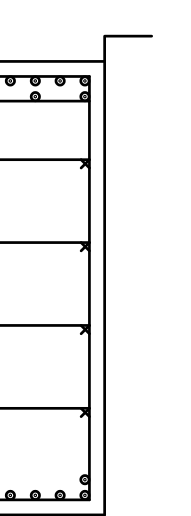
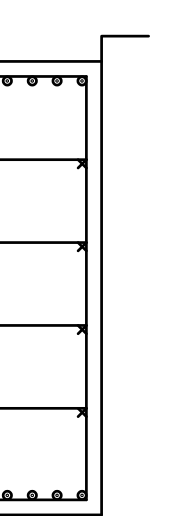
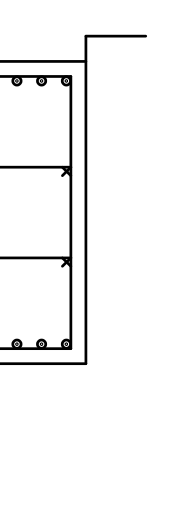
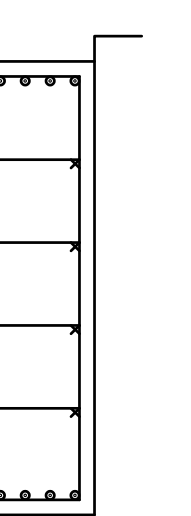
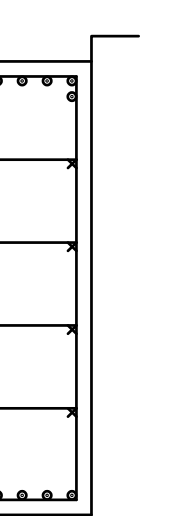
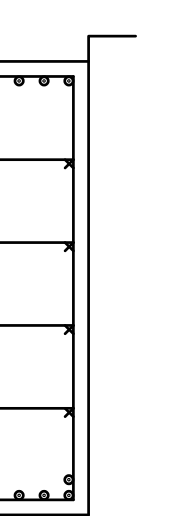


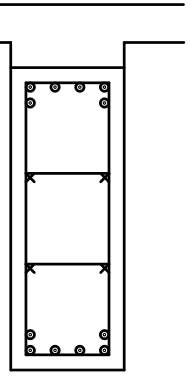
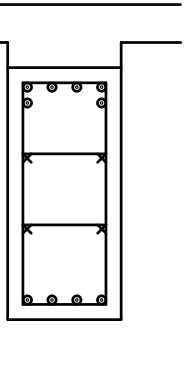
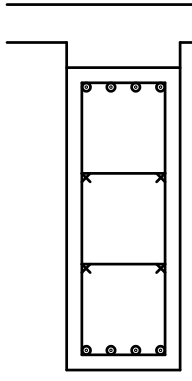
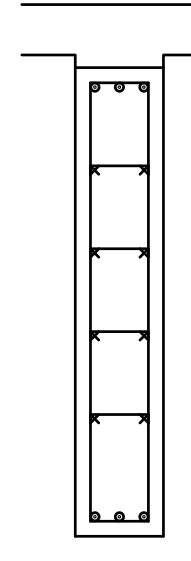
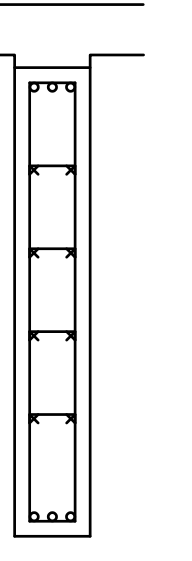
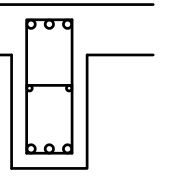
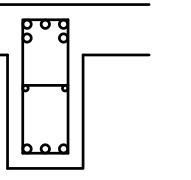
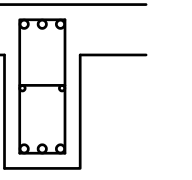
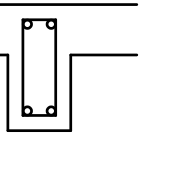
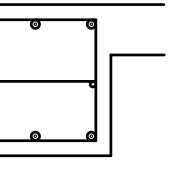
伏図注記 特記なき限り下記とする。

1.  印は、柱芯を示す。		4.  内数値は nFL からのスラブ天端を示す。		設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一		工事名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他工事		 株式会社 教育施設研究所		設計業務名 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務		DATE '20・03・			
2. () 内数値は nFL からの梁天端を示す。		5. 特記無きスラブレベルは水勾配合わせとする。		設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏		山梨大学施設・環境部		ARCHITECT & OFFICE BRANCH APPR. BY CHKD. BY 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号		DRAWING TITLE 山梨大学 (医病) 病棟Ⅲ新営その他実施設計業務		SCALE A1: 1:200 A2: - A3: 1:400		ST - 20	
3. 特記無き梁レベルは、水勾配合わせとする。		6.  印は、床開口を示す。		設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木 博之		部長 課長 補佐 担当		5階伏図 〔耐震棟〕		DRAWING NO.					
		7. 梁の継手は柱芯+1000とする。													



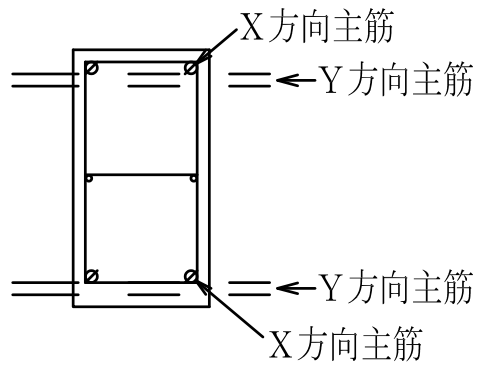
伏図注記 特記なき限り下記とする。																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

符号	FG1		FG1A		FG2	FG2A	FG2B		FG2C		FG3	FG4	FG4A	FG4B	
位置	Y 3 A 端・Y 4 A 端	Y 3 B 端・中央	Y 3 A 端・Y 4 A 端	Y 3 B 端・中央	全断面	全断面	端 部	中 央	A 7 端・中央	A 8 端	全断面	全断面	全断面	端 部	中 央
断面															
B × D	500 × 1,800		550 × 1,800		500 × 1,800	550 × 1,800	550 × 1,800		550 × 1,800		500 × 1,800	400 × 1,200	550 × 1,800	550 × 1,800	
上端筋	8-D25	5-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	8-D25	5-D25	4-D25	5-D25	7-D25	5-D25
下端筋	7-D25	5-D25	7-D25	5-D25	5-D25	5-D25	5-D25	7-D25	5-D25	7-D25	5-D25	4-D25	5-D25	5-D25	7-D25
S T P	□-D13-@150		□-D13-@150		□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150		□-D13-@150		□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150	
腹筋	4x2-D13		4x2-D13		4x2-D13	4x2-D13	4x2-D13		4x2-D13		4x2-D13	2x2-D13	4x2-D13	4x2-D13	
備考															

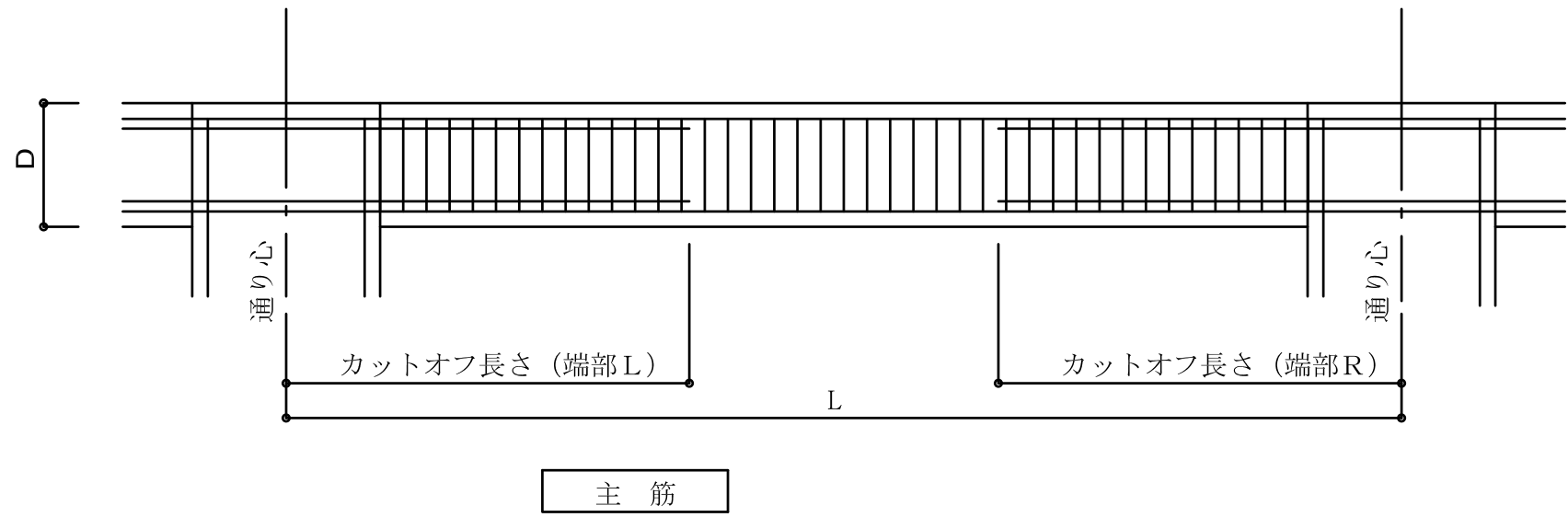
符号	FG5	CFG1	CFG2	FB1	FB2	B1	B1A		B2	B3
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	A 7 端	他端・中央	全断面	全断面
断面										
B × D	400 × 1,200	400 × 1,000	400 × 1,200	350 × 1,800	300 × 1,800	300 × 650	300 × 650		250 × 500	600 × 600
上端筋	6-D25	6-D25	4-D25	3-D25	3-D22	3-D22	5-D22	3-D22	2-D22	3-D22
下端筋	6-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22
S T P	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@150	□-D13-@200	□-D13-@200	□-D10-@200	□-D10-@200		□-D10-@200	□-D13-@200
腹筋	2x2-D13	2x2-D13	2x2-D13	4x2-D13	4x2-D13	1x2-D10	1x2-D10		—	1x2-D10
備考										

共通事項

- 幅止め筋はD10@1000とする。
- 梁の天端が同レベルの場合の主筋位置は右記による。



カットオフ長さ

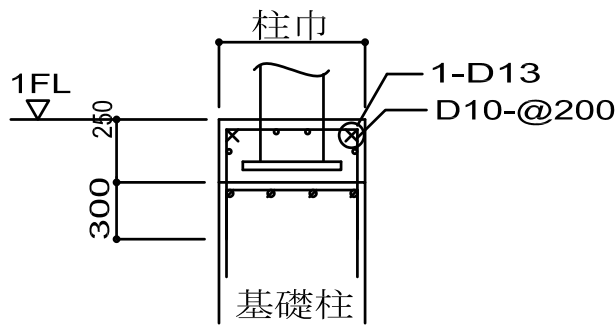


・カットオフ筋の長さ（通り心からの寸法）を以下に示す。

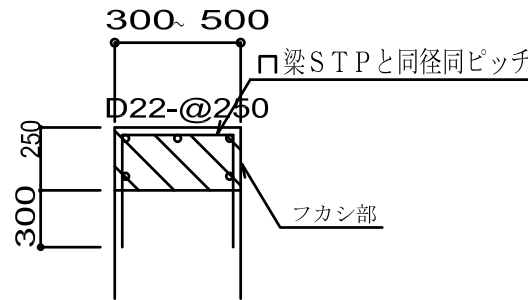
位 置	端部L	端部R
FG1	2,700	2,700
FG1A	2,700	2,700
FG2C	—	2,600
FG4B	2,700	2,700

L：部材長
特記なきカットオフ長さはL／4＋15dとする。

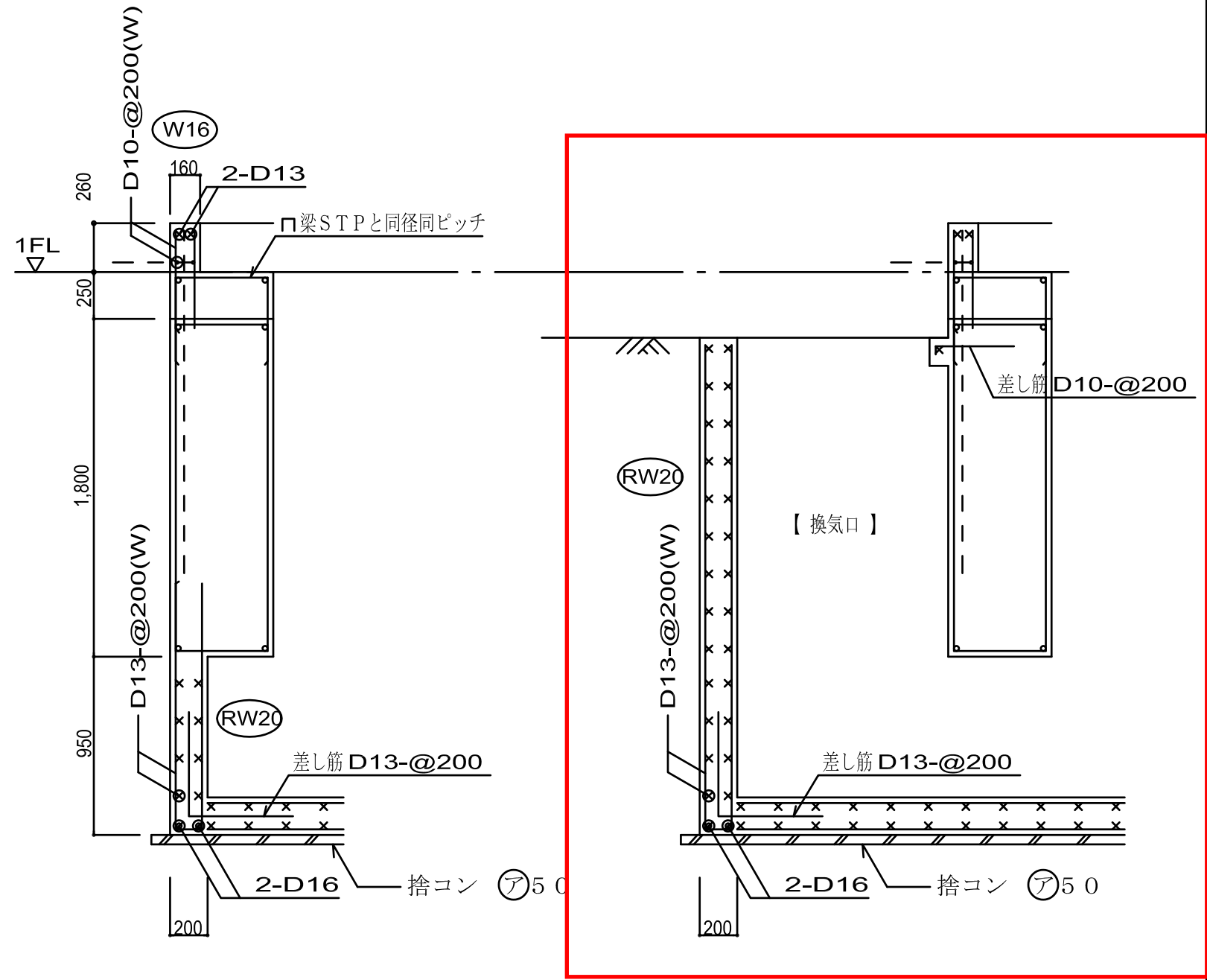
腰壁・ピット壁リスト S=1/30



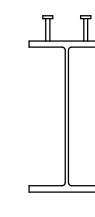
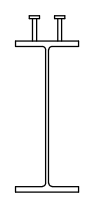
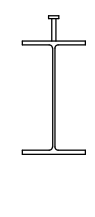
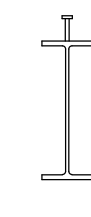
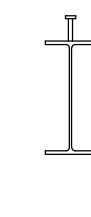
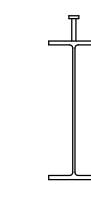
柱立上り詳細 S=1/30



基礎梁打ち増し補強要領



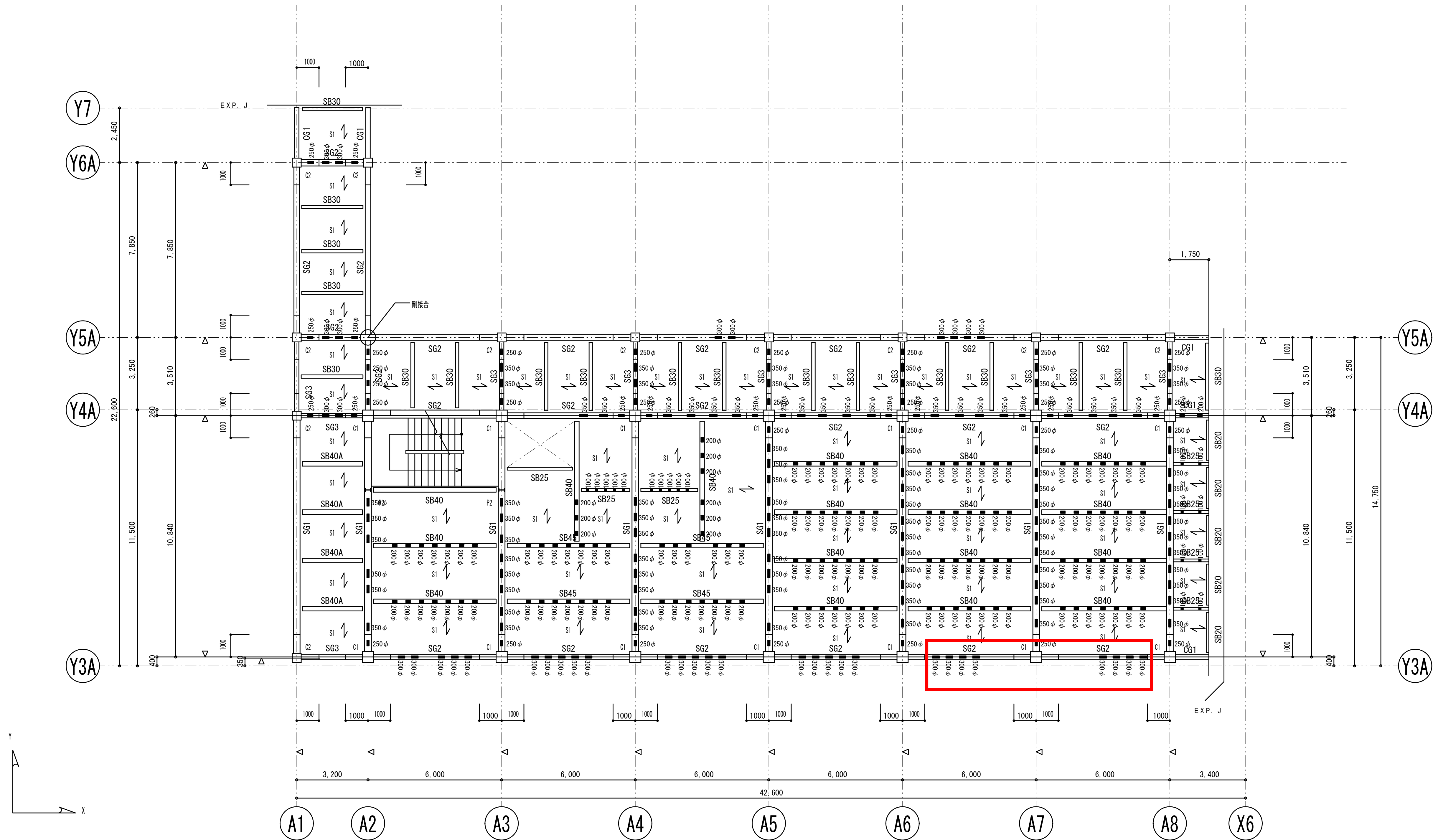
大梁断面リスト 1/30

符 号			SG1 (2 F～3 F)	SG1 (4 F～5 F)	SG1 (RF)	SG2 (2 F～3 F)	SG2 (4 F～RF)		SG3 (2 F～3 F)	SG3 (4 F～RF)	CG2 CG1 (2 F～3 F)	CG1 (4 F)	CG1 (5 F)	CG2 (4 F～RF)																											
位 置			全 断 面			全 断 面			全 断 面			全 断 面			全 断 面																										
断 面																																									
部 材			H-700x300x13x24			SH-600x300x12x25			SH-600x250x12x22			SH-550x250x12x22			SH-450x250x9x16						SH-550x200x12x19			H-450x200x9x14			SH-550x200x9x16			H-450x200x9x14			SH-450x250x9x16			H-450x200x9x14					
材 質			SN490B			SN490B			SN490B			SN490B			SN490B						SN490B			SN490B			SN400B			SN400B			SN490B			SN400B					
剛 接 合	フランジ	n f	HTB 7x2-M22			HTB 7x2-M22			HTB 5x2-M22			HTB 5x2-M22			HTB 4x2-M22						HTB 4x2-M22			HTB 4x2-M20			HTB 3x2-M20			HTB 3x2-M20			HTB 4x2-M22			HTB 3x2-M20					
		A PL	2P L-19x300x710			2P L-19x300x710			2P L-16x250x650			2P L-16x250x650			2P L-12x250x530						2P L-12x200x530			2P L-12x200x530			2P L-12x200x410			2P L-12x200x410			2P L-12x250x530			2P L-12x200x410					
	B PL	4P L-19x110x710			4P L-19x110x710			4P L-16x100x650			4P L-16x100x650			4P L-12x100x530						4P L-16x80x530			4P L-12x80x530			4P L-12x80x410			4P L-12x80x410			4P L-12x100x530			4P L-12x80x410						
	ウェブ	n w	HTB 6x2-M22			HTB 5x2-M22			HTB 5x2-M22			HTB 6x2-M22			HTB 5x1-M22						HTB 6x2-M22			HTB 3x2-M20			HTB 6x1-M20			HTB 5x1-M20			HTB 5x1-M20			HTB 5x1-M22			HTB 5x1-M20		
W PL		2P L-12x530x290			2P L- 9x440x290			2P L- 9x440x290			2P L-12x380x290			2P L- 9x320x170						2P L-12x380x290			2P L- 9x320x290			2P L- 9x380x170			2P L- 9x320x170			2P L- 9x320x170			2P L- 9x320x170						
ピン 接 合	接 合 タ イ プ		_____			_____			_____			_____			_____						_____			A1 タイプ 1列			_____			_____			_____			_____			_____		
	ウェブ	n w	_____			_____			_____			_____			_____						_____			HTB 5-M20			_____			_____			_____			_____			_____		
		W PL	_____			_____			_____			_____			_____						_____			GP L- 9x320			_____			_____			_____			_____			_____		
スタッドボルト			19φ H=100 @300 (W)			19φ H=100 @300 (W)			19φ H=100 @300 (W)			19φ H=100 @300 (W)			19φ H=100 @300 (W)						16φ H=100 @300 (S)			16φ H=100 @300 (S)			16φ H=100 @300 (S)			16φ H=100 @300 (S)			19φ H=100 @300 (W)			16φ H=100 @300 (S)					
備 考			GGF-5X- J7030.1425-22			GGF-5X- T6030.1225-22			GGF-5X- T6025.1222-22			GGF-5X- T5525.1222-22			GGF-5X- T4525.0916-22						GGF-5X- T5520.1219-22			GGF-5X- J4520.0916-22			GGF-4X- T5520.0916-20			GGF-4X- J4520.0916-20			GGF-5X- T4525.0916-22			GGF-4X- J4520.0916-20					

小梁断面リスト 1/30

符 号			SB45	SB40	SB40A	SB35	SB30	SB30A	CB29	CB25 SB25	SB20	sb01	sg01	H01
位 置			全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面
断 面														 横 使 い
部 材			H-450x200x9x14	H-400x200x8x13	H-400x200x8x13	H-350x175x7x11	H-300x150x6. 5x9	H-300x150x6. 5x9	H-294x200x8x12	H-250x125x6x9	H-200x100x5. 5x8	H-200x200x8x12	H-244x175x7x11	H-125x125x6. 5x9
材 質			SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400	SS400
剛 接 合	フランジ	n f	—————	HTB 6-M20	—————	HTB 3x2-M16	HTB 2x2-M16	HTB 2x2-M16	HTB 6-M20	HTB 3x2-M16	—————	—————	—————	—————
		A PL	—————	2P L-9x200x410	—————	2P L-9x175x410	2P L-9x150x290	2P L-9x150x290	2P L-9x200x410	2P L-12x125x410	—————	—————	—————	—————
		B PL	—————	4P L-9x 80x410	—————	4P L-9x 70x410	4P L-9x 60x290	4P L-9x 60x290	4P L-9x 80x410	—————	—————	—————	—————	—————
	ウェブ	n w	—————	HTB 4-M20	—————	HTB 4x2-M16	HTB 3x1-M16	HTB 3x1-M16	HTB 3-M20	HTB 2x2-M16	—————	—————	—————	—————
		W PL	—————	2P L-9x260x170	—————	2P L-6x260x170	2P L-6x200x170	2P L-6x200x170	2P L-9x200x170	2P L-6x170x290	—————	—————	—————	—————
ハ ン シ ン 接 合	接合タイプ		A1 タイプ 1列	A1 タイプ 1列	A1 タイプ 2列	A1 タイプ 1列	A1 タイプ 2列	A1 タイプ 2列	—————	A1 タイプ 1列	A1 タイプ 1列	A1 タイプ 1列	A1 タイプ 1列	A1 タイプ 2列
	ウェブ	n w	HTB 5-M20	HTB 5-M20	HTB 3x2-M20	HTB 4x2-M16	HTB 3x2-M16	HTB 4x2-M16	—————	HTB 3-M16	HTB 2-M16	HTB 2-M20	HTB 3-M20	HTB 2-M20
		W PL	GP L- 9x320	GP L- 9x320	GP L-12x320	GP L-12x290	GP L- 9x200	GP L-12x240	—————	GP L- 9x200	GP L- 6x140	GP L- 9x140	GP L- 9x200	GP L-12x 80
		ピッチ	@ 60	@ 60	@60 (Y方向 @120)	@60 (Y方向 @70)	@ 60	@60 (Y方向 @60)	—————	@ 60	@ 60	@ 60	—————	—————
スタッドボルト			16φ H=100 @300 (S)	16φ H=100 @300 (S)	16φ H=100 @300 (S)	16φ H=100 @300 (S)	16φ H=100 @300 (S)	16φ H=100 @300 (S)	16φ H=100 @300 (S)	16φ H=100 @300 (S)	—————	—————	—————	—————
備 考			—————	GGF-4X- J4020. 0912-20	—————	GGF-4X- J3517. 0612-20	GGF-4X- J3015. 0609-20	GGF-4X- J3015. 0609-20	GGF-4X- J3020. 0612-20	GGF-4X- J2512. 0609-16	—————	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ

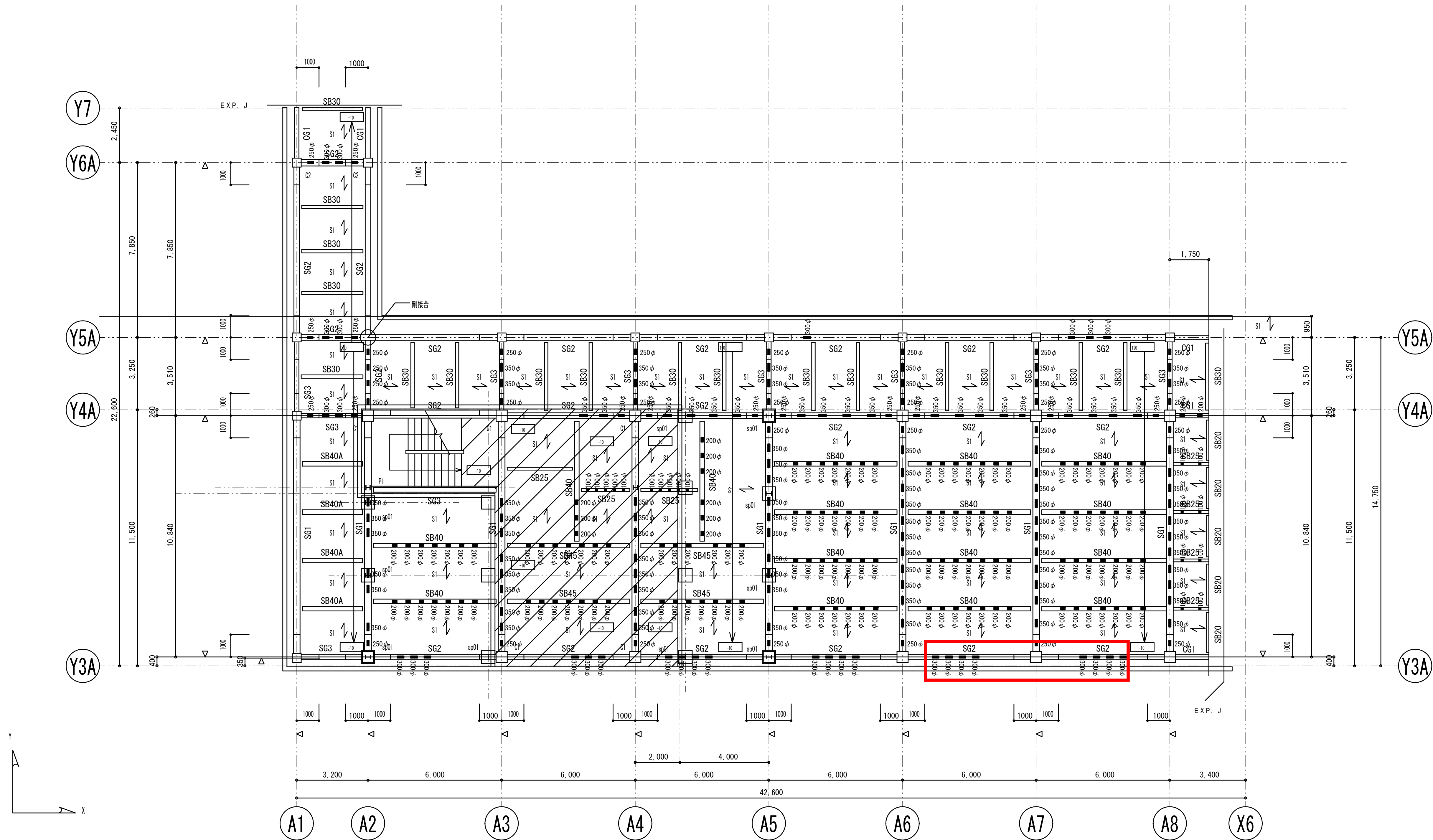
1. HTBはF10TもしくはS10Tとする。	設計者氏名	工事名				株式会社 教育施設研究所	設計業務名	DATE
2. 剛接合部は、メッキ部を除き高力ボルトを超高力ボルトとしても良い。 その際、「SCSS-H97」に準拠すること。	一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一	山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事					山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務	・ 20 3 ・
3. 突合せ溶接が生じる部材の材質はB材とする。	設計者氏名	山梨大学施設・環境部					DRAWING TITLE	DRAWING NO.
	一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏					ARCHITECT & OFFICE BRANCH	SCALE	ST-31
	設計者氏名	部長	課長	補佐	担当	東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都知事登録第4834号	A1: 1:30 A2: - A3: 1:60	
	一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 茂木 博之						鉄骨梁リスト [耐震補]	



4 階伏図 1:100

※外壁貫通部については、ST-30に示す設備配管用鋼管（φ267.4x6.6）を取り付けること。
なお鋼管には、耐火被覆剛厚25吹付とする。

設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 剛一		工事名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事		設計業務名 山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務		DATE '20・03・	
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏		山梨大学施設・環境部		ARCHITECT & OFFICE BRANCH: APPR. BY: CHKD. BY: DRAWN BY: DRAWING TITLE 株式会社 教育施設研究所 東京都中央区日本橋本町3丁目4番7号 株式会社 教育施設研究所 一級建築士事務所 東京都中央区銀座4丁目34号		SCALE A1:1:200 A2:— A3:1:400	
設計者氏名 一級建築士 大臣登録 第315246号 構造設計一級建築士登録 第8280号 花木 博之		部長 課長 補佐 担当		4階スリーブ図 (参考図) [附属様]		DRAWING NO. ST—38	



5階伏図 1:100

※外壁貫通部については、ST-30に示す設備配管用鋼管（φ267.4x6.6）を取り付けること。
なお鋼管には、耐火被覆剛厚25吹付とする。

			設計者氏名		工 事 名		設計業務名		DATE	
			一級建築士 大臣登録 第156415号 飯田 順一		山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他工事		山梨大学（医病）病棟Ⅲ新営その他実施設計業務		'20 ・ 03 ・	
			設計者氏名		山梨大学施設・環境部		ARCHITECT & OFFICE BRANCH		DRAWING NO.	
			一級建築士 大臣登録 第186527号 遠藤 雅敏				APPR. BY		ST - 39	
			設計者氏名		部長		CHKD. BY		SCALE	
			一級建築士 大臣登録 第315246号		課長		DRAWN BY		A 1:1:200	
			構造設計一級建築士登録 第8280号 花木 博之		補佐		DRAWING TITLE		A 2: -	
					担当		5階スリーブ図		A 3:1:400	
							（参考図）			
							[附震様]			